

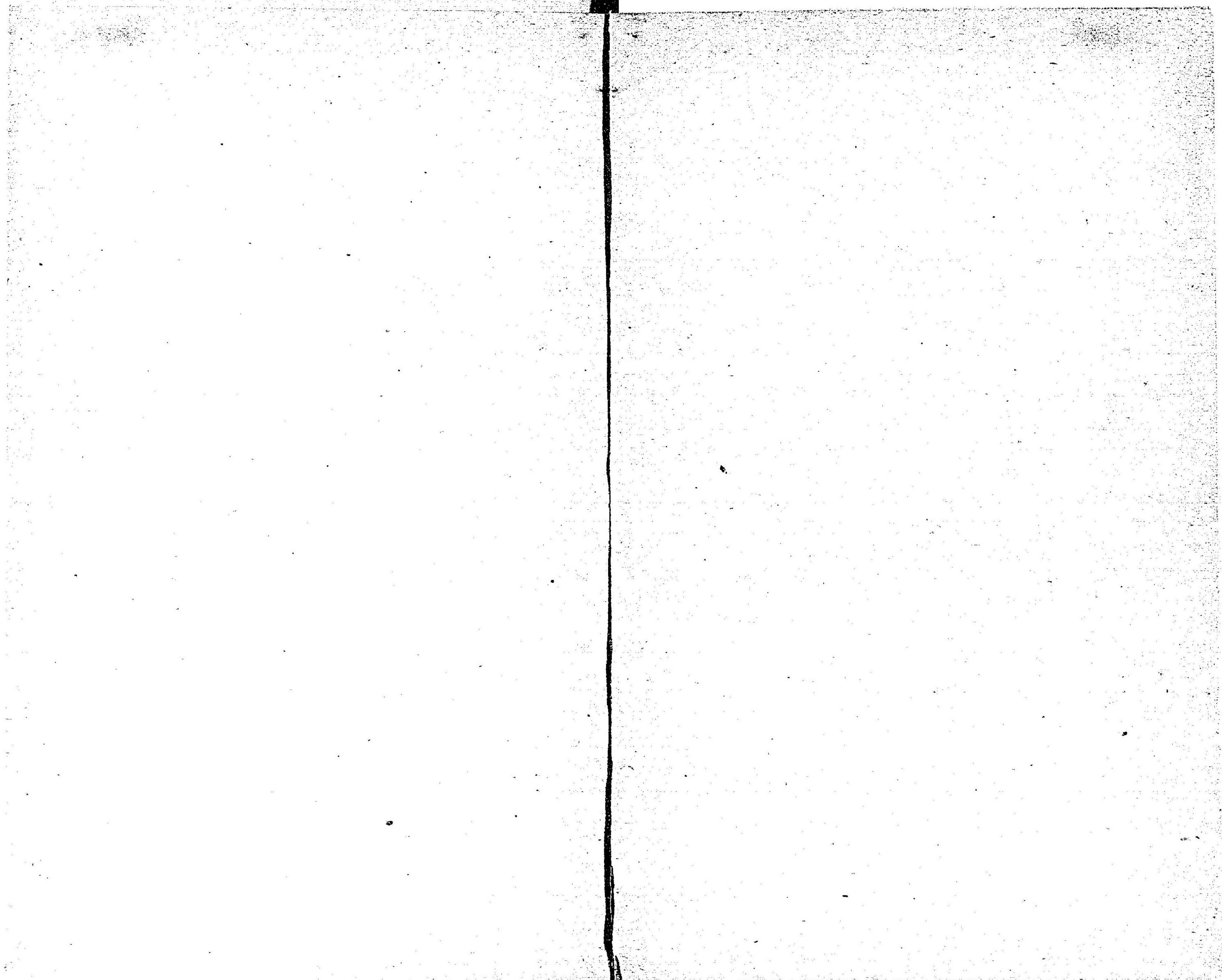
SINCE

須因
頻氏
大文典講義

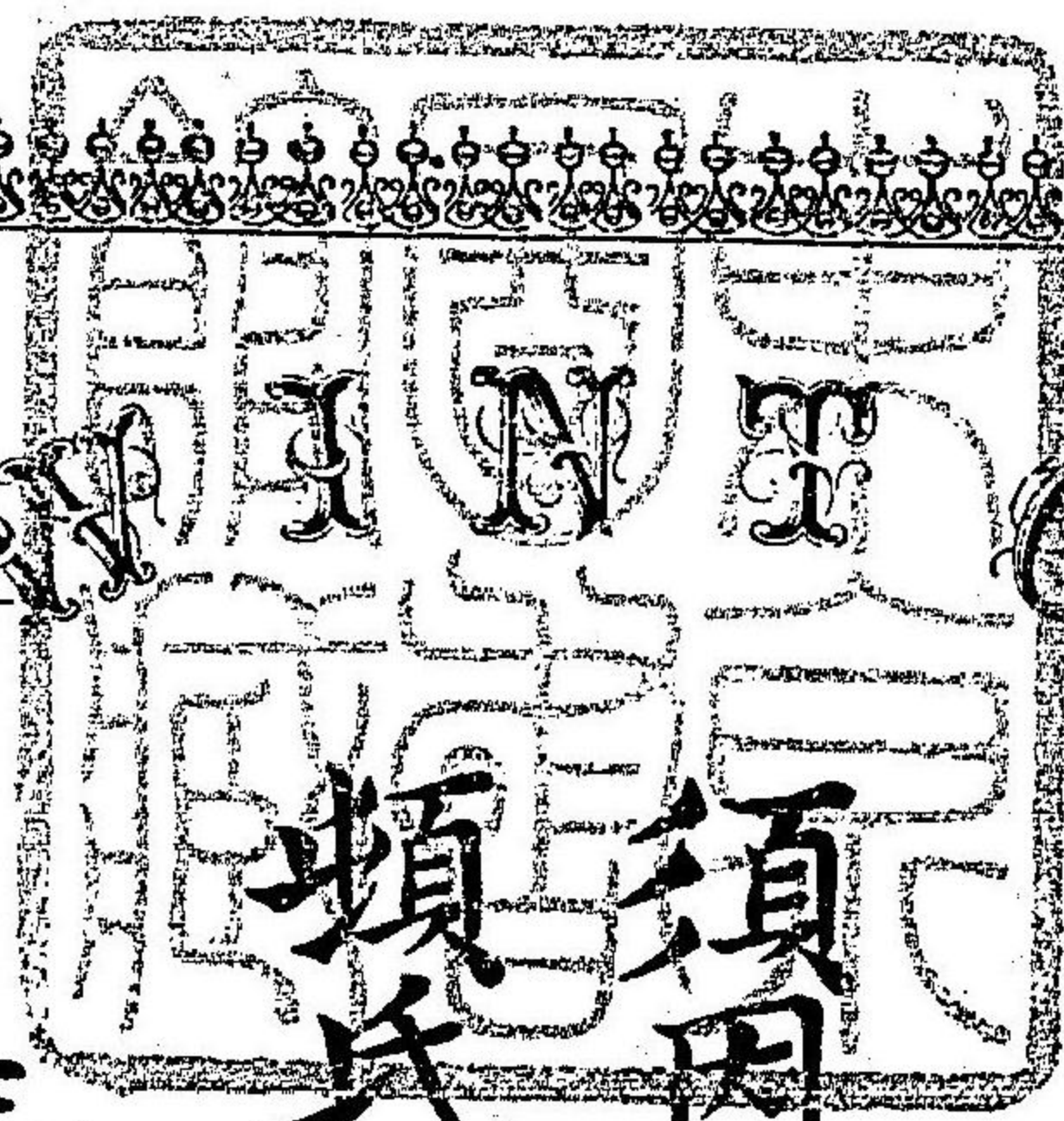
平井良三校閱

平井廣五郎譯述

西京文港堂



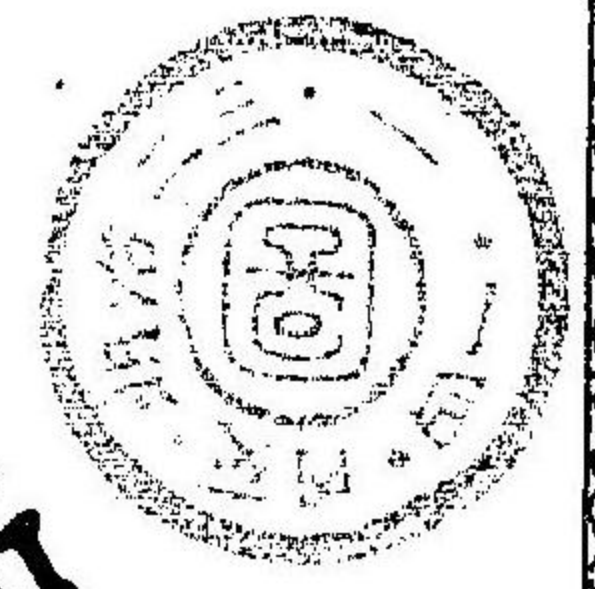
No 140 / 23



平井廣五郎譯述

大文典講義

平井良三校閱



西京文港堂發行

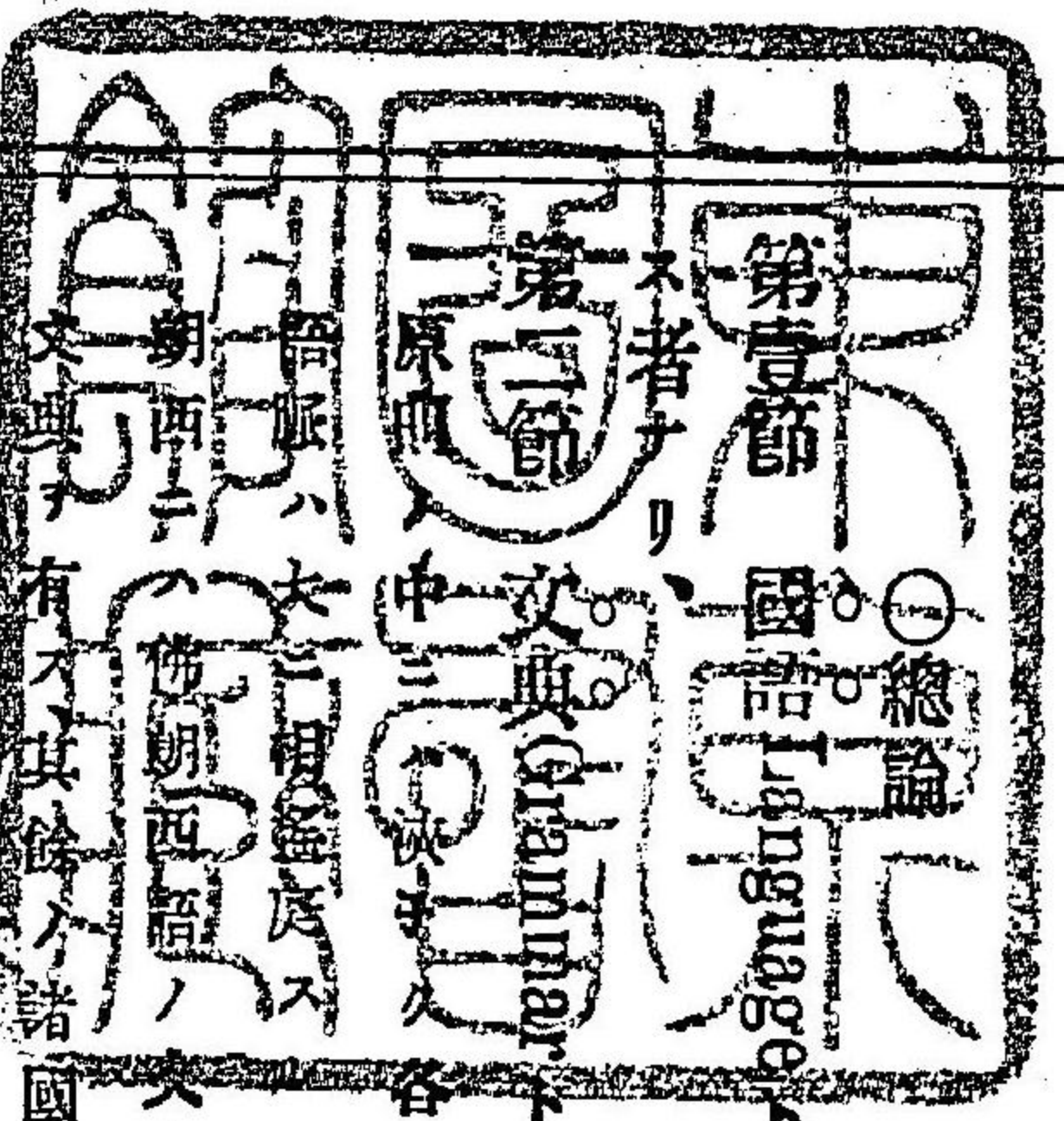
Handwritten text in a cursive script, likely a letter or document, written on the right side of the page.

大抵修辭...
Handwritten text in a cursive script, likely a letter or document, written on the left side of the page.

平井金三校閱
 平井廣五郎譯
 平井金三校閱
 平井廣五郎譯

ス井ン 英文典講義

平井金三校閱
平井廣五郎譯



第一節 國語 English 談話ニ出テ或ハ書寫シタル語ノ方便ヲ借リテ、以テ意想ヲ表ハ
 第二節 英倫文典ハ英倫國語ノ原則ヲ論ズル學ナリ、
 第三節 英倫文典ノ目的ハ、正シク英倫語ヲ談話シ、及ビ之ヲ書キ綴ルノ術ヲ教フルニ在リ、
 第四節 語 Word 及ビ文句 Sentence、國語ハ文句中ニ排列スル語ヨリ成ル、

ノ中ニ彙類ス之ヲ名ツケテ說話ノ品詞ト云フ、(說話ハ國語ノコナリ)、
第八節 說話ノ品詞左ノ如シ、

第一 名詞、Noun.

第二 代名詞、Pronoun.

第三 形容詞、Adjective.

第四 動詞、Verb.

第五 副詞、Adverb.

第六 前置詞、Preposition.

第七 接續詞、Conjunction.

第八 間投詞、Interjection.

第九節

文法的式樣 Grammatical form トハ、某說話品詞ニ屬スル性質ヲ示スノ方式ナリ、

例之、數トハ一個カ一個以上カヲ示ス方式ニシテ、名詞ニ屬スル文法的式樣ナリ、book—books
ノ如シ、時トハ動作ノ起リタル時限ヲ示ス方式ニシテ動詞ニ屬スル文法的式樣ナリ、walk—
walk ed、ノ如シ、比較ハ性質ノ高下ヲ示メスノ方式ニシテ、形容詞ニ屬スル文法的式樣ナリ、
long—long er、ノ如シ、

第十節

說話品詞ノ文法的式樣左ノ如シ、

第一、數ハ名詞、代名詞、及ビ動詞ノ法式ナリ、

第二、性ハ名詞、及ビ代名詞ノ性質ナリ、

第三、格ハ名詞、及ビ代名詞ノ性質ナリ、

第四、人稱ハ名詞、代名詞、及ビ動詞ノ性質ナリ、

第五、語法ハ動詞ノ性質ナリ、

第六、法ハ動詞ノ性質ナリ、

第七、時ハ動詞ノ性質ナリ、

第八、比較ハ形容詞、及ビ副詞ノ性質ナリ、

第十一節 文法的式樣ヲ示スニ種々ノ方アリ、左ノ如シ、

第一ハ語尾變化 Inflection ナリ、例メムニ boys ノ s、ハ數ナル文法的式樣ヲ示メス、語尾變
化ニテ、之ヲ附尾字 Suffix トイフ、walk ed ノ ed、ハ時ナル文法的式樣ヲ示メ、long er ノ er、ハ比
較ナル文法的式樣ヲ示メ、變化ナリ、

變尾語 Inflected word トハ、文法的附尾字ヲ有シ、又ハ之ヲ有シ得ルキ語ナリ、

文法的附尾字ト尋常附尾字トヲ混シテ同一視スル可カラズ、尋常附尾字トハ、勝化語(根語
ヨリ勝化セラレタル語)ヲ作クル爲メ、根語ノ最後ニ附加シタル文字又ハ綴字ニシテ help-
ful、help ナル根語ト ful ナル語尾トヨリ成レル語)ノ ful 及ビ teacher (teach ナル根語ト er ナ
ル語尾ヨリ成レル語)ノ er、ノ如キ是レナリ、故ニ文法的附尾字ニ在テハ、原語ノ意義ヲ僅カ
ニ變化スルニ過ギサレドモ、尋常附尾字ニ在テハ、大ニ意義ヲ異ニスル新語ヲ構成ス

第二ハ原質變化 Radical change 即ハチ原語中ニアル母音ノ變化ニシテ、前者ト同ジカラズ、

例メムニ man ナル原語ハ一個人ヲ示セドモ、其母音ヲ變ジテ man トスル時ハ、則ハチ數個人
ヲ示メス、又タ write、ハ現在書寫スルヲ示ス原語ニシテ、其母音ヲ變ジテ wrote トスルハ、已ニ書
寫シタルコトヲ示スガ如シ、故ニ此等ノ場合ニ在テハ s 又ハ ed 等ノ附尾字ヲ用フルヲ要

セズ

原語 Root word (又々 Primitive word) トハ、未ダ僅少ノ變化ヲモ受ケザル前ニ、單純無雜ノ形狀ヲ有スル語ナリ、

第三ノ助語 Auxiliary term ナリ、語ノ意義ヲ變化セントスルニ當タリ、之レト連用スル所ノ輔語ナリ、例スルニ、「I shall love」ハ、余ノ愛ハ必ズ後日ニ在ルナラント云フコトヲ示スノ助語ニシテ、more fortunate ノ他物ヨリ更ニ多量ナルヲ示スノ助語ナリ、第四ハ文法的關係 Grammatical relation トテ、文句中ニ在ル語ノ特別使用方ニシテ、其語ガ明瞭ナル徴ヲ有セサル時ニハ、之ニ依テ其文法的式樣如何ヲ決定スルコトヲ得、例スルニ「The boy flies kite」ノ boy ハ、主格ト名クル地位ヲ占ム飛ハスナル動詞ノ主位ニ在レバナリ、之ニ反シテ「The dog bit the boy」ノ boy ハ、嚙ミト云フ動詞ニ狙ハル、故ニ目的格ナル地位ニ在リトスルガ如シ、

第十二節 說話品詞ノ中、其五種ハ文法的式樣ヲ有ス、即ハチ、名詞、代名詞、動詞、形容詞、及ビ副詞ナリ、

其餘ノ三種ハ、式樣ヲ有セス、前置詞、接續詞、及ビ間投詞是レナリ、

○文法的式樣ナル語ノ注

此書ハ文法的式樣ト云フ語ヲ以テ、語ノ種々ナル性質即チ語ノ變態ナル定義ヲ有スル熟語ト爲セリ、抑モ此ノ熟語ヲ採用シタル所以ノ者ハ、通常世ニ行ハル、諸定語ヲ使用スルヨリ

シテ起ル所ノ種々ノ背理ト反對トニ學者ヲ陥ラザラシムルニ在リ、然ルニ從來ノ文法學家ヲ見ルニ、殆ンド皆ナ語尾變化即チ語ノ式樣ノ變化ニ與フルニ、數、性、格、人稱等ヲ包括セル定義ヲ以テセリ、曰ク、

「文典ニ在テ、數ハ一個ト數個トヲ區別スルノ變法ナリ、

性ハ男女ノ性ニ關シテ物体ヲ區別スルノ變法ナリ、

格ハ名詞及ビ代名詞ガ他ノ語ニ對スル關係ヲ區別スルノ變法ナリ」ト

元來斯ノ如キ定義方ハ、希臘語又ハ羅甸語ノ如キ、變化甚ダシキ國語ニハ適當スレドモ、英語ノ性質ニ適スルコトナシ、英語ハ只ダ僅々ノ變化ヲ有スルニ過ギスシテ、語ノ文法的特性ヲ示スニハ、自カラ他方ノ在ル有リ、例之ヘバ、英語ノ格ニハ只ダ一個ノ變化アルノミニシテ、主格及ビ目的格ハ、必竟文法的關係ニ依テ之ヲ區別スルノミニ、然ルニ文法學家皆ナ三格トモ數ヘテ變化ノ中ニ入レタリ、又々時モ只一個ノ變化アルノミニシテ、多クハ皆實ニ助字ノ作用ニ賴リテ起ル者ナルヲ、一一變化ト誤解シ、性ニ至テモ亦タ同種ノ誤譯ニ陷井リ、性ヲ示スニハ變法ヲ用ヒルヲ甚ハダ僅々ニシテ、概ムテ全ク異リタル語ヲ用井、或ハ頭字ノ作用ヲ借ルナルヲ忘却セリ、

然ラバ語ノ文法的性質ハ、タトヘ語尾變化ナルニモセヨ、原本變化ナルニモセヨ、助語ニヨルニモセヨ、若クハ單ナル使用ニヨルニモセヨ、荷クモ英語ノ諸變化ヲ示ス者ハ、如何ナル者ニテモ、此ノ語ヲ以テ包括表示ス、斯クスレバ又々我が英語ノ語彙ニ相應シタル方法ヲ以テ、數、

性、格等ヲ容易ニ説明スルニ夫レ々々ノ便ヲ與フルナリ、

○第二章 名詞

○第一款 定義

第十三節 名詞 Noun (Noun ナル語ノ起源ハ、佛朗士語ニテ Noun ト云ヒ拉丁語ニテ nomen ト云フ、名ト云フ義ニシテ、賴テ以テ事物ヲ示メス者ナリ)トハ、生存スルカ、若クハ心意ニテ考ヘタル諸事物ノ名ナリ、即ハチ左ノ如シ、

吾人ニ感觸スル
客觀的事物
「ゼームス」「ミルトン」「エリザヘス」等……………人名
「ローム」「ホストン」「ウァシントン」等……………地名
木、川、雷 等……………物名

心ニ思考スル
主觀的事物
「白ロサ、智慧、純粹ナル」等……………心ニ考ヘタル物体屬性ノ名
「讀書スル」「勉強、考察等」……………心ニ考ヘタル物体作用ノ名

第十四節 名詞ヲ試驗スル法左ノ如シ、

第一 名詞ハ働詞ノ主又ハ目的トナルコトヲ得、(第四十六、第四十八ノ二節ヲ見ヨ)、
第二 名詞ハ物体或ハ想念ノ名ニシテ、代名詞ノ如クニ名ヲ代表スル者ニ非ラス、
第三 名詞ハ意義ノ都合ニヨリ、之ヲ變化シテ數ト性ト格トヲ示メスコトヲ得、
第一、論理上ヨリ立テタル名詞ノ定義、以上示シタル三條ノ試驗法ハ、完全ナル名詞ノ定義ヲ得ルノ方便トナル、今定義ヲ設クルノ規則ニ從ヘバ左ノ如クナル、曰ク名詞ハ働詞ノ主又

ハ目的トナリ得、物体又ハ想念ニ名ヲ與タル數、性及ヒ格ニ應ジテ變化セラレ得ベキ語ナリ、
第二、實名詞 Substantive. 如何ナル語又ハ語ノ連合シタル者ニテモ、名詞ノ職ヲ尽スモノハ、名ケテ實名詞ト云フ、

第二款 名詞之種類

第十五節 區別 名詞ヲ區別シテ三大類トス、第一、普通名詞、第二、固有名詞、第三、抽象名詞、是レナリ、

第十六節 普通名詞 Common noun トハ汎稱ノ名、又ハ品類ノ名ナリ、其例左ノ如シ、

松、書物、花、黃金、

集合名詞 Collective noun トハ一全体ト見做スベキ集合體ヲ示メス普通名詞ナリ、即チ左ノ如シ、

軍勢、議會、陪審官、

第十七節 固有名詞 Proper noun トハ特有ノ名、又ハ一個獨立シテ他ニ比類ナキ人物ノ名ナリ、「ヘンリー」「ピスマルク」「ドーマス、ゼッファーン」等ハ一個人ノ名ニシテ、「ポストン」「シカゴ」「ニウ、オーレアンズ」等ハ、某ノ都會特有ノ名ナリ、

差別 普通名詞ト固有名詞トノ間ニ立テタル尋常ノ差別ニ曰ハク、普通名詞ハ數多ノ獨立人又ハ物体品類ノ名ニシテ、固有名詞ハ一個特種ノ名ナリト、此ノ如キ定義ハ頗ル妥當ナラス、例スルニ、固有名詞「ジョン、スミス」トハ普通名詞ノ玉ヨリモ其數更ニ多キ人

ノ名ナリ、故ニ此定義ハ實際ノ事實ト相ヒ盾ヲス、

第一 各個相類スルノ物体ヲ細格スル部類中ニ入ルベキ性質ヲ有セリト承認セラレタルヨリシテ某物体が受ケタル名ヲ普通名詞ト云フ、例スルニ、「ボストン」、「シカゴ」、「ニウ、オーレン」等ノ如キ地方ニハ同様ニ市ナル普通名詞ヲ適用スベシ、何トナレバ、此等ノ市ノ性質模様ガ、彼此互ニ類似スレバナリ、

又々某人、某地方或ヒハ某物体アリテ、之ヲ異種類ノ者ヨリ區別スベキノミナラズ、同種類中ノ他者ヨリモ之ヲ區別シ得ベキ爲メニ、其性質ノ何タルニ拘ハラズシテ受ケタル名ハ即ハチ固有名詞ナリ、之ヲ例ズルニ、論辨家ナル普通名詞ハ、唯々論辨家ニ屬スル人ト、論辨家ニ非ラザル人トヲ區別スルニ過ギザレドモ、「シセロ」、「マニール、ウエブスター」ノ如キ固有名詞ハ、車、木、山又ハ經濟家、政治家等ヨリ此二人ヲ區別シ得ベキノミナラズ、又々諸他ノ論辨家ヨリ此ニ論辨家ヲ區別スルコトヲ得ベシ、

第二 普通名詞ハ自カラ意義ヲ含有シ、其名ヲ示セバ直チニ其性質ノ何タルヤチ知ルニ足ル、然レドモ固有名詞ハ之ニ反シテ意義ヲ有セズ、之ヲ例スルニ、河ナル名詞ハ河ノ定義中ニ在ルベキ意義ヲ含蓄スレドモ、「アドソン」、「亞米利加」ニ在ル河ノ名ト云ハバ、何タル意ヲ示メサズシテ、只々單ニ某河ニ付シタル名ナルノミ、故ニ河ノミナラズ、某人及市街ニモ適用スベク、又々山、馬等ニ付與スルモ妨ナシ、是レ固有名詞ハ物体ノ性質ヲ示サレバ証ナリ、是ヲ以テ普通名詞ハ其物性質ノ何タルヲ説明スルノ力ヲ有スレドモ、固有名詞ハ單ニ物体

ニ名ヲ與フルノミニシテ、其性質ヲ説明スルノ力ナシ、

第十八節 抽象名詞 Abstract nouns トハ事物ノ性質或ハ作用ノ名ニシテ、白ロサ、廉直ナルコト、長サ、勇敢ナルコトノ如シ、

説明 各物皆性質又々屬性ナル者ヲ有ス、例スルニ、星ハ輝キ且ツ距タリ、馬ハ速ク又々強ク、人ハ善キ且ツ賢ク、コキガ如シ、斯ク某物体ヨリ其屬性ノミヲ抽出シ、之レニ名ヲ附與ス、之ヲ抽象名詞ト云フ、(抽象 abstract ナル字ハ本ト羅旬語ノ abstractus ト云フ字ヨリ來タリ、引キ去ルナル義ヲ有ス)

今上ニ示セシ光リタルトカ速カナリトカ云フ字ハ形容詞ニシテ、之ヲ抽象名詞ニ變スレバ次ノ如シ 光耀 brightness、距離 distance、迅速ナルコト、敏捷ness、強健ナルコト strength、賢ナルコト goodness、智慧 wisdom.

練習第壹

次ノ文句ヲ讀ミ、普通名詞ト固有名詞ト抽象名詞トヲ識別セヨ、

第壹 The snow was deep on the hills last week.

(前週ニ雪邱山ニ深ク堆積シタリ)

第貳 The battle of Brandywine was fought in Pennsylvania.

(「ブランドワイン」ノ戦等ハ「ペンシルヴェニア」州ニ起リタリ)

第三' warren was noted for the sweetness of his disposition.

〔「アレン」ハ其性質ノ溫和ナルヲ表シタリ〕

第四' Thanks to the skill, energy, and perseverance of a few master-minds, the problem of girdling the earth is now practically solved.

〔僅々俊傑ノ精巧ヲ以テ、地球ヲ一周スルヲ謝スヨリ、世界ヲ帶スルモノ如何イテ、今ノ難題ハ今ノ解決ニ解セラレタリ〕

第五' A host of Indian warriors rushed across the plain.

〔印度勇士ノ軍隊ハ曠野ヲ横過シテ突進セリ〕

第六' The legislature meets in February.

〔國會ハ二月ニ會ス〕

第七' Seeing is believing.

〔見ハシム則チ信ス(見ザレバ信セラレヌイテ信スナリ)〕

第八' France has not seen such another king as Henry the Fourth.

〔佛朗士國ニハ、顯理第四世ノ如キ王復タナハサズ〕

顯理第四世 Henry the Fourthノ如キ複雑ナル名ヲ複雜國有各語 Complex proper nounsト云フ可ナリ

第九' The Tempest was the last tragedy written by Shakspeare.

〔暴風(西克斯比亞)作リタル劇曲)ハ西克斯比亞作リタル劇中ノ最後ノ者ナリ〕

第十' Milton is the Homer of English literature.

〔「ミルトン」ハ英倫文學ノ「ホーマー」(昔時有名ノ詩人)ト云フニシ〕

第十一' Many a frozen, many a fiery Alps appeared.

〔凍レル高山ヲ多シク、烈フル高山ヲ數多現シタリ〕

第十二' O Justice, thou art fled to brutish beasts!

〔オー、公道ヨ、汝ハ猛獸ニ走ルトン〕

公道 Justiceハ普通名詞或ハ抽象名詞ナレドモ、一己人ノ資格ヲ與タヘ、固有名詞ト看做ス、

○名詞分類ノ注

便利ノ爲メ、下ニ三名詞ノ細別ヲ示メス、

第一 普通名詞

(第一) 汎稱スル品類ノ名、書物英雄ノ如シ、

普通名詞ハ大概此部ニ屬シ、自然ニ意味ヲ含有ス此ノ如キ名詞ハ、其類ニ入ルベキ人物ニ皆適用スルヲ得ベシ、例スルニ、英雄ト稱スベキ人物ハ、幾百千万モアリテ、其各個皆此ノ英雄ナル名ヲ受ケベシ、

(第二) 汎稱スル獨一無二ノ名、色、空間、生命、時間ノ如シ、

此等ノ名モ意義ヲ含有スル故ニ普通名詞ニハ相違ナケレドモ品類ノ名ニ非ザルヲ以テ、正シク言ヘバ複數トナルコトヲ得ザルナリ、若シ複數トナリテ空間等 Spaces ナド言フトキハ、廣ロキ空間ノ諸部分ヲ示メシ、色等 Colours ナド言フトキハ、諸種ノ色ヲ示メスト見做スベシ

(第三) 實質ノ名 陸、水、地ノ如シ、
此等ノ名詞ハ破損スベカラザル若クハ連接セル物ヲ示メシ、通例ハ複數ヲ許サマルナリ、若シ陸等 earths 又ハ水等 waters ナド言フトキハ、水陸ノ諸部分ナリト云フ義ヲ示メシ、從フテ品類ノ名トナル、故ニ同一ノ語ニシテ或ハ品類ノ名トナリ或ハ實質ノ名トナル、但シ前者ニ在リテハ複數トナルコトヲ得レドモ、後者ハ否ラズ、例スルニ、賣人ガ諸種ノ茶ノ標本ヲ出シタリト言フトキハ、茶ノ品類ノ名トナレドモ、若キハ一統ノ茶ヲ喫セリト云フトキハ、實質ノ名トナルガ如キ、是レナリ、

(第四) 集合名詞、軍勢、艦隊、評定衆ノ如シ、
此等ノ名詞ニ在テハ、數多ノ人或ハ物ガ一体中ニ在リト見做シ、其一休ヲ單一ノ者ト看做ス此種ノ名詞ニシテ單數式樣ナレトキハ、其ノ勸語モ亦々單數ナリ、其ノ例左ノ如シ、

The fleet was victorious.
The senate is to meet.

注意 clergy 僧侶又ハ people 人民ノ如キ集合名詞ハ、數多ノ人ノ集合ヲ示スト雖ドモ、其各個人ガ各自別々ニ動作ヲ爲シ、一休トナリテ動作ヲナサズ、此等ノ名詞ハ時アツテ數多

ノ名詞 nouns of multitude ト名ツルコトナリテ、之ヲ受ケル勸語ハ複數ノ式樣ヲ有セザル可カラズ、之ヲ例メニ、The clergy were opposed to the measure 又ハ The People deeply feel the disgrace ノ如シ、

(第五) 固有名詞ニ變ズ、天命 Providence (此レ普通名詞ナレドモ、神ト云フ義ニ用井、固有名詞ノ資格ヲ有ス)、大統領、英倫女王ノ如シ、

斯ノ如キ名詞ハ意義ヲ有スルガ故ニ普通名詞ナレドモ、同意義ヲ有スル一人物ニノミ適用セラル、之ヲ以テ、之ヲ固有名詞ト呼ブコトヲ得、

第二、固有名詞

(第一) 嚴然固有名詞ノ性ヲ有スル者、Milton 又ハ Jerusalem 又ハ the Alps 又ハ the Nile 此等ハ人、地、又ハ物体ニ付シタル特名ニシテ、一時ニ兩物ニ適用セラレズ、只ダ一時ニ一物ニノミ適用セラル、ガ正當ナレドモ、亦々複數ノ式樣ヲ保ツコトヲ得ルコトナリ、即チ the Mills Thompsons 又ハ the Rothschilds、如キ是レナリ、

(第二) 普通名詞ナリ者、a Milton 又ハ some village Hamden ノ如シ、

固有名詞ヲ斯ク使用スルハ、其名詞ノ品類ヲ示サント欲スルニ在ルガ故ニ、同時ニ意味ヲ含ム名詞ニ變ズ、蓋シ Milton 又ハ Hamden 詩人アリシガ故ニ、詩ニ巧ナルト云意味ニテ「ミルトン」ト云フタルニテ、Hamden 愛國者ト云フ意味ニ用井タリ、斯ク使用セラレタル名詞ヲ普通名詞ト稱スルモ可ナリ、

第三、抽象名詞

(第一) 屬性ヲ示メス抽象名詞、善又ハ智ノ如シ、

此種ノ名詞ハ先ヅ形容詞ノ有ルコトヲ認メ、然ル後此形容詞ヨリ抽象名詞ヲ作ケルナリ、

〔第十八節ノ注解ヲ見ヨ〕

(第二) 働詞狀名詞、"To read is Profitable"; "Reading is Profitable"ノ如シ、

英倫語ニ於テハ、働詞狀名詞即チ Verbs 二種ノリキ、may, can, shall, will, must等ノ助働詞ヲ除クノ外多ク働詞ハ皆此式様ヲ有スルモトナリ得、

其一ハ to ノ一語ヲ前ニ有スル不定法ノ働詞ニシテ to read ノ如シ、不定法下ノ働詞ノ式様ノ最簡ナル者ナリ、

其二ハ ing ナル語尾ヲ有スル不定辭ニテ、前ニ掲メタル句中ノ reading ノ如シ、(斯クノ如クニ ing ナル語尾ヲ附シタル者ヲ gerund ト名メタ)、

注意、働詞狀名詞ノ特性ニ至テハ、前節百節ニ十分説明スベケレドモ、此ノ ing ナ者ハ不定辭ト現在分詞タル者トナ混同スベカラザルコト豫メ知ラザル可カラズ、例スレバ "The boy is writing" (小兒ハ書キテ居ルメシ) 又ハ "The boy, writing home, said" (小兒ガ故郷ニ書翰ヲ書テ日々) 等ノ writing ナル字ハ即チ現在分詞ナリ、然レドモ若シ ing ナル式様ヲ普通ノ不定辭 (to write) ニ代用サル、モ意義ヲ變セザル時ハ即チ働詞狀名詞ナリト知ルベシ、例スレバ "Writing is more difficult than reading" ナル句中ハ writing

及ヒ reading ハ to read 及ヒ to write ニ同シトス、

摘要

品類ノ名……………書物、英雄、

獨一無二ノ名……………色、空間、

普通名詞 實質ノ名……………黄金、鐵、

集合名詞……………評定衆、軍勢、

固有名詞ニ變ズル者……………神、公園地、

固有名詞 破然タル固有名詞……………"シヨン、ミルトマン"、

普通名詞ニ變ズル者……………"箇ノ" "ミルトマン"、

形容詞ヨリ抽出シタル者……………白ロサ、正直ナルコト、

抽象名詞 不定辭……………書クコト (若クハキ)、

働詞狀名詞……………書クコト、

働詞狀名詞……………書クコト、

第三款 名詞ノ文法的式様

第十九節 式様ノ數 名詞ノ文法的式様ニ四個アリ、一ニ曰ク數、二ニ曰ク性、三ニ曰ク格、四ニ曰ク人稱、

第一項 名詞ノ數

第二十節 定義。數。Number トハ名詞ニヨリテ名ヲ付ケラレタル物事ガ、一個ナリヤ將タ一個ヨリ多キヤヲ示スノ文法的式樣ナリ、

第二十一節 數ニ二種アリテ、一ヨ單數。Singular number ト云フ、物事ガ只一個ナルヲ示ス、star 又ハ child ノ如ク、一ヨ複數。Plural number ト云フ、事物ガ一個ヨリ多キヲ示メス、stars 又ハ children ノ如ク、

複數ノ構成

第二十二節 複數ヲ作クルニ二法アリ、一ハ語尾變化ノ法ニ由リ、一ハ原質變化ノ法ニ由ル、名詞ノ中ニモ、單複數ヲ區別スルニ足ルヘキ徴ヲ有セザル者アリ、之ヲ不定式樣。Indeterminate form ト稱スルヲ得、例之、sheep(羊)ナル字ハ單複共ニ同式樣ヲ有スルガ如ク、語尾變化ヲ論ズ、第一、

第二十三節 總則。名詞ノ複數ヲ構成スルノ法ハ、單數名詞ニヨリテハ(聲調ヲ滑ラカニスルベキ場合ニ在テハ)即チ加フルヲ常トス、

(注) 名詞ノ語尾ニ p, f, t, th(清音)ノ者ニシテ thin ノ如ク、k ナル鋭音(濁ラズシテ而カモ明ラカニ聲ニ出サザル者)ヲ有スル時ハ、s 字ノ音ハ清音ニ變ス、cats 及ヒ books ノ如ク、若シ語尾ニ b, v, d, th(濁音)ノ者ニシテ the ノ如ク、g ナル鈍音(濁ラナカモ明ラカニ聲ニ出サザル者)或ハ m, n, l, r ナル流動音流ル、ガ如ク滑カニ前後ニ引續ク者)或ハ

母音ヲ有スル時ハ、s 字ヲ濁音ニ變メ、s dogs, hens, bells ノ如ク、

第二十四節 次ニ掲グル種類ノ名詞ヲ複數トナスニハ es ヲ加フルヲ常トス、

(第一) ch(軟音)ニシテチノ如ク響クモノ)の、s, th, s, 又ハ n ヲ語尾ニ有スル名詞、及ヒ語尾ニ o 字アリテ其前ニ子音ヲ有スルノ名詞ナリ、之ヲ例メ、church, churches; kiss, kisses; dish, dishes; box, boxes; topaz, topazes; motto, mottoes ノ如ク、

(第二) 語尾ニ y 字アリテ其前ニ子音ヲ有スル名詞ハ、y ヲ i 字ニ變ジ、而ル后ニ es ヲ加フベシ、例スルニ、story ヲ變ジテ stories トスルガ如ク、

(第三) 古代ノ英語ニテ語尾ニ f 又ハ fe ノ字ヲ有スル數名詞ハ、f 又ハ fe ヲ代ヘテマツシ、然ル後ニ es ヲ加フ、例スルニ、thief, thieves; wife, wives; wolf, wolves; life, lives ノ如ク、

原質變化ヲ論ズ、第二、

第二十五節 英倫古語ノ原質變化法ニ依テ複數ヲ作クルモノアリ、詳言スレバ單數名詞ノ母音ヲ變化スル法ナリ、次例ノ如ク、

單數	man	複數	men
	woman		women
	foot		feet

goose	geese
tooth	teeth
mouse	mice
louse	lice

不定式樣ヲ論ズ、第三

第二十六節 名詞ニシテ單數複數トモ其形ヲ變セザルモノアリ、所謂不定式樣ナル者ナリ、次例ノ如シ、

單數	複數
sheep	sheep
deer	deer
grouse	grouse
salmon	salmon
heathen	heathen

斯ノ如キ不定式樣ニ逢コタル時、其單複數ヲ決スルニハ本文章前後ノ關係ニヨリ推測スベシ、之ヲ例スル左ノ如シ、
A sheep (單) was feeding on the hill.
Sheep (複) were feeding on the hill.

數ノ特性

第二十七節 二重ノ複數 一名詞ニシテ二箇ノ複數ヲ有シ、而カモ其二箇ガ互ニ特異ノ意義ヲ有スルモノアリ、

單數	複數	數	複數	數
brother	brother	同胞兄弟	brethren	社會ノ兄弟
cloth	cloths	織物品類	clothes	衣服
die	dies	刻印	dice	雙陸ノ骰子
genius	geniuses	才子	genii	魔神
index	indexes	目錄	indices	代數學符號
Pea	peas	多數ノ豆	Pease	集合シタル豆
Penny	pennies	貨幣ノ多數	pence	價值又ハ合計
staff	staves	杖等	stuffs	參謀官
shot	shot	彈丸	shots	珠ノ多數

	r a d i u s	r a d i i
(一)希臘語	a x i s	a x o s
	Phenomenon	Phenomena
(三)伊太利語	bandit	banditti
	virtuoso	virtuosi
(四)但希拉語	cherub	cherubim
	seraph	seraphim

第三十一節 複合名詞 Compound noun 次ノ數條ハ複合名詞ニ付テ必要ナル者ナリ、

第一 複合名詞ノ複數ヲ作ケルニハ主要ナル名詞ノ語尾ニヨリテ附スルニハ主要ナル名詞ト示メサレタル物体ノ名ナリ例之ハ「Fruit-trees, brothers-in-law, aids-de-camp」ノ如シ、
〔茲ニ果物ノ樹ト云フ時ニ果物ガ主要ナル名詞ニテラズミテ樹ガ主要ナル名詞ナリ何トナレバ今樹ヲ主ニ示センナリ之ヲ主要ナル名詞ト云フ〕

第二 複合名詞ノ最後ガ形容詞ナル時ハ(佛朗士ノ方語ニ關シ)名詞ノ語尾ニSヲ加フルヲ常トス例スルニ「attorneys-general, courts-martial」ノ如シ、

Knights-Templars, men-servants, women servants ノ如キ複合名詞ニ在テハ、阿部トモ皆ナ複數ノ式樣ヲ有セシム、

第三 forget-me-nots (遺棄草ト云フ花ノ名)ノ如キ名詞ハ充分結合シテ全語ヲ言ヒ終ルニ非ンバ其意義不完全ナル故ニ此場合ニ在テハ複數ノ符號Sヲ最後ニ附ス、

第三十二節 固有名詞 固有名詞ヲシテ複數ノ式樣ヲ有セシメンニハ普通名詞ヲ複數ニナス時ト同様ナルヲ常トス、然レドモ語尾ニツ字ヲ有ヘル固有名詞ノ場合ニ在テハ一定ノ規則アラズシテ、只S字ヲ加フル人モアリ、又々普通名詞ニ於ケルト一規ヲ踐ム人モアリ、

練習第一

甲、次ノ名詞ヲ複數ニセヨ、

- 第一 Pen; desk; book; knife; fox; ox; foot; footman.
- 第二 Candle; map; cage; calf; glass; hat; sky; toy.
- 第三 Cargo; church; monarch; muff; tyro; focus; basis.
- 第四 Story; dictum; beau; potato; cherrub; log; nebula.
- 第五 Chimney; automaton; genus; proof; axis.
- 第六 Criterion; child; woman; wife; kiss; staff.

乙、次ノ名詞ノ單複數ヲ區別シ、單數ナル者ハ之ヲ複數ニ變シ、複數ナル者ハ之ヲ單數ニ變

カニ

- 第一' Boy; man; pennies; sugar; perts hens; shoes; fox; ewes; geese.
 - 第二' Hens; tigress; ladies; wren; dose; hose; clothes; feet; tooth; ox; vixen; gowr; mouse; grise; crews.
 - 第三' Oxen; fish; children; a sheep; threedear; steer; tax; boxes; sorceress.
 - 第四' Deacons; deaconess; cheese; valleys; trees; lees; grease; rice; dice.
- 丙、複數名詞ヲ單數名詞ニ變シテ次ノ文句ヲ書セヨ、
- 第一' Monkeys are the animals which most resemble men. [猿ハ獸類中最モ善ク人ニ似タル動物ナリ]
 - 第二' Mice are running across the room. [鼠ハ此處ヲ通リ横過シテ走ル]
 - 第三' Sheep have woolly fleeces [羊ハ深クオサシキ毛ヲ有ス]
 - 第四' The appendices to these books are short. [此等ノ書籍ノ補遺ハ短シ]
 - 第五' The hypotheses will not hold good. [此等ノ假説ハ長クオサシキベシ]

- 第六' The data proved to be false. [ソノト題ハ誤謬ナラン語ナキ]
- 第七' The premisses were true. [前提ハ眞正ナル者ナリ]
- 第八' The radii of circles are half their diameters. [圓ノ半徑ハ全徑ノ半ナリ]
- 第九' Nebula appeared in the heavens. [星雲天ニ表現シタリ]
- 第十' Gipsies offered to tell us our fortunes. [ジプシー]人種ハ吾人ノ運命如何ヲ吾人ニ語ルニシテ發言シタリ
- 第十一' The mountains are enveloped in mists. [山々ハ霧中ニ掩ハレリ]
- 第十二' There are beautiful roses in our gardens. [吾輩ノ花園ニハ美麗ナル薔薇ナリ]

第二項 名詞ノ性

第三十三節 定義。性。Gender トハ名ヲ受ケタル事物ガ、男性ナルヤ、女性ナルヤ、將タ男性ニモ女性ニモアラザルヤヲ示スノ文法的式様ナリ、

評言スレバ性トハ名詞及ビ代名詞ノ式様又ハ意味ノ區別ニシテ、其力ニ依リ其名詞ガ男性ノ事物女性ノ事物ニ若クハ性ナキ事物ニ代ルナリ、

第三十四節 性ハ有性若クハ無性ニ依リテ之ヲ決ス、而シテ今性ニ三種アリ、一ヲ男性masculine genderトシ、二ヲ女性feminine genderトシ、三ヲ中性neutergenderトシ、

男性ヲ有スル事物ノ名ヲ男性名詞ト云フ、例スレバ、男man王king父fatherノ如シ、「女性ヲ有スル事物ノ名ヲ女性名詞ト云フ例スレバ、女woman女王queen母motherノ如シ、

男女ノ性ヲ有セザル事物ノ名ヲ中性名詞ト云フ、例スレバ、石stone木tree家houseノ如シ、第三十五節 性ニ關スル種々ノ文法上慣例ヲ次ニ示ス、

第一、複數名詞ニシテ阿性ヲ有スル事物ヲ示シタリト考フベキ者ハ、之ヲ普通性common genderトオストテ、

第二、其意義ノミニテハ何レノ性ナルヤヲ判知スベカラザルモ、男性ヲ示シタリト認定サル、單數名詞ハ男性ニ屬スルトス、

第三、意味ノミヲ以テスレバ何性ヲ有スルヤヲ知ル可カラザルモ、女性ヲ示シタル者ト認定セラレタル單數名詞ハ女性ニ屬ストス、

第四、前後ノ文脈ガ某物体ノ性ヲ示サマルガ如キ場合ニ在ル單數名詞ハ男性ナリ、第五、小動物及ヒ幼児ノ場合ニ在ラハ、其名ハ中性代名詞ノ助ケニ依テ中性ナルコトヲ示サル、トテ、*The baby cried itself to sleep*ノ如シ、

第六、生命ナキ事物ヲ有生物ノ如ク書キ、*For winter came the wind was his whip,* *One choppy finger was on his lip.* *He had torn the cataracts from the hills,* *And they clanked at his girdle like manacles.* 例左ノ如シ、

第三十六節 性ノ使用、英倫文典ニ在テハ、性ノ區別甚ダ緊要ナラスシテ、其區別ヲ立ツルニモ、主トシテ *he, she, it* ナル代名詞及ビ之レト同種ノ一三ノ語ヲ使用スルニ現ハル、

(歴史ニ關シテ知ルベキ爲メノ注) 近世英語ノ性ハ名詞ガ指示スル事物ノ性質ヲ單ヘニ基本トシタル者ニシテ、羅匈又ハ希臘ノ文典ニ於ケル性ト蓋カニ迥庭シ、又々我がアングロ、サクソンノ語ノ性トモ大ヒニ異ナリトス、彼ノ拉丁、希臘及諸他ノ國語ニ在テハ、通常、名詞ノ性分ヲ決定スルニ、物体ノ性質如何ニ拘ハラズシテ、專ハラ名詞ノ語尾ノ摸樣ニ基ケリ之ヲ例スルニ、羅匈語ニ在テハナル語尾ヲ有スル名詞ハ皆女性ナリト定メタルヲ以テ、*pena*、羅匈語ニシテ、英語ノ *pen*ト云フ字)ト云フ名詞ハ女性ニ屬スルガ如キ是レナリ、蓋シ此等ハ文法的性質(只ダ語ニナリ適用セラルベキ性)ト稱スベクシテ、自然性ナル者ニ非ズ、自然性トハ我が

英語ニ於ケルガ如ク物体カ有スル自然ノ性質ナリ、

第三十七節 男女相對スル物ヲ示ス所ノ男性名詞及女性名詞ヲ區別スルニ三法アリ、第一ハ男性物ト女性物ノ各ニ各異ノ語ヲ用ユルナリ、第二ハ助語ヲ用ユルナリ、第三ハ附尾字ヲ用ユルナリ、

第三十八節 第一法 全ク異リタル語ノ兩性、

男性	man	boy	husband	son	stag
女性	woman	girl	wife	daughter	hind

斯ノ如キ名詞ノ性ハ、只ダ其意味ノミヲ以テ知ルベキノミニシテ、文典ニ關係ナシ、

第二十九節 第二法、性ヲ示スヘキ助語ヲ不定性ノ名性ニ附着スルノ法ニシテ、複合名詞ヲ作クル、

男性	man-servant	he-goat
女性	maid-servant	she-goat

第四十節 第三法 女性ヲ示スニ性ノ變化法ヲ用ヒ、語尾ニ *ess* ナル字ヲ加フ、是レ最モ普通ノ者ニシテ、且ツ新タニ女性ヲ構作スルノ只タ一法ナリ、例之ハ *murder-er* (男性) *murder-ess* (女性) 及 *host* (男性) *host-ess* (女性) ノ如シ、

第四十一章 *ess* ナル變化法 *ess* ナル語尾ハ女性ヲ作クルノ變化法ニシテ、男性ヲ作クルトキ *er* ナル語尾ヲ用フルト相對比ス○次ノ三項ニ注目セヨ

第一 男性名詞ヲ作クルニ *er* ナル語尾ヲ附スルニ對シ、女性名詞ヲ作クルニ *ess* ナル語尾ヲ附スル時ハ、之ヲ名ケテ文法的性質ト稱スベシ次例ノ如シ、

男性	murder-er	murder-ess
	sorcer-er	sorcer-ess

第二 然レドモ、男女性ヲ有スル事物ノ名ノ摸樣ガ斯ク相對比スルハ、現今甚ダ稀ニシテ、只女性名詞ヲ作クル時ノ *ess* ヲ加フレバ、之ニ對スル男性名詞ニ在テハ、性ヲ示スニ足ルベキ語尾ナキヲ當トス、其例左ノ如シ、

男性	giant	heir	poet
女性	giant-ess	heir-ess	poet-ess

第三 essナル語尾ヲ附スルニ當テリ其本語ガ綴字ノ變化ヲ受クルヲ屢アリ、其例左ノ如シ

男性	actor	女性	actr-ess
	hunter		huntress
	negro		negr-ess
	votary		votar-ess

其一 erナル附尾語(「アングロサクソン」のere即ハナ男ト云フ字ヨリ轉訛シ來タレリ)ハ、古代英語ノ男性ノ變化法ニシテ、之ニ對比スル女性變化法ハesterナリシガ、歲月ノ變遷スルニ從ヒ、sterノ使用廢トシテessヲ使用スルコトナリタリ、元來此ノessハ「ローマン、フランス」語ノ女性變化法ナリ、

其二、古代我國語ニ在テハ、essナル語尾ヲ有スル女性名詞ハ、其數運カニ現今ヨリ多クシテ *doctress*, *magygness*, *consiness* [方今ハ用ホス] 等ノ字アリテ、此等及ビ諸他類似ノ名詞ハ西克斯比亞氏ノ時代ニ至テモ尙盛ニ使用セラレタレドモ、方今ハ全ク之ヲ用弗ズ、或ハ斯ノ如キ女性名詞ヲ再用シ、或ハ女性名詞(*doctress*, *waitress*, *editress* 等)ノ如キ近來女子ガ爲ス職業ヲ示ス爲メニ)ヲ新作セントスルノ傾向ナキニシモアラズト雖ドモ、別ニ反感ノ在レナリテ之ヲ廢滅シ、*doctor*, *author*, *writer*, *engraver* 等ノ字ヲ男女同等ニ適用スルナリ

第四十二節 外國語ノ變化法 外國ヨリ轉入シタル名詞ニシテ、其國語ノ法式ニ從ヒ、女性

ヲ作クルモノアリ、其例左ノ如シ、

男性	executor	女性	execu-trix
希臘	hero		hero-ine

然レドモ女性名詞ヲ作クルニハessノ場合ト同シク此法ヲ用フル能ハザルヲ知ルベシ、

練習第三

次ノ語ノ性ヲ示セ、

- 第一、 Cow; lass; mistress; poet; gander.
- 第二、 Widower; aunt; uncle; priestess; goddess.
- 第三、 Lamb; horse; cattle; hogs; pigs; chickens.
- 第四、 Pauline; bridegroom; ship; son; moon.
- 第五、 Husband; wife; steer; heifer; gentleman; lady.
- 第六、 Moor-hen; ink-bottle; editor; regiment; witch.

第三項 名詞ノ格

第四十三節 定義 格 caseトハ名詞ガ文句中ノ他ノ語ニ對シテ如何ナル關係ヲ有スルヤヲ示スノ文法的式様ナリ、

例解 The general praised the soldiers bravery ナル文句ニ就テ、generalハ主ノ名詞

praised ナル勳詞ヲ以テ示サレタル舉動ヲ爲シタル人ヲ示シ、bravery ナル名詞ハ稱讚スルナル舉動ガ向フベキ事物ヲ指シ、soldiers ナル名詞ハ稱讚セラルルベキ勇氣ノ所有者ヲ示シ而シテ general 及、bravery ノ二名詞ハ praised ナル勳詞ニ關係ナリ有シ、又、soldiers ナル名詞ハ bravery ナル名詞ニ關係ナリ有ス、

第四十四節 格ノ式樣、英語ノ名詞ト只二個ノ格ノ式樣ヲ有シ、boy, boy's 又ハ bird, birds 等ノ如シ、然レドモ名詞ニハ少ナクトモ三個ノ相異ナレル關係アリ、且ツ最モ多クノ代名詞ニ在テハ、各々相異ナル二個ノ語ヲ以テスルガ故ニ、名詞ニ三個ノ格アリトスルヲ通常トス

第四十五節 二個ノ格ハ、一ニ曰ク主格 Nominative case. 一ニ曰ク持格 Possessive case. 三ニ曰ク目的格 Objective case 是ノナリ

第四十六節 主格トハ名詞ガ勳詞ノ主トナル時ニ有スル資格ナリ The boy grows ノ如シ、勳詞ノ主 Subject トハ、勳詞ニ由テ其舉動ヲ示定セラレタル事物ノ名ナリ、

第四十七節 持格トハ名詞ガ某事物ヲ所有スル時ニ有スルノ資格ナリ The boy's book last ノ如シ、

第四十八節 目的格トハ名詞ガ勳詞又ハ前置詞ノ目的トナル時ノ使用法ニシテ、名詞ノ主格及目的格ハ共ニ同一ノ式樣ヲ有シ、其名詞ト勳詞トノ關係ヲ考ヘテ、是レ主格ナルヤ、將タ又メ目的格ナルヤヲ決ス、

勳詞ノ目的 Object トハ、勳詞ニ示サレタル舉動ガ隨着スル事物ノ名ニシテ、勳詞ノ後ニ在ル whom 又ハ what ト同意ナリ、

第四十九節 持格之規則 單數名詞及ビ主格ニシテ語尾ニヨリ有セザル複數名詞ヲ持格トナスニハ、主格ノ語尾ニヨリ附シ、其前ノ上方ニ() ナル符号ヲ附スベシ、此符號ヲ apostrophe ト名ヅク、例スルニ boys', John's, men's ノ如シ、

語尾ニヨリ有スル複數名詞ヲ持格トナスニハ、其前ノ次ノ上方ニ() 符號ヲ附スベシ、之ヲ例スルニ the boys' books 及、the birds' feathers ノ如シ、

第一、昔時ヨリ又ハ古ノ語尾ヲ有スル單數名詞ノ持格ヲ示スニハ、語尾ニヨリ附セズニテ「アホム」トローフ點ヲ附スルヲ以テ通常トセリ、例セバ Socrates' wife 又ハ the Times' editorial ノ如シ、然レトモ今ハ僅々ノ場合(for conscience' sake ノ如シ)ヲ除ク外、此法殆ムト不用ニ歸シ單數持格ヲ示スニハ、() 符號ヲ附セルノ規則ニ從フヲ以テ善トス、故ニ Charles' book (古代ノ書)ト書スルヨリ Charles's book ト書ク「the goddess' wrath」ト書ク「the goddess' wrath」ト書スベシ、蓋シ此語尾ガ發聲セラレハキヤ否ヤハ、發聲又ハ詩歌ニ必需ノ事ニシテ、書記スル時ニハ、() ナル語尾ヲ附シテ單數ノ持格ヲ示スコト文典ノ公道ナリ、

第二、單數持格ノ語尾變化「ア」アングロサクソン語ノ語尾「エ」ヲ代表セル者ニシテ、此「エ」ハ某名詞ノ持格(genitive)ノ單數ヲ示スニ用井シナリ、例スルニ smith ノ持格ヲ示シ、smith's 又ハ持格ヲ示ス者ニシテ「of smith」ト同シ、但シ「アホム」トローフ點ハ古代ノ「es」ノ「e」ナル母音

ヲ略シタルコトヲ示セル者ナシ
 第三、複合若クハ複雜名詞ヲミテ持格ヲラシメテニ接後ノ語段ニヨリ附メ例スルニ many
 father-in-law's house スル John Stuart Mill's Political Economy ノ如ク
 第五十節 變化。單複數ニ三個ノ格ヲ有セシムル時ニ、名詞ノ變化サレタリト云フ、此作
 法ヲ名ケテ變化 Declension ト云フ、

名詞之變化

B O Y			M A N		
單數	複數	數	單數	複數	數
主格	boy	boys	主格	man	men
持格	boy's	boys'	持格	man's	men's
目的格	boy	boys	目的格	man	men
L A D Y			S H E E P		
單數	數	複數	單數	數	複數

主格	持格	目的格	主格	持格	目的格
lady	lady's	lady	sheep	sheep's	sheep
ladies	ladies'	ladies	sheep	sheep's	sheep

練習第四

- 甲、次ノ文句ノ中、先ツ主格ノ名詞ヲ撰出シ、次ニ目的格ノ名詞ヲ撰出セヨ、
- 第一、 I love John.
 [吾「ジョン」ヲ愛スル]
 - 第二、 John loves me.
 [「ジョン」ハ吾ヲ愛スル]
 - 第三、 The boy likes play.
 [小兒ハ遊戯ヲ好ム]
 - 第四、 Play tires the boy.
 [遊戯ハ小兒ヲ憊ラセシム]
 - 第五、 The hunters followed the hound.
 [獵人ハ獵犬ヲ追跡セリ]

第六、 The snow covered the ground.

〔雪地ヲ被ルコトナリ〕

第七、 John Milton wrote *Paradise Lost*.

〔ジョン・ミルトンハ「失乐园」ト云フ詩ヲ作ケリ〕

第八、 Suspicion haunts the guilty mind.

〔疑念ハ罪ニ非難シテ侵ルコトナリ〕

第九、 Across his brow his hand he drew.

〔彼ハ手ヲ以テ額ノ間ヲ掩ヒタリ〕

第十、 The children coming home from school

Look in at the open door;

They love to see the flaring forge,

And hear the bellows roar,

And catch the burning sparks that fly

Like chaff from a threshing-floor.

〔童兒衆ヲ出テ家ニ歸リ門外ヨリ戸内ヲ窺フ。坐ロニ竊ニ火ヲ煖爐ノ火ヲ觀ル。又々聞ク風蕭ノ吼トイフ。ミナ衆ヲヲ驅リテ捕ル。ミナ欲ス飛火ノ影。飛火ノ輕ク飛メテ打禾ニ似タリ。〕

第十一、 Now fades the glimmering landscape on the sight,

And all the air a solemn stillness holds.

〔暮靄ハミナト水聲ニ消レシメテ欲ス風物聲ヤトミナト静ク其聲ナクシテ〕

第十二、 Large was his bounty, and his soul sincere;

Heaven did a recompense as largely send.

〔慈愛廣大ニミナト心寛大ナル自然ノ報謝スルコトナリ〕

乙、 次ニ擧グル名詞ノ單複數ヲ持格ヲ示ス

第一、 Child; prince; woman; king; cable; tutor.

第二、 Peril; mercy; father; Henry; aunt; cat.

第三、 Charles; gardener; brother; poetess; author; painter.

第四、 Sculptor; engraver; sister; Socrates; princess; bridge.

第五、 House; Peter; righteousness; ox; thief; sheep.

丙、 次句ノ中、伊太利文字ニテ書シタル者ヲ持格ニ變ジテ新句ヲ作ク

第一、 A cup of the boy.

第二、 The mother of Moses.

第三、 The dresses of the ladies.

第四、 The son of the princess.

第五、 The pain-killer of Davis.

第六、 The snow covered the ground.

〔雪地ヲ掩フタマフ〕

第七、 John Milton wrote *Paradise Lost*.

〔ジョン・ミルトンハ「失乐园」ヲ著クヘリ〕

第八、 Suspicion haunts the guilty mind.

〔疑念ハ罪ニ在ルハ常ニ追ハス〕

第九、 Across his brow his hand he drew.

〔彼ノ手ヲ額ニ引キテ隠シタリ〕

第十、 The children coming home from school

Look in at the open door;

They love to see the flaming forge,

And hear the bellows roar,

And catch the burning sparks that fly

Like chaff from a threshing-floor.

〔童兒歸リ出テ家ニ歸リ門外ヨリ空ヲ見テ内ヲ窺フ坐ロニ喜ニテ煖爐ノ火ヲ觀ル又タ聞ク風箱ノ吼ケル聲ヲ聞キテ捕ルニ欲メ飛火ノ形飛火ノ輕クホント打禾ニ似タリ〕

第十一、 Now fades the glimmering landscape on the sight,

And all the air a solemn stillness holds.

〔静寂タリト水將ニ消ヘント欲メ風物静キヤメテ神々モ寂ク可シ〕

第十二、 Large was his bounty, and his soul sincere;

Heaven did a recompense as largely send.

〔慈愛徳大ニミテ心寛厚ナリ自然ノ報謝メタリカラス〕

乙、 次ニ擧グル名詞ノ單複數ヲ持格ヲ示スルコト

第一、 Child; prince; woman; king; cable; tutor.

第二、 Peril; mercy; father; Henry; aunt; cat.

第三、 Charles; gardener; brother; poetess; author; painter.

第四、 Sculptor; engraver; sister; Socrates; princess; bridge.

第五、 House; peter; righteousness; ox; thief; sheep.

丙、 次句ノ中、伊太利文字ニテ書キタル者ヲ持格ニ變ジテ新句ヲ作クヘリ

第一、 A cap of the boy.

第二、 The mother of Moses.

第三、 The dresses of the ladies.

第四、 The son of the princess.

第五、 The pain-killer of Ivois.

(*)……………目的格
(~)……………變化法一箇

丙、復習第一、

- 第一、名詞ナル語ノ起源ヲ問フ、
- 第二、實質体ノ二名詞ヲ含ム文句及ビ心ニ知リタル事物ノ二名詞ヲ含ム文句各一ヲ書セ、
- 第三、名詞ノ三試験ハ次ニ在ル何レノ語ニ適スルヤ、又タ何レカ名詞ナルヤヲ語レ
hero, heroic, we, man, truly, who.
- 第四、名詞ノ三個ノ主タル區別ヲ示メシ、文句ヲ作クヲテ其各語ヲ説明セヨ、
- 第五、固有名詞ト普通名詞トノ主要ナル區別ヲ尋メ又タ川及亞馬遜ナル名詞ニ其説明ヲ活用セヨ、
- 第六、抽象名詞ノ三例ヲ言ハ、何ニテモ三形容詞ヨリ三個ノ抽象名詞ヲ作クレ、
- 第七、Seeing is believingナル文句中前後ノ二語ハ名詞ノ何種ニ屬スルヤ、
- 第八、複數名詞ヲ作クルニモ又ハesヲ加フルヲ以テ通常トスレドモoxen, feet, mice, children, strataナル複數名詞ヲ作クルノ特法如何、其説明ヲ乞フ、
- 第九、次ノ語ヲ複數ニ變ヤセヨ、
cow; knife; wife; dwarf; staff; ox; die; house; wealth; phenomenon ;canto;
lily; donkey; stomach; son-in-law; brigadier-general.

- 第十、次ノ詩律ヲ讀ミ名詞ノ種類ヲ分カテ、
Can storied urn or animated bust
Back to its mansion call the fleeting breath?
Can Honor's voice provoke the silent bust,
Or Fattery soothe the dull, cold ear of Death?
Some village Hampden, that with dauntless breast
The little tyrant of his fields withstood,
Some mute inglorious Milton here may rest,
Some Cromwell, guiltless of his country's blood.

其二、

- 第一、複數ノ語尾sノ起源ヲ問フ、
- 第二、集合名詞ヲ含有スル文句一ヲ書セ、
- 第三、次ノ名詞ノ數ヲ問フ、
mathematics scissors
deer alms
- 第四、次ノ名詞ノ複數ヲ記セ、
Englishman Musliman

Ottoman
talisman

German

第五、單數ノ式樣ヲ有セザル名詞ト、複數ノ式樣ヲ有セザル名詞ト、一時ニ兩數ヲ有スル名詞トヲ示メセ、

第六、次ノ語ノ二重複數ヲ示メシ、又々其意義ヲ區別セヨ、
die; brother; cloth; penny.

第七、gender & sexト、差別如何、

第八、名詞ノ女性ヲ構造スルノ數法ヲ示シ、且ツ例ヲ以テ之ヲ說明セヨ、

第九、女性名詞ノ語尾 esハ何レノ國語ヨリ轉訛シタルヤ、又之ニ相對合スル「アン」ゴロ、サクソニ語ノ語尾如何、

第十、Songstress & spinsterナル語ニ於テ詞學上特異ナル者ヲ示マ、

其三、

第一、女性ヨリ作りタル二個ノ男性名詞ヲ記セ、

第二、普通性ノ三名詞ヲ問フ、

第三、waitress 又ハ eddress 等ノ女性名詞ハ方今何故ニ不用ナルヤ、

第四、格ノ定義ヲ示シ格ノ種別ヲ舉ケ並ビニ名詞ノ語尾變化 declensionヲ說明セヨ、

第五、近來英語ノ格ニ只一ノ變化アリ、何ゾ、

第六、如何シテ主格及持格ヲ區別シ得ルヤ、

第七、father'sノ如キ語ノ'sノ起源ヲ語レ而シテ同說明ガ複數 fathers'ニヨ適スルヤ否ヤ、

第八、man, lady, enemyノ複數ノ持格ヲ示セ、

第九、目的格ナル語ヲ說明セヨ

第十 The hero perished in his primeナル文句ノ heroナル語ノ文法的式樣(即チ人稱)ヲ詳説シ各武樣ノ趣ヲ示メセ、

第三章 代名詞

第一款 定義

第五十三節 代名詞 pronoun (羅甸語ノ pro 及 nomen ナル二語ヨリ轉訛シ來レリ、proハ英語ニ譯スレハ forニシテ代リニト云フ意ヲ有シ、nomenハ name 又ハ nounト譯スベクシテ、名ト云フ義ナリ、)トハ、名ノ代リニ使用セラレタル語ニテ名詞ヲ代表スル者ナリ、之ヲ例スレハ、I say [余ガ云フ]、He remained [彼ハ残りシ]、Who is afraid [誰ガ恐レテアルカ]、That is good [其事ハ善ナリ]ノ如シ、

第一、代名詞ハ單ニ名詞ヲ代表スル語ナリトノ定義ヲナスハ妥當ナラズ、此定義タル唯其

二三ノ場合ニノミ適スレドモ第一人称第二人称ノ人代名詞ニハ適セス、何トナレバI(私ガ)又ハyou(汝)ナル語ハ、決シテ名詞ヲ代表シタル者トハ云フ可カラザレバナリ、
 第二、代名詞ガ名詞ニ類似セル處ハ、第一ニ名詞ノ文法的使用チ有スルト、第二ニ意味ノ模樣ニヨリ、性、數、格ヲ示スベキ文法的形式ヲ有スルトナリ、而シテ其名詞ト相異ナル所ハ代名詞ハ事物ノ名ニ非ラサルノ一点ノミ蓋シ名詞ハ事物ヲ説明シ代名詞ハ說明セズンテ單ニ指示スルト云フニ止マル

第二款 種別及變化

第五十四節 代名詞ヲ三類ニ區分シ、第一ヲ人代名詞 Personal Pronoun ト云ヒ第二ヲ關係代名詞 Relative Pronoun ト云ヒ、第三ヲ疑問代名詞 Interrogative Pronoun ト云フ

第一項 人代名詞

第五十五節 人代名詞トハ文法上ノ人稱ヲ示メスモノナリ、
 人代名詞ハI, you (thou), he, she, it 及ビ此諸語ノ複數 we, you (ye), they ナリ、
 人稱トハ發言者ナルヤ聽者ナルヤ將タ談柄トナルベキ者ナルヤヲ示スノ文法的形式ナリト云フコトハ前章名詞ノ條下第五十一節ニ於テ已デアニ示シマリ

第五十六節 代名詞ノ人稱ニ三個ノ種別アリテ、恰モ名詞三箇ノ人稱ノ區別ト同シ、

人代名詞ガ發言者ナル時ハ第一人称ノ資格ヲ有シ、聽者ナル時ハ第二人称ノ位地ヲ占メ、談柄トナサレタル時ハ第三人稱トナル、

此通帯ノ定義ハ其簡單實スベシト雖モ、尙精細ヲ要スレバ須ラア次ニ掲ゲルガ如クナルハ

- 第一、第一人称ノ人代名詞ハ、一個人ガ自己ノミ(I)ヲ稱スル時カ、或ハ他ノ一人若クハ數人ト自己トナ(we)合稱スル時カニ用フル者ナリ、
- 第二、第二人称ノ人代名詞ハ某人ガ語ラント欲スル他ノ一人若クハ數人ニ向ヒテ呼ブ所ノ稱呼ナリ(you—thou, ye)
- 第三、第三人稱ノ人代名詞ハ人ナリ事ナリ物ナリニシテ、談柄トナリタル時ニ用フル者ナリ(he, she, it, they)

第五十七節 文法的形式 人代名詞ハ人稱ノ外ニ數及格ヲ示シ、第三人稱ノ單數ハ性ヲモ示ス、

第五十八節 變化次ニ掲ゲタルハ人代名詞ノ一覽表ニシテ、種々ノ變化變形ヲ示メス、

人代名詞之變化 (Declension)

人稱	單數			複數		
	主格	持格	目的格	主格	持格	目的格
第一	I 私、ガハチ	my 又、私ノ	me 私、ヲ	We	our 又、ハ	us

第三人稱	男性	Himself	彼自身	Themselves	彼等自身
	女性	Herself	彼女自身		
	中性	Itself	其ノ自身		

第一、時アリテ此ノ如キ複合代名詞ガ他ノ語ト同格ニナリテ文中ニ列スル事アリ是レノ
 只單ニ其語勢ヲ強ムルニ在リテ此場合ニ於テハ各々テ助勢人代名詞 **Emphatic personal**
pronounト云フニナリ例メニ John himself went to They went themselvesノ如シ
 第二、此等ノ語ガ他動詞第九十一節ヲ見ヨノ後ニ使用セラレハ「ロト」其時ニハ之ヲ名
 トヲ反照代名詞 **Reflexive pronoun**ト云フ語柄ヲナラセタル事物ノ作用ガ自己ノ身ニ反映ス
 ルト云フ意ヲ示ス之ヲ例メニ John hurt himselfノ如シ
 第三、第一人稱及第二人稱ノ代名詞ノ何性ヲ宿スルヤチ示サズ何トナレバ一個人ガ自己
 ノ事ヲ言ハ又ハ他人ニ語ルニ當リ其性已ニ明白ニシアルニ當初ヨリ之ヲ示サズ要セザレ
 バナリ而シテ其複數ニ至テハ全ク性ノ區別ヲ示サズ例之ハ we, you, theyノ如シ性ノ人
 稱ヲ並有スルナリ
 第四、Youノ方今第二人稱ノ單複兩數ニ適用ス然レドモ之ヲ受ノルノ動詞ノ何レノ場合
 ニモ複數ノ式接ナルヲ要ス即チ You are イナメクマテ之ヲ You art (art 第二人稱ノ
 單數ヲ受ケルノ字ナレドモ「アナム」ヲ得ズ「Phon」ナル第二人稱ノ昔時使用セシ者ニシテ
 現今ハ全ク之ヲ廢シ宗教上ニ詩學上ニ反ビ「フレンソ」會々徒ノ方語ニノミ使用ス

第二項 關係代名詞

第六十節 關係代名詞ハ前ニ在リシ名詞又ハ代名詞ヲ代表シ、且ツ其名詞又ハ代名詞ニ關
 スルヲ附屬命題ヲ結合セシムル爲メニ用ラレバ代名詞ナリ、其例左ノ如シ、

第一例 No PEOPLE can be great who [have ceased to be virtuous].

此文句ノ who 一ノ關係代名詞ニマテ、前ニ在ル PEOPLE ナル名詞ヲ指表シ、且ツ括
 弧内ノ諸語ヲ此名詞ニ結合セシムル

第二例 How blest is HE who crowns in shades like these

第三例 A youth of labor wish an age of ease.

第四例 I have found the SHEEP which was lost.

第五例 I dare do ALL that may become a man.

第五例

One man admires what displeases another.

代名詞ハ何レモ皆名詞ヲ代表スルカチサメレドモ、關係代名詞ノ特性ハ聯合力ヲ有スルニ在リ、故ニ區之ヲ呼ビテ接續代名詞 Consecutive Pronoun ト云フコトモ、必竟此代名詞タル、其前ニ在ル語ニ一旦反映シ、而シテ其語ニ多少ノ説明ヲ附セシムルノ職任ヲ帯フル者トス、是ヲ以テ之ヲ不稱命題ノ主タラシムルニテ許サズ、

第六十一節 關係代名詞ノ前位 Antecedent トハ關係代名詞ヲ以テ代表セル名詞又ハ代名詞ナリ、

第六十二節 關係代名詞ハ who, which, that, what ナリ、who ハ人ヲ代表シ、which ハ下等動物及ヒ無生ノ事物ヲ代表シ、that ハ人及事物ヲ代表シ、時アツテハ who 又ハ which ノ代リニ用フ、

注 that ヲ使用スルノ規則ハ文辭論ニ屬スルヲ以テ茲ニ贅セス、又々方言ニヨリテ as 及ヒ but ヲ關係代名詞ニ使用スルコトアリ、宜シク後章ノ方言改標ヲ見ル可シ、 who 及ヒ which ノ變化ハ次ノ如クニマテ、單複數共ニ相同カ、

單數及複數

主格 who 其人ノ何々

which 其ノ何々

所有格 whose 其人ノ何々

whose 其ノ何々

目的格 whom 其人ニシテ、何々

which 其ニシテ、何々

that 及ヒ what ノ變化セズ

第六十三節 what (モノ) 夫レノ何々スル處ノモノ(ノ)前位ナクシテ使用スル關係代名詞ニシテ that which ト同意義ナリ、

第六十四章 複合關係代名詞 Compound relative pronoun へ who, which, what ever 及ヒ soever ヲ附シテ作ラマシ得ベシ、之レヲ不定關係代名詞 Indefinite relative pronoun ト稱スルモ可ナリ、

whoever ノ變化次ノ如シ、

主格

Whoever

誰デモ何々スル處ノモノ、

所有格

Whosoever

誰デモ何々スル處ノモノ、

目的格

Whomsoever

誰デモ何々スル處ノモノニシテ、

第三項 疑問代名詞

第六十五節 疑問代名詞ハ疑問ヲ質ストキニ使用スル代名詞ニシテ、who? (誰) which? (何) what? (何) ナリ、who 及ヒ which ノ其關係代名詞タルトシテ同法ニ從ツテ變化ス、

第六十六節 who ノ人ニ適用ス、其例左ノ如シ、

Who told you so? Whose is this book? To whom shall I apply?

第六十七節 which ノ指示スル所ノモノ、已知ノ品類或ハ已知ノ數量ノ中何レニ屬スルヤ

which ノ指示スル所ノモノ、已知ノ品類或ハ已知ノ數量ノ中何レニ屬スルヤ

問フ時ニ人ニモ事物ニモ用ニ、其例次ノ如シ、

Which of you did this?

Which shall I take?

第六十八節 Whatノ事物ニ關シ其用法不定ナリ、其例左ノ如シ、

What shall I say?

What do you want?

練習第五

次ノ文句ヨリ代名詞ヲ抽出シテ之ヲ類別セヨ

第一、 I hope you will give me the book I lent you.

〔書ヲ借リ借ヤシ書物ヲ返却サンモノヲ云フ〕

第二、 Whenever Antonio met Shylock on the Rialto, he used to reproach

him with his usuries and hard dealings; which the Jew would hear with

seeming patience, while he secretly meditated revenge.

〔「アンタニモ」云「アンタニ」ニ於テ猶本人「シヤントロ」ニ違フ毎ニ其高利ヲ貸リ苛酷ナ

行爲ヲ顯シヤシムル「シヤントロ」ノ語ラ之ヲ忍耐メ心中ニ復讐ヲ期セリ〕

第三、 What did the prisoner say?

〔囚人ノ何等ヲ言フミヤ〕

第四、 Tell me what prisoner said.

〔囚人ノ言フミコトヲ余ニ語ラ〕

第五、 Ours are as good as yours.

〔吾等ノハ諸君ノ如クニ良好ナリ〕

第六、 You must blame yourselves for your loss.

〔諸君ノ自己ノ損失ニヨリ自己ニ耻サザルベカラズ〕

第七、 Who would be free, themselves must strike the blow.

〔自由ヲ欲スル人等ノ自ら進ムヲ取ラザルベカラズ〕

第八、 Who would fardels bear, to groan and sweat under a weary life, when he himself

might his quietus make with a bare bodkin?

〔單鎗以テ〕ノノ安靜ヲ買フコトヲ得バ誰カ又々雄雞ナル世路ニ立テ粒々辛苦ノ汗ヲ流シ好ムテ重負ヲ荷ハンヤ〕

第九、 She deserves great praise for her work.

〔彼女ノ其勤勞ノ爲メニ厚賞ヲ得ルヲ當然トス〕

第十、 Behold the moon; she cometh forth in her beauty.

〔見ヨ、月ハ美容ヲ粉裝シテ出現ス〕

第十一、 This is not the book that I sent you for.

〔此等ハ余ヲ畏ニテタタル者ニ非ラズ〕

第十一 And I have loved thee, Ocean! and my soy of youthful sports was on thy breast to be borne, like thy bubbles, onward: from a boy I wantoned with thy breakers— they to me were a delight; and, if the freshing sea made them a terror—'twas a pleasing fear; for I was as it were a child of thee, And trusted to thy billows far and near, and laid my hand upon thy mane—as I do here.

〔此ハ汝ヲ畏ニテ大津ヲモリ吾ガ心壯ニ快樂ハ汝ノ波上ニ遊ビシ兒時ノ頃ニ於テ海濤ニモテリ吾ガノ碎波ト觀ルハ、碎波ハ吾ニ在テノ喜樂ナリ、淡々タル海水ハ躍テ驚瀾トナランカ、向來ト恐懼ト察至ル、蓋シ畏ハ汝ノ兒ノ如シ、遠近ノ波濤等之ニ由リ吾手ハ安シテ汝ノ背ニアリシ〕今汝ニ遊スガ如シ。

代名詞之概覽

甲……………分拆

第一、代名詞之定義

- 其一 代名詞之異性
- 其二 名詞トノ比較

- (イ) 類似ノ点
- (ロ) 差違ノ点

第二、代名詞之種別

- 其一 人代名詞之定義
- 其二 人代名詞之數

- (イ) 第一人稱ノ使用
- (ロ) 第二人稱ノ使用
- (ハ) 第三人稱ノ使用

- 其三 代名詞之文法的式樣
- 其四 變化

- (イ) 第一人稱
- (ロ) 第二人稱
- (ハ) 第三人稱

(三) 二重ノ持格式樣

其五 複合人代名詞

其職任

其六 關係人代名詞之定義

其七 關係前位之定義

其八 主要ナル關係代名詞

(1) who—其使用法

(2) who—其變化

(3) which—其使用法

(4) what—其使用法

(5) 複合關係代名詞

其九 疑問代名詞之定義

(1) who?

(2) which?

(3) what?

乙……………復習、

第一、代名詞ノ定義ヲ示セ、

第二、尋常用フル定義ノ不穩當ナル点ヲ示セ、

第三、第一第二第三人稱ノ人代名詞ノ完全ナル定義ヲ示セ、

第四、mine, thine, ours, yours, theirs ヲ説明セ「I」my & mine トノ差別 their & theirs トノ差別如何、

第五、古ナル語ハ何レノ時代ニ如何ナル語ノ代リニ流行スルコトノナリシヤ、

第六、關係代名詞ノ特別ナル使用方如何、

第七、who ナル關係代名詞ヲ有スル一文句ト which ヲ有スル一文句ト whom ナ有スル一文句トヲ書セ、

第八、疑問代名詞 who ナ有スル一文句ト whom ナ有スル一文句トヲ書セ、

○第四章 形容詞

第一款 定義

第六十九節 形容詞 Adjective (羅甸語ニ Adjectivus ト云ヒ、名詞又ハ代名

詞ニ附加スルヲ得ル者ナリトハ名詞(或ハ代名詞)ニ連結セラレタル語ニシテ其名詞(若クハ代名詞)ノ意義ヲ定限節制スル者ナリ、其例次ノ如シ、

甲、
This book ; five apples ; a white horse ; red roses ; wise men.
乙、
The fields are green. We call the proud happy.

第一、凡テ形容詞ハ皆ナ其連結スル名詞ノ適用ヲ定限ス、而シテ某ノ形容詞(即ハ定限形容詞)ノ場合ニ在テハ名詞使用ノ範圍ヲ制限スルノミノ職ヲ有ス、例スルニ、*this book* ト云ハハ *a book* ニモ非ズ、*your book* ニモアラス、*a book* ハ何レノ書ナリトモ只一冊ト云フコトニシテ、*your book* ハ君ノ書ト云フコトナリ、然ルニ *this book* ハ此ノ書ト云フコトナリ、又々 *five apples* ト云ハハ五個ノミヲ指シ、四個三個六個七個等チ一切示サズトス、然レドモ節制形容詞ハ二様ノ職ヲ有ス、即ハチ連結スル所ノ名詞ノ使用ヲ狭クスルト雖モ、同時ニ又々其意義ヲ増加ス、例スルニ、*a white horse* ナル言語ニ於テ白キナル形容詞ハ馬ト云フ意義ニ白キト云フ屬性ヲ加ヘタルナリ、故ニ白馬ナル字ハ一ノ複雑ナル思想ヲナス、然ルニ又々此ノ白キナル形容詞ハ馬ナル語ノ意ヲ狹隘ニシ、種々ノ馬ノ中ノ只一種ノミヲ指シ、黒馬驪馬等チ指サズシテ獨リ白馬ノミヲ示ス、故ニ白馬ナル語ハ一般ニ指シタル馬ヨリモ更ニ小數ノ品類ヲ示スナリ、

第二、形容詞ハ強チニ名詞ニ直接スルノミニアラズ、亦タ働詞ノ作用ヲ借りテ事物ノ屬性(形容詞ニ名ヲ受ケタル)ヲ定ムルコトアリ、之ヲ例スルニ、*The fields are green* (此種ノ文句ハ「其田野ハ綠色ノ田野ナリ」ト云テ略シテ「田野ハ綠色ナリ」ト云ヒタル者ト思フヘシ)及ビ *We call the proud happy* 等ノ如シ、

第二款 種別

第七十節 形容詞ヲ分テテ二階トナスコトヲ得ベシ、一ニ曰ク定限形容詞 *Limiting adjective* (或ハ *Definitive adjective*)、二ニ曰ク節制形容詞 *Qualifying adjective* (或ハ *Descriptive adjective*)、

第一項 定限形容詞

第七十一節 定限形容詞トハ單ニ名詞ノ意味ヲ定限禁束スル者ナリ、其例次ノ如シ
a book ; this school ; some benches ; three black crows.

第七十二節 定限形容詞ヲ更ニ小別シテ三級トシ、一ヲ冠辭 *Article* ト云ヒ、二ヲ代名詞狀形容詞 *Pronominal adjective* ト云ヒ、三ヲ數量形容詞 *Numeral adjective* ト云フ

冠辭ヲ論ズ、第一、

第七十三節 *The, an* 又ハハナル定限形容詞ヲ冠辭ト名ツケ、其言ヲ定

冠辭 Definite article ト云フ、an 又ハ a ナ不定冠辭 Indefinite article ト云フ、

第一、The (第一)一個又ハ一個以上ノ特種ノ事物ヲ指示シ、(第二)或ハ事物ノ品類ヲ指示スルニ用フ、例之ヘキ The dog bit the boys ノ如キ文句、The dog 及ヒ the boys ノ二名詞ハ此レヨリ前ニ示サレタルイアリテ今又々更ニ之ヲ示シタルナリ、又々 The dog is a faithful animal ナル文句ニ於テハ犬ナル動物ノ品類ヲ示セルナリ、
第二、an 又ハ a ハ名詞ニヨリ名ヲ受ケタル品複(事物ヲ中ニ含ム)中ノ只一ヲ示スニ用フ、例スレバ、A dog bit me 又ハ I saw an old man ノ如キ是レニシテ、犬又ハ老人ニモ種々アレドモ、其内ノ只一ナルコトヲ示セルナリ、

第七十四節 an 又ハ a (本ト一語ニシテ單ニ様形ヲ異ニセルノミ)ハ共ニ不定冠辭ト稱ス、

注 an ノロハ原語ノ一部分ナリ、原語ハ即ハチ「アングロ、サクソン」語ノ one 又ハ an ニシテ、one 即チ一ノ意義ヲ有ス、故ニ普通ノ規則ニ從ヘバ、母韻或ハ點韻ト前ニ e オヲ用フレドモ a ガ變ジテ e オトナリタリト思フベカラズシテ、e オガ變ジテ子韻ノ前ニテハ a トナリタルト思フベシ、

A ハ子韻ノ響ヲ頭ニ有スル語ノ前ニ使用ス、即ハチ a man, a house, a wonder, a year, a use a nut, a European ノ如シ、
An ハ母韻ノ響ヲ頭ニ有スル語ノ前ニ使用ス、即ハチ an art, an end, an heir, an hour, an urn

ノ如シ、
吹音 h ノ響ヲ頭ニ冠スル語ノ前ニ a 又ハ an ヲ使用スルニ慣例ノ差異アリ、就中微弱ニ響ク h ヲ頭ニ冠シ第二綴字ニ強音ヲ有スル語ノ場合ニ在テハ然ルナリ、之ヲ例スルニ、his story 又ハ heroic ハ a ヲ附スルト雖ドモ、historical work 又ハ heroic deed トアル時ニ多クノ人ハ an ヲ附スルナリ、蓋シ斯ノ如キ使用法ハ學者流ノ慣例ニシテ必シモ國民一般ノ慣例トナルトモ言ハレザルナリ、

代名詞狀形容詞ヲ論ズ、第二、
第七十五節 某ノ定限形容詞ハ時トシテ名詞ヲ代表スルコトアリ、其

場合ニ在テハ之ヲ代名詞狀形容詞ト稱ス、
代名詞狀形容詞ハ時トシテ形容詞及名詞ノ兩職ヲ務ムルコトアリ、之ヲ例スルニ、
his book? "No, it is mine." ノ如キ是レニシテ mine ハ my book ト云フコトヲ代表セルナリ、又々 We heard the minister's speech, but not that of the doctor ニ於テ that ハ the speech ヲ代表セルナリ、

第七十六節 代名詞狀形容詞ノ主要ナル者ヲ次ノ表ニ掲グ、

all	each	much	some
another	either	neither	such
any	few	own	that

both

many

several

this

次ノ文句ハ定限形容詞及ビ代名詞狀形容詞トシテ此等ノ語ヲ用ニルノ法ヲ解説スル者ナリ

定 限 形 容 詞	代 名 詞 狀 形 容 詞
<i>All the world's a stage.</i> 全世界ハ一個ノ戲臺ナリ、	<i>All assented to the plan.</i> 人皆其計畫ニ一致セリ、
<i>There is another and a better world.</i> 此レヨリ一層善良ナル他世界ノ在ルアリ、	<i>Never either found another to free the hollow heart from paining.</i> 苦痛ヲ去テ懼心ヲ除クニ他法ナシ、
<i>Is there any danger?</i> 其處ニ何ニカノ危險アリヤ、	<i>If any, speak.</i> 若シ無クレバ止ムヲ得ザルモ何ナリトモ有ルナレバ之ヲ語タレ、

<i>Both courses are dangerous.</i> 何レチ行フモ皆危險ナリ、	<i>Both are dangerous.</i> 何ツレモ皆危險ナリ、
<i>Each ivied arch is in decay.</i> 各ノ蔓ヲ生シタル彎形建築物ハ零落セリ、 (注) each ナル語ハ古代英語ノ <i>a</i> (ever ナリ) 及 <i>lic</i> (like) ヨリ來レリ、	<i>Each seemed the centre of his own fair world.</i> 各人ハ各自己全世界ノ中心ナルガ如シ、
<i>Either plan promises well.</i> 何レノ計畫チナスモ善トス、	<i>I will take either.</i> 余ハ何レカチ取ルナラン、
<i>Few men can bear prosperity.</i> 少シノ人コソ繁榮ヲ受クルナリ、	<i>Few, few shall part where many meet.</i> 多クガ出會スル處ニ僅カク別カル、
<i>We have passed many happy days.</i> 吾人ハ多日ヲ幸ニ經過セリ、	<i>Few, few shall part where many meet.</i> 全 上 ノ 譯

<p>I have <i>much</i> pleasure in serving you. 君ノ爲ニカヲ盡スハ余ニ於テ喜ブ所、 <i>Neither</i> plan promises well. 何レノ計畫ヲスルモ善カラソ、 ——○○—— <i>Neither</i> ナル語ハeitherナル語ニne(notノ義)ヲ冠セシメタルモノナリ、 This is my <i>own</i>, my native land. 是レ余ノ國ニシテ亦タ余ノ生國ナリ、 <i>Several</i> boys ran away. 數童ハ走リ去レリ、 <i>Some</i> pious drops the closing eye requires. 閉ジタル目ハ某ノ眞實ナル滴ヲ要ス、</p>	<p>Though <i>much</i> is taken, <i>much</i> remains. 多クヲ除キタリト雖モ尚ホ多クヲ餘ス、 I will take either, but you shall have <i>either</i>. 余ハ何レヲモ取ラソナレドモ君ハ何レヲモ取ラザルベクソ、 It is a trifle, but my <i>own</i>. 此レ細小ナリト雖ドモ吾自身ノナリ、 <i>Several</i> were missing. 種々ガ失跡セリ、 <i>Some</i> fell by the wayside. 某ガ道傍ニ倒レタリ、</p>
---	--

<p><i>Such</i> harmony is in immortal souls. 斯ノ如キ和順ハ不死ノ靈魂ニアリ、 Look on <i>this</i> picture. 此畫ヲ觀ヨ、 Look on <i>that</i> picture. 其畫ヲ見ヨ、</p>	<p>If you are a man, show yourself <i>such</i>. 汝若シ人ナレバ自カヲラスノ如キ者ナラズベシ、 Look on <i>this</i>. 此レヲ見ヨ、 Look on <i>that</i>. 其レヲ見ヨ、</p>
---	--

定限形容詞及代名詞狀形容詞ノ注
 第一、指示形容詞 次ニ擧グル代名詞狀形容詞ハ屢指示形容詞(若シハ代名詞) Demonstrative adjective + 名詞
 第二、不定形容詞 次ニ擧グル者ヲ屢不定形容詞(若シハ代名詞) Indefinite adjective
 第三、配分形容詞 次ニ掲グル者ヲ屢配分形容詞(若シハ代名詞) Distributive adjective

ト名ツン、
each, either, neither.

第四、**疑問代名詞及關係代名詞** 疑問代名詞及關係代名詞 which 及 what 及此二ヶノ
複合ナル者 whichever 及 whatever ハ名詞ト連接シテ用ヰラレタルトキニハ**定限形容詞**
トナル、

疑問代名詞

Which book will you have?
何ノ

What noise is this?

Which book will you have?
何ノ

I see which book you wish.
何ナルカチ 若チ

關係代名詞

I know what pains you take.
何ナルカチ 若チ

第五、**單ニ定限ノミトナル者** **不定形容詞** no (no ハ none ノ he チ削リ去ツテ作りタ
ル字ニシテ、恰モ mine ノ he チ削リ去ツテ my チ作りタルガ如シ、)ト**指示形容詞** yonder
ト**配分形容詞** every (此字ハ本ト ever each 即ハチ each and all チ省略シタルナリ)ハ只

マ**定限形容詞**トシテ使用サルノノミ、
不定形容詞 none (古代英語ノ no an 即ハチ not one ヨリ作りタルナリ、)ハ只マ**代名詞**
状トナルノミ、其例左ノ如シ、
誰モカ
None knew thee but to love thee.

第七、**變化式様** **代名詞** 狀形容詞中ノ二三ハ語尾變化ヲ要スル程マゾニ名詞ノ職任ヲ
得タリ、即ハチ either 及 another チ持格トナシ either's 及 another's トスル是レナリ、
其例次ノ如シ、

第一、 Then either's love was either's life.

第二、 Learn to feel another's woe.

other ハ複數 others トナレテ得、又マ正シク三格チ有ス、其主格ハ others 持格ハ othe-
r's ニシテ其目的格ハ others ナリ、

數量形容詞ヲ論ズ、第三、

第七十七節 **數量形容詞**ハ**定數**ヲ顯ハス者ナリ、one, two, three, first, second
等ノ如シ

第七十八節 **數量形容詞**チ二種ニ分カツ、其第一チ**計數** Cardinal ト云ヒ、
幾何ノ數ナルヤチ示ス、two bats 又ハ three balls ノ如シ、
計數ノ中一ヨリ九十九点ハ形容詞ナリ、然レドモ百 hundred 千 thousand 百万 million チ

ル語ハ(對及ダズノ如ク)名詞ニシテ、其前ニ不定冠詞ヲ置クコトヲ得ヘシ、例之ハハ
hundred sheep(ヤンツロ、ヤンツン)語ニ在テ此等ノ語ハ持格名詞ト伴ヒタリ、即ハハa hun-
dred sheep—a hundred of sheepノ如シ)ノ如シ、或ハ又複數ノ式様ヲ有セシメテ hundreds
of sheepトナスヲ得、

第二ニ順數。Ordinalト云ヒ、事物ガ如何ナル順序ヲ以テ連續數中ニ排列サレタルヤヲ示メス、
例スルニ、the first prize; the third day; the hundredth nightノ如シ、

第一、順數ノ中最初ノ二ヲ除ク外ハ皆計數 cardinal numerals ヨリ之レヲ作シリタ
ル者ナリ、例スレバ、fourth, fifth, sixth, thousandth 等ノ如シ、然ルニ first 及 secondノ
二ハ one 及 two ナル文字ヨリ變化セラレズシテ、firstハ fore(前方ノ)ノ最大級 foremost
ニテ、secondハ羅旬語ノ secundus(次)ト云フ義ヨリ來リシナリ、
第二、倍數 multiplica tives ナル語ヲ時トシテハ反復ヲ示ス數ニ適用ス例セバ、twice 又
ハ twofold, thrice 又ハ threefold, fifty-fold, doubleノ如シ、

第二項 節制形容詞

第七十九節 節制平叙形容詞トハ名詞ニヨリ名ヲ受ケタルモノノ性
質又ハ屬性ヲ示ス者ナリ、其例左ノ如シ、

A lofty mountain. A running stream.
第一、形容詞ハ概テ此節制形容詞ニ屬ス、何トナレバ、吾人が感觸若クハ思想ノ法ヲ

以テ認知シタル万種ノ品位、屬性、固有性ヲ顯ハス所ノ語ノ幾百千ハ皆此節制形容詞中ニ
包含セラレタレバナリ、

第二、節制形容詞ヲ更ニ小分スルハ文法上ニ於テ何ノ功益モアラズ、然レドモ次ニ掲グ
ル語ハ時アツテ某ノ節制形容詞ニ適用セラル、者ナレバ、其説明ヲ茲ニ示スハ蓋シ無益
ニアラザルベシ、

其一、固有形容詞 proper adjective 是レ固有名詞ヨリ誘化サレタル者ニシテ、an American
idea 及 Plutonic loveノ如シ、而シテ其本性タルヤ全ク節制形容詞ニシテ、首字ヲ大字ニテ

書スルノ外ハ別ニ特異ノ性質ヲ有セズ、
其二、分詞狀形容詞 Participial adjective 是レ恰モ形容詞ノ如クニ使用セラレタル分詞ニ
シテ、a loving friend 又ハ an educated manノ如シ、

斯ノ如キ語ニ分詞狀形容詞ナル特名ヲ與フルハ必要ナラザルコトナリ、何トナレバ此等
ノ語ハ本ト分詞ナリシカドモ、今ハ已ニ分詞ノ資格ヲ去リ、節制形容詞トシテ解剖ス
ルモ可ナリ、

其三、複合形容詞 Compound adjective トハ中間ニ接續符(一)(hyphen)ヲ有スル二個ノ
單語ヨリ成レリ、a white-robed maiden 又ハ the straw-built shedノ如キ是レナリ、而シテ
解剖ニ於テハ此形容詞ガ根語ナルヤ誘化語ナルヤヲ示セバ十分ニシテ、故ラニ複合形容
詞ナリト云フヲ要セザルナリ、

第三款 形容詞之文法的式樣

第八十節 形容詞ハ只一個ノ文法的式樣ヲ有ス。比較 Comparison 是レナ

諸他ノ國語ニ在テハ性、數及格ヲ示スタメニ形容詞ノ語尾ヲ變ジテ以テ名詞ト符合スベカラシメタリ、之ヲ例スルニ、拉丁語ノ形容詞 bonus [善]ハ其語尾ノ變化セラレタル者ヲ合算シテ十二個ノ相異リタル式樣アリ、太古ノ英語ニ在テモ亦タ斯ノ如キ語尾變化甚ダ多カリシナリ、例スルニ、前ニ定冠辭ヲ有スル good ナル形容詞ノ如キ、之ヲ主格ノ男性名詞ニ附スルトキハ goda トナリ、女性名詞ナル時ハ gode トナリ、中性ニテハ gode トナリ、主格ノ複數ニ在テハ godan トナリタリ、然レドモ此ノ如キ變化ハ數百年前已ニ消滅シ、我が國語ニ用ヒザルトハナレリ、

蓋シ「ノルマン」語ノ形容詞變化法ト「サクソン」語ノ形容詞變化法ト互ニ拒反シテ水火相容レザルノ不便ヨリシテ、遂ニ止ムヲ得ズ兩法ヲ用ヒザルコト、ナレリ、然レドモ「サクソン」語ノ語尾變化ハ第十五世紀マテ續ヒテ止マザリケリ

第八十一節 比較トハ量又ハ質ノ高下ヲ表スルノ形容詞變化法ナリ、(副詞ニモ亦タ之レアリ)

第八十二節 比較ニ三級アリテ、一ヲ現級 Positive degree ト云ヒ、二ヲ比較級 Comparative degree ト云ヒ、三ヲ最大級 Superlative degree ト云フ、

第八十三節 現級ノ形容詞ハ變化ナキ形容詞ニシテ、他物ト比較セザル量又ハ質ヲ示ス者ナリ long 又ハ righteous ノ如シ、

第八十四節 形容詞ノ比較級トハ形容詞ノ一變化ニシテ、其方便ヲ借り、一事物又ハ數事物ノ集合ガ他ノ事物又ハ他事物ノ集合ヨリ更ニ高大ノ量又ハ質ヲ有スルヲ示ス者ナリ、次例ノ如シ、

- 第一、 My knife is sharper than yours. 是レ一物ヲ他物ト比較シタルナリ、
ヨリ鋭ク
- 第二、 This soldier is taller than those. 是レ一物ヲ他物ノ集合ト比較シタルナリ、
ヨリ大長ク
- 第三、 Your parents are richer than mine. 是レ物ノ一組ヲ他ノ一組ト比較シタルナリ、
ヨリ富ム

第八十五節 形容詞ノ最大級トハ形容詞ノ變化ニシテ、其方便ヲ借り某事物或ハ集合ノ事物ガ所屬ノ品類中ニ在ル諸他ノ事物ヨリハ一層高大ノ性又ハ屬性ヲ有スルヲ示スナリ、例スレバ、the tallest soldier 又ハ the minnest grain ノ如シ、
最モ高キ 最モ小キ

第八十六節 構造法第一 一綴音ヨリ成ル形容詞ハ現級ノ語尾ニエテ

加ヘテ比較級トナシ、est ナ加ヘテ最大級トナスヲ通則トス、次ノ如シ、

現級	bold	wise	bolder	wisest	最大級
比較級	bolder	wiser	boldest	wisest	最大級

構造法第二。一綴音以上ヨリ成ル形容詞ハ其現級ニ more ナル形容詞ヲ連結シテ比較級トナシ、most ナル形容詞ヲ連結シテ最大級トナスヲ通則トス、次例ノ如シ、

現級	faithful	dangerous	more faithful	most faithful	最大級
比較級	more faithful	more dangerous	most faithful	most dangerous	最大級

第一、是レ一般ノ概則ナレドモ、屢此規則ニ外ヅル者アリ、即チ J, e, o, w, er ナル語尾ヲ有スルニ綴音ノ形容詞ハ er ナ附加シテ比較級トナリ、est ナ附加シテ最大級トナル、其例次ノ如シ、

現級	happy	able	shallow	tender	prudenter	earnestest
比較級	happier	abler	shallower	tenderer	prudenter	earnestest
最大級	happiest	ablest	shallowest	tenderest	prudentest	earnestest

去リトテ又々 prudenter 又ハ earnestest 等ノ如キハ、聲調違リテ宜シカラズ、故ニ此ノ如

キ場合ニ在テハ聲調ノ良否ヲ考ヘザル可カラズ、

第二、又々短キ形容詞ト雖ドモ聲調ノ模様ニヨリテハ more 及び most ノ便ヲ借テ比較級及び最大級ヲ作シルヲ得、例之ハ、"Alfred is the most apt of all the pupils" 又ハ "Give us more ample ground" ノ如シ、

第八十七節 不規則比較 Irregular comparison トハ正規ノ法ニ異ナレル法ヲ以テ比較級ヲ作クル者ナリ、次ニ掲グル者ハ不規則比較ナリ、

現級	good	well	bad	evil	ill	little	many	much	far	[forth]	比較級	best	better	worse	less	more	farther	farther	farther	最大級	best	better	worst	least	most	farthest	farthest	furthest
----	------	------	-----	------	-----	--------	------	------	-----	---------	-----	------	--------	-------	------	------	---------	---------	---------	-----	------	--------	-------	-------	------	----------	----------	----------

near	nearer	nearest	next
high	higher	highest	next
late	later	latest	last
old	older	oldest	eldest
hind , up	hinder upper	hindmost upmost	
out	utter	utmost, uttermost,	outmost.

○不規則形容詞ノ注

Good. Better 及 best [bet-est]ノ現今不用ニ屬セル「アングロ、サクション」語 betノ比較級及最大級ナリ、betハ goodト同意義ヲ有シタリ、Bad. Worse 及 worstノ現今不用ノ「アングロ、サクション」語 feorノ比較級及最大級ナリ、weorハ badト同一ノ意義ヲ有セリ、

注意、規則比較級 badderハ英倫ノ古語ニ之レ有リタリ、

Old. 此字ノ規則比較及最大級ハ newト對比スベキ時ニ使用ス、即チ新舊ト相對比スル時ナリ、又々其不規則比較級及最大級ハ youngト相對比スル時ニ使用ス、即チ長幼ト相對比スル時ナリ、例スレバ、The older house belongs to the elder brotherノ

如シ、然ルニ又々 older 及 oldestノ屢活物ニ適用スレドモ、elder 及 eldestハ決シテ無生物ニ適用セズ、

注意、elderナル字ハ今ハ敢テ他ノ者ヨリ更ニ長年ナリト云フ程ノ強キ比較ノ意ヲ示サズ、故ニ thanノ字ヲ次ニ有スルコトナシ、

Late. 此字ノ規則比較級 laterハ earlierニ對比シ、規則最大級 latestハ earliestニ對比ス、其不規則比較級 latterハ formerニ對比シ、不規則最大級 lastハ firstニ對比ス、lastナル字ハ latestノ短カクナリタル者ナリ、

Farther 及 further. Fartherハ farヨリ來リタル語ニシテ、ヨリ隔リタルノ意義ヲ有シ、nearerト相對ス、例スレバ、I prefer the further houseノ如シ、furtherハ forthヨリ來リタル語ニシテヨリ前方ナル意義ヲ有ス、之ヲ例スレバ、I shall mention a further reasonノ如シ、

Inner 及 innermostノ現級ヲ有セズ、down 及 downmostト top 及 topmostトハ比較級ヲ有セズ、nether 及 nethermostハ neathノ比較級及最大級ナリ、

注意 此等ノ最大級ノ mostナル附尾字ハ副詞ノ mostニ非ズシテ、「アングロ、サクション」語ノ二個ノ語尾 ma 及 ost(共ニ estニ同シ)ト混合セル所ノ重複ノ語尾ナリ、故ニ foremostナル字ハ foreト maト ostノ二ガ合シタルナリ、

第八十八節 不可比 Incomparable. 完全ノ意義又ハ最高ノ意義ヲ有スル

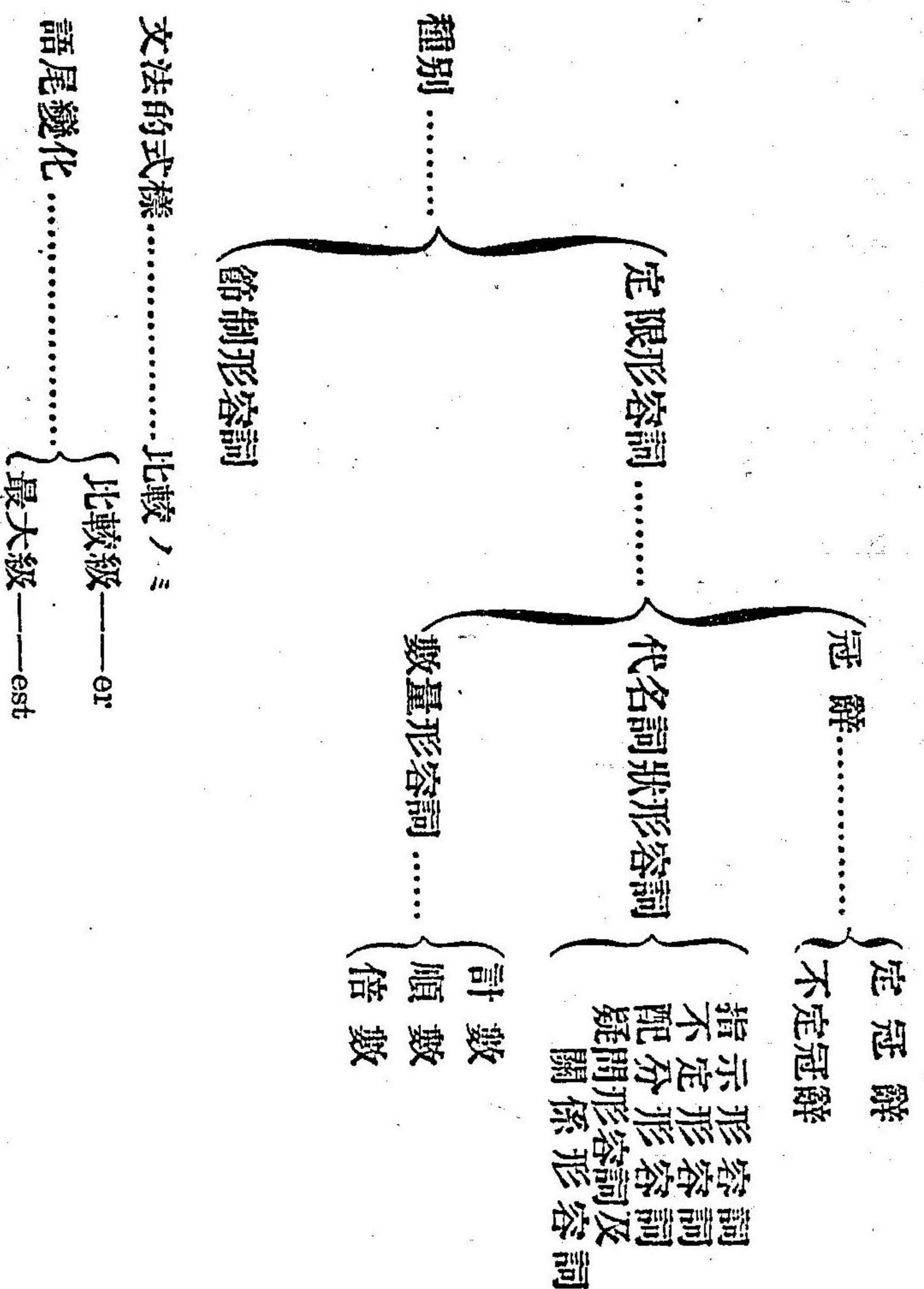
形容詞ハ、精細ニ論ズレバ比較級ナ有スベカラズ、其例次ノ如シ、

Dead, perpendicular, empty, round 等ハ不定ノ意義ナ有セザル形容詞ナリ、(完全ノ意義)
 Perfect, infinite, supreme, universal 等ハ最高級ノ意義ナ有スル形容詞ナリ、(最高ノ意義)
 第一、俗談ニ在テハ此等諸種ノ形容詞ニ比較級ナ有セシメ、大家ノ文章ニ於テモ間之
 アルヲ見ル、蓋シ是等形容詞ハ精細ナル意義ヲ以テ使用スルニアラザルガ故ニ、學理上斯
 クノ如キ比較ハ許スニキモ、決メテ之ヲ避クニキ法ナキニアラザルナリ、之ヲ例スルニ
 more perfect 又ハ more perpendicular ト云フニモ、
 nearly perfect 又ハ nearly perpendicular ト云フニモ得シム。

第二、Anterior, superior, inferior, senior, junior, prior, posterior 等ノ形容詞ハ他物ト比
 較スニキ思念ヲ起サシム(以上ノ形容詞ハ拉丁語ノ比較ナリ)、然レドモ決メテ比較ノ式様
 ナ有セシムルヲ許サズ、故ニ若シ比較ヲ要スル時ニハ、此等ノ語ノ次ニ than ナ置カズミ
 テトナ置ンヌ、例之ハ、
 This event was anterior to the Revolution. 又ハ Your ability is superior to mine. ノ如シ、

形容詞之概覽

甲……………表



乙.....分析

第一、定義

其一 總于形容詞之職任
其二 節制形容詞之職任

其二、種別

其一 類別之數
其二 類別之名

其三、定

其一 形定
其二 容定
其三 義小別

冠辭

代名詞狀形容詞
數量形容詞

其三

冠辭

(イ) 定義

(ロ) The——名及用法

(ハ) Am又ハa——名及用法

(ニ) 其使用法之規則

其四 代名詞狀形容詞

(イ) 定義

(一) 指示形容詞——例

(二) 不定形容詞——例

(三) 配分形容詞——例

(四) 疑問形容詞及關係形容詞——例

疑關係形容詞——例

其五 數量形容詞

(イ) 定義

(ロ) 細別

(一) 計數

(二) 順數

(三) 倍數

第四、節制形容詞

定義

第五、文法的式樣

其 一	比較——定義	其 一	比較——定義
其 二	比較之數	其 二	比較之數
(ア)	現級——定級	(ア)	現級——定級
(イ)	比較級——定級	(イ)	比較級——定級
(ウ)	最大級——定級	(ウ)	最大級——定級
其 三	構造法之規則	其 三	構造法之規則
(イ)	綴音之語	(イ)	綴音之語
(ロ)	綴綴音之語	(ロ)	綴綴音之語
其 四	不可比之形容詞	其 四	不可比之形容詞

丙……………復習)

- 第一、形容詞ナル語ノ起源ヲ問フ、
- 第二、形容詞ガ名詞ノ意義ヲ定限シ同時ニ之ヲ擴張スルノ摸樣如何ヲ説明セヨ、
- 第三、二個ノ定限形容詞ヲ含ム文句ヲ書ケ、三個ノ節制形容詞ヲ含ム文句ヲ書ケ、
- 第四、a historical work ト an historical work ト何レヲ可トスルヤ、及其理由ヲ言ヘ、
- 第五、二個或ハ二個以上ノ固有形容詞ヲ有スル文句ヲ書ケ、

- 第六、現、比較、最大ナル語ノ意義ヲ説明セヨ、
- 第七、比較三級ノ各級ヲ含ム文句ヲ書ケ、
- 第八、次ノ詩ヲ寫シ、形容詞ノ下ニ一線ヲ描シ、其形容詞ニ定限表明サル、名詞ノ下ニ二線ヲ描セヨ、

The house-dog, on his paws outspread, Laid to the fire his drowsy head; The cat's dark silhouette on the wall, A couchant tiger's seemed to fall; And, for the winter fireside meet, Between the andiron's straddling feet, The mug of cider simmered slow, The apples sputtered in a row; And close at hand the basket stood, With nuts from brown October's wood.

○第五章 動詞

第一款 定義

第八十九節 動詞 Verb トハ動作ノ摸樣或ハ存在ノ摸樣ヲ講説スルノ語ナリ、「講説即ハナ Predicate ナル字ハ羅旬語ノ predicare (—to tell, assert, declare, or make known) ヨリ來ヘリ」其例次ノ如シ、

- 第一、 Full well they laughed with counterfeited glee
At all his jokes, for many a joke had he.
- 第二、 All are but parts of one harmonious whole.

第一、講說 Predication (詳言スレバ、確説 assertion 又ハ表説 statement)ハ某人或ハ某事物ヨリ生出シ、其人又ハ物事ニ名ヲ附スル語ヲ動詞ノ主 Subject ト云フ、

第二、動詞ヲ判別シ得ルハ、人稱、數、時及ビ講說方式ノ變化ヲ示スベキ文法的式様ヲ有スレハナリ、

第二款 動詞之種別

第九十節 動詞ヲ二區ニ分カテ、第一ヲ他動詞ト云ヒ、第二ヲ自動詞ト云フ

第九十一節 他動詞 Transitive verb. トハ某事物ノ上ニ向着スル動作ヲ示ス者ナリ、次例ノ如シ、

第一、 Richard struck the ball.

茲ニ struck (打キシ)ナル動作ハ、ball (球)ナル物体ニ向着シタルナリ、

第二、 Milton wrote Paradise Lost.

茲ニ wrote (書キシ)ナル動作ハ、Paradise Lost (詩篇ノ名)ナル事物ニ向着シタルナリ、

第九十二節 補足 Complement. 他動詞ハ一己ニテ完成ノ講說ヲ爲ス能ハズ、必ず補足語ヲ借ル、又自動詞ノ中ニモ補足語ヲ要スル者アリ、然レドモ他動詞ニ要スル補足ト類ヲ異ニス、(第九十四節ヲ見ヨ)

動詞ノ補足トハ講說ヲ完成ナラシムベキ語ナリ、他動詞ノ補足ヲ動詞ノ目的 Object ト云フ、例ヘバ前例ノ ball 及ビ paradise Lost ノ如シ、(第九十一節ヲ見ヨ)

第一、 他動詞ノ目的ハ常ニ目的格ノ名詞若シハ其資格ヲ有スル者ナリ、

第二、 他動詞ハ皆不成功動詞即チ不成功講說ヲナス動詞ナリ、例之ヘハ Solomon built ナル句ハ完成ナル講說ヲ爲セリト謂フ可カラズシテ、若シ斯ノ如キ句ヲ言フ時ハ、吾人ハ必ず「ソロモン」ガ何物ヲ立テタルヤト問ハザルヲ得ズ、故ニ此場合ニ在テ完成ナル講說ヲ

爲サント欲セシ Solomon built the temple ト言ハザル可カラズ、茲ニ built ナル他動詞ノ補

足ハ Temple ナル物体ニシテ、目的格ノ名詞ナリ、

第九十三節 自動詞 Intransitive verb. ハ第一ニ事狀ヲ示シ、第二ニ事物上ニ向着セザル動作ヲ示ス者ナリ、例之ヘバ次ノ如シ、

第一、 Children sleep.

茲ニ sleep ハ事狀ヲ示セリ、

第二、 The sea-bird rises as the billows rise.

茲ニ rises 及 rises ナル語ハ某事物ノ上ニ向着セザレドモ只マ動作物ニ感觸スル作用ヲ示ス、

第九十四節 補足。自働詞ハ概ムチ一已ニテ完成ノ講説ヲ爲ス、然レドモ又タ不完成講説ヲ作ルモノアリ、be, become, seem, look, appear, smell, feel 及諸他類似ノ者は是レニシテ、講説名詞又ハ講説形容詞ヲ補足スルヲ要ス、次例ノ如シ、

第一、 Mary is beautiful.

beautiful ハ is ナル働詞ノ形容詞補足ナリ、

第二、 Elizabeth was Queen.

queen ハ was ノ名詞補足ナリ、

第三、 A boy becomes a man.

man ハ becomes ノ名詞補足ナリ、

第四、 Cheerful he seemed, and gentleness he loved.

cheerful ハ seemed ノ形容詞補足ナリ、

第五、 Macbeth looked pale.

pale ハ looked ノ形容詞補足ナリ、

第六、 Henry VIII. appeared every inch a King.

king ハ appeared ノ名詞補足ナリ、

第七、 The rose smells sweet.

sweet ハ smells ノ形容詞補足ナリ、此句ハ「The rose is sweet to the smell ト云フニ同シ、

注、此種ノ働詞ヲ或ハ中性働詞 neuter verb ト云ヒ、或ハ連接働詞 copula verb ト云ヒ或ハ同格働詞 apposition verb ト云フ、然レドモ故サラニ此等ノ名稱ヲ附スルニモ及ハズ、蓋シ此等ハ不完成講説ノ自働詞タルノミナレハナリ、」

第九十五節 兩様使用。動作ヲ表スル働詞ニシテ自働詞トモナリ又タ他働詞トモナルコトヲ得ル者甚ダ多シ、然レドモ其意義ハ固ヨリ互ニ相同カラズ、例ヘバ左ノ如シ、

第一、 The baby speaks already. 自働詞、

第二、 The man speaks several languages. 他働詞、

第三、 The ship sinks. 自働詞、

第四、 The pirate sinks the ship. 他働詞、

第一、 第一例中自働詞ヲ以テ示サレタル動作 speaks ハ不定ニシテ漠然タレドモ、他働詞ニ使用シタル動作 speaks ハ其ノ區域狭シシテ、只マ several languages ノミニ限レリ、
第二、 第二例中ノ他働詞ハ自働詞ニ使用シタル動作ヲ行ヒ爲サシムルノ意ヲ含メリ、即ハチ船ヲ沈ムルト云フ意ヲ含ム、某ノ文法家が起因働詞 Causative ト名ケタル者即チ是レナリ、

第九十六節 助動詞 Auxiliary verb トハ他ノ動詞ヲ助クル爲メ之レニ配
合スル者ナリ shall, may, should ノ如シ、

注 配合ノ定義ハ第四百十節ヲ見ル可シ、助動詞ハ自他兩動詞ノ範圍ニ外レタル式様ヲ
作ル能ハズシテ、自己ニ自動詞トナリ、或ハ他動詞トナル者ナリ、

○動詞種別之注

第一、複合動詞 Compound. 自動詞ノ次ニ一定ノ前置詞ヲ置キ他動詞トナリ從テ又々
目的ヲ要スル者數多アリ、次例ノ如シ、

The baby laughs.

We laughed at the clown.

斯ノ如キ場合ニ在テ、次ニ加ヘタル前置詞ハ動詞ニ密着シテ新意義ヲ作クリ、複合動詞ナ
ル者トナル、然レドモ茲ニ注意スベキハ斯ノ如キ複合動詞(他動詞トナル者)ト通常ノ熟
語ヲ次位ニ有スル自動詞トナ混同スルベカラザルコト是レニシテ、The bird sang on the
bough. ナル文句ノ sang on ナ一個ノ複合動詞ト思フ可カラズ、故ニ複合動詞ヲ判知スルニ
ハ、動詞ノ目的ト其主トノ位地ヲ變換シ、其動詞ガ受動詞(後ニ説ク可シ)ト爲リ得ルヤ否
ヤヲ試ミ、若シ受動詞トナランニハ、原文ハ複合動詞ナルコト知ル可シ、之ヲ例スルニ、
Robbers fell-upon him ノ主客ヲ轉換シ、He was fallen-upon by robbers. トナスコトヲ得テ、
而カモ其結果同一ナリ、故ニ原文ノ fell-upon ハ一ノ複合動詞ナリ、

第二、反照動詞 Reflexive verb. 他動詞ガ myself, himself 等ノ反照代名詞ヲ次ニ有ス
ル時ハ之ヲ反照動詞ト云フ、動作物ヨリ出テタル動作ガ再ビ其者ニ復歸スルノ義ナリ、
蓋シ他動詞ノ場合ニ於テ、代名詞ヲ重用スルノ習慣ハ、方今殆ンド止ミタルヲ以テ、他動
詞ハ目的ナクシテ獨存スルヲ得ルナリ、例スルニ、I wash [myself], the cow feeds [her-
self], 又ハ he awakes [himself] 等ニ在テハ、皆自動詞ニ用ヒタルニテ、I wash the floor,
You feed the cattle, He awakes me. 等ニ在テハ他動詞ニ用ヰマリ、

第三、同契目的格 Cognate objective. 自動詞ニハ補足トシテ目的格ノ名詞ヲ使用ス
ル者アリ、而シテ其名詞ハ動詞ト同一ノ意義ヲ有ス、例ヘバ、to run a race 又ハ to die
the death 等ノ如シ、此種ノ目的格ヲ名ケテ同契目的格ト云フ、

練習第六

次ノ文句ノ中、自動詞及他動詞ヲ指示ス可シ、

第一、 The general sent a message.
[大將ハ使節ヲ送レリ]

第二、 The wild catarract leaps in glory.
[急瀑ハ揚々トミチヲ飛ブメ]

第三、 I shot the albatross.

〔余ハ海鷹ヲ射タリ〕

第四、 Some murmur when their sky is clean.

〔天晴ナル時ニ怒ル者アリ〕

第五、 I thought ten thousand swords must have leaped from their scabbards, to avenge even a look that threatened her with insult.

〔當時余等ノラン、其女ヲ凌辱シテ脅迫シタル細行ヲ怒リ、千万ノ鋭劍ハ鞘ヲ離テ出テ、報ヲ報セントシタルナラント〕

第六、 There are more worlds than one.

〔世界ハ一ニ非ズミニ尙數多アリ〕

第七、 How pale you look!

〔君ノ顔色太々悪シ〕

第八、 Richard reads a book.

〔リチャードハ書ヲ讀ム〕

第九、 Robert reads well.

〔ロバートハ善ク讀ム〕

第十、 He was a man, take him for all in all, I shall not look upon his like again.

〔彼ハ人ナリ、彼ヲ取テ、吾再ビ彼ノ嗜好ヲ思ハサルベシ〕

第十一、 Whatever is right.

〔凡テ存スル者ハ皆正ナリ〕

第十二、 Where heaves the turf in many a mouldering heap.

〔ストーン堆積シテ朽レル處〕

第十三、 We all rejoiced at his success.

〔吾人ハ皆彼人ノ成功ヲ喜ベリ〕

第十四、 The ship struck on a rock.

〔其船ハ岩石ニ衝突シタリ〕

第十五、 I struck myself with a hammer.

〔余ハ槌ヲ以テ自ら打チタリ〕

第十六、 He struck the ball hard.

〔彼ハ強ク球ヲ打チタリ〕

第十七、 He has not shaved this morning.

〔彼ハ今朝剃鬚セザリシ〕

第十八、 The barber shaved me yesterday.

〔理髮師昨日余ヲ剃鬚セリ〕

第十九、 Get your umbrella.

〔君ノ傘ヲ取り來タヘ〕

第二十、Get out of my way.

〔余ガ進路ヲ避ケヨ〕

第二十一、I withdraw my claim.

〔余ハ余ノ請求ヲ止ム〕

第二十二、The deputation withdrew.

〔委任止ミタリ〕

第二十三、Every one laughed.

〔各人笑ヒタリ〕

第二十四、They laughed him to scorn.

〔彼等ハ彼ヲ罵辱スル爲ニ笑ヒタリ〕

第二十五、He ran a race.

〔彼ハ競走ヲ試ミタリ〕

第二十六、He ran a thorn into his finger.

〔彼ハ指ニ荆棘ヲ立ナタリ〕

第二十七、Keep where you are.

〔君ノ在ル處ヲ守モシ〕

第二十八、Keep your place.

〔君ノ坐ヲ守モシ〕

第二十九、He roused up at the sound.

〔彼ハ其聲ヲ聞テ目ヲ覺イセリ〕

第三十、He launched out into all sorts of extravagance.

〔彼ハ甚ハタシキ奢侈ヲ極メタリ〕

第三十一、The horsemen spread over the plain.

〔騎兵ハ野ニ滿チタリ〕

第三款 働詞狀語 不定辭及分辭

(注) 働詞ノ文法的式様ヲ論ズル前ニ働詞狀語ノ二類ニ注目スルハ蓋シ大ニ便利ナルコトナラン、此二類ハ英語ノ働詞ヲ作クルニ於テ大ニ使用サル、者ナリ、

第九十七節 働詞狀語 Verbal トハ働詞ノ性質ヲ分スル上、更ニ他ノ品

第九十八節 働詞狀語ヲ二類ニ分カテ、一ヲ不定辭 Finite ト云ヒ、一ヲ分辭 Participle ト云フ、

不定辭ヲ論ズ、第一、

第九十九節 不定辭トハ働詞狀ノ名詞ニシテ、働詞ガ定ムル所ノ動作及事狀ニ名ヲ與フルノミ to read, reading ノ如シ、

第一百節 不定辭ニ二個ノ單純式様アリ、

第一、最簡ノ形ヲ有スル働詞ニシテ、通常其前ニヨナル前置詞ヲ有スルモノナリ、to walk 又ハ to run ノ如シ、

第二、ing 有スル不定辭ナリ、之ヲ gerund ト名ク、

第一、不定 infinite ハ無限 unlimited ト云フ意義ヲ有ス、詳言スレバ、人稱及ビ數ニ制限セラレザルノ義ナリ、故ニ從テ又々講説スルノカナシトス、之ニ反シテ講説力ヲ有スル働詞ハ定法働詞 Finite verb ト名ケ、人稱及數ニ制限セラレタル働詞ト云フ義ナリ、

第二、不定辭ヲ屢々働詞ノ一法(後ニ説ク)ナリト云フ者アリ、若シ然カ云ハ、不定法ハ全ク一個ノ働詞ナリト斷定セルナリ、然レドモ此レ決シテ働詞ニ非ラズ、何トナレバ今之ヲ働詞ナリト判知スルノ徴ヲ有セズシテ事物ノ摸樣ヲ確説スルノ職ヲ盡クス能ハザル者ナレバナリ、然レドモ一二ノ点ヲ見レバ、働詞ノ性質ヲ示スガ如キ者アリ例ヘバ目的タル事物ヲ有スル働詞ト相同シキ時ノ場合ニシテ、to read good books is profitable ノ如キ是レナリ然レドモ之レトモ主トシテ名詞ノ如ク使用シタル者ナリ、

第三、一定ノ働詞ヲ指定スルノ場合ニ在テハ不定辭ノ前ニヨナル字ヲ置クヲ通常ノ慣

例トス、例ヘバ書記 writing. ナル動作ヲ指定スルノ語ヲ to write ト名ク、存在 being ナル動作ヲ指定スル語ヲ to be ト名クル如キ是レナリ、然レドモ to write 及 to be ナル語ヲ直チニ働詞ナリト思フベカラズ、働詞ニ依リ指定セラレタル動作又ハ事狀ノ名ナリト思フベシ、

第四、ing アル働詞狀名詞即ハチ gerund ハ現在分詞ト同様ノ形ヲ有スレドモ、名詞ニ使用サレタルモノトハ異ナリトス、之ヲ例スルニ、I like reading (I like to read ニ同シ) 及 You will be rewarded for studying mathematics ノ如シ、

第一百一節 働詞ノ根語 the root of a verb トハ不定辭ニ於テ見タル如キ最簡ノ形ヲ有スル働詞ニシテヨナル字ヲ前ニ有セザル者ナリ、write, read, stand 等ノ如シ、

根語不定辭 Root-infinite ナル語ハヨナ前ニ有セザル簡單ノ形ヲ有スル不定辭ヲ稱スルニ用フ、此ヨチ根語不定辭ノ符号ト稱ス、而シテ此語法ハ働詞ノ複合時限ヲ作クルニ多ク用キラレタリ

分辭ヲ論ズ、第二、

第一百二節 分辭トハ働詞狀ノ形容詞ニシテ、働詞及形容詞ノ両性ヲ分有ス、其例左ノ如シ、

第一、 The water is running.

Water running through a gravelly soil is clear.
The good are loved.

Warren died loved by all.

第百三節 變化法ヲ用ヒテ現在分詞及過去分詞ナル二個ノ分詞ヲ造クルコトヲ得可シ、

其一、 總テノ動詞ノ現在分詞 Present participle ハ、根語ノ尾ニ ing ヲ加ヘテ之ヲ得ベシ、例スルニ walk, walking 又ハ write, writing ノ如シ、

其二、 過去分辭 Past participle ハ、根語ノ語尾ニ ed ヲ附加シテ得ルヲ通常トス、然レドモ此法ニ依リ過去分辭ヲ作サザル動詞アリ、斯ノ如キ者ヲ稱シテ不規則動詞 Irregular verb ト云フ、例ハ write, written 又ハ tell, told ノ如キ是レナリ、(第百四十一節ヲ見ルベシ)

第四款 動詞之文法的式樣

第百四節 動詞ノ文法的式樣ニ五種アリ、第一、語法 Voice、第二、法 Mood、

第三、時 Tense、第四、人稱 Person、第五、數 Number 是レナリ、

第百五節 此等ヲ示ス樣法、此等ノ式樣ヲ示スニ四法アリ、

第一ハ 語尾變化ノ法ニ依ル、"Thou lovest"; "He loves"; "We loved"; 等ノ如シ、
第二ハ 原質變化ノ法ニ依ル、"She tells"; "she told"; ノ如シ、

第三ハ 助語ノ法ニ依ル、"We have loved"; "They will love"; ノ如シ、

第四ハ 文法的關係ノ法ニ依ル、詳言スレバ、動詞ガ契合スベキ主ノ文法的式樣ヲ見テ動詞ノ式樣ヲ判知スルナリ、例ハ walk ナル文句ニ於テ主 I ハ第一人稱ノ單數名詞ナルガ故ニ walk ナル動詞モ第一人稱ノ單數ナリト解剖ス、然レドモ They walk ナル文句ニ於テハ、walk ハ第三人稱復數ノ式樣ヲ有スルナリ、

第一項 語法

第百六節 語法トハ他動詞ノ文法的式樣ニシテ主タル者ガ動作ヲ爲セル者ナルヤ、將タ動作ヲ受クル者ナルヤヲ表ハスナリ、

第百七節 發動詞 發動詞トハ主タル者ガ他物ニ向ツテ呈スル動作ヲ表示スル者ナリ、次例ノ如シ、
Watt invented the steam-engine.

第百八節 受動詞 受動詞トハ主タル者ガ他物ヨリ受ケタル動作ヲ表示スル者ナリ、次例ノ如シ、

The steam-engine was invented by Watt

受動詞ハ to be ナル助動詞ノ諸種變體 (be, is, are, were, was 等) ヲ他動詞ヨリ作りタル過

去分辭ニ連結スレバ之ヲ得ベシ、次例ノ如シ、

I am struck. The Persians were defeated. They will be seen.

第一、受働語法ハ他働詞ノ目的タルモノヲ主タルモノニ變ゼシムベキ文法方便ナリ、但シ發働詞ノ目的ト爲ルモノガ受働詞ノ動作ヲ繼續スル間ハ主ニ在ルヲ得レドモ、能ク其動作ヲ起シタル者ニアラズシテ、其動作ヲ受ケ續ギタル者ナリト思ハザルベカラズ、故ニ其モノガ主位ニ在ル時ニモ、客位ニ在ル時ニモ、同意カ若クハ殆ンド同様ノ意義ヲ有スルナリ、例スルニ、

(發働) *The dog bit the man (又ハ him).*

(受働) *The man (又ハ he) was bitten by the dog.*

茲ニ人ナル語ハ前ニ客位ニ在リ、後ニ主位ニ在レドモ、其人ガ犬ヨリ咬ムナル動作ヲ受クルニ至テハ同一ナリ、

第二、細カニ論ズレバ、自働詞ハ受働詞トナル可カラズ、何トナレバ、自働詞ノ動作ハ獨リ主位ニ在ル動作者ニノミ限ルヲ以テ、動作ヲ受ケベキ目的有ラザレバナリ、

第三、英倫語ニハ受働詞ノ語尾變化ナシ、其受働詞ハ皆助働詞ノ作用ヲ借レバナリ、羅甸及ビ希臘ノ如キ國語ニ在テハ、語法ヲ區別スルニ語尾變化ヲ用フ、即チ羅甸語ノ *doceo* (發働詞)ハ *I teach* ノ義ヲ有シ、*doceor* (受働詞)ハ *I am taught* ノ義ヲ有スルガ如キ是レナリ、

第二項 法

第九節 法トハ講説ノ模様ヲ示スノ文法的式様ナリ、「*メイソン*」氏曰ク、法ハ動作ノ模様ト云フ義ナリト、此定義ハ十分正確ト云ヒ難シ、何トナレバ、動作ノ模様ヲ表ハスニハ、副詞アルナリ、故ニ講説ノ模様ヲ示ス者ハ法ト稱セラレタル文法的式様ノ職任トス、而シテ法ノ諸種ハ働詞ニテ表セラレタル動作ト主位ニ在ルモノトナリ心中ニ連結思考スルノ模様ヲ示メス、

第一、*The earth revolves around the sun.*

此働詞ハ現存ヲ確定ス、

第二、*We may go to Europe next year.*

此働詞ハ可成ヲ確定ス、

第三、*If we go, we will return in the autumn.*

此働詞ハ事情又ハ假説ヲ確定ス、

第四、*Go away.*

此働詞ハ命令ヲ確定ス、

第十節 不定働詞ノ外ニ四ヶノ法アリ、第一、直說法 *Indicative mood*. 第

二、可成法 Potential mood. 第三、接續法 Subjunctive mood. 第四、命令法 Imperative mood. 是レナリ、

第百十一節 直說法ハ事實又ハ事實ト看做サルベキ事情ヲ講説スルニ用フ、

第一、直說法ニテハ過去、現在、又ハ未來ノ實事ヲ確定スルヲ得、次例ノ如シ、

第一、 The Romans were victorious.

第二、 You are writing a letter.

第三、 We shall set out to-morrow.

第二、直說法ハ實事ノ如クニ見做サレタル豫想ヲ確説スルヲ得、次例ノ如シ、

If he did that [which he did], he was unwise.

注、豫想ヲ言表ハシタル直說法ト、接續法トヲ混同スルコト勿レ、

第百十二節 可成法ハ爲シ得ベキ、偶然ノ事、義務ヲ盡スベキ等ヲ講説スルニ用フ、

可成法ハ主タルモノガ何ヲ爲スヤ、又タ何ナルヤヲ表スル者ニアラズシテ、其モノガ何ヲ爲シ得ルヤ、何ヲ爲シ得シヤ、何ヲ爲シ能フヤ、何ヲ爲シ能ヒシヤ、何ヲ爲スベキヤ、何ヲ爲サル可カラザルヤ、或ハ、何デ有リ得ルヤ、有リ得シヤ、何デ有リ能フヤ、有

リ能ヒシヤ、何デアアルベキヤ、有ラザルベカラザルヤヲ表スル者ナリ、次例ノ如シ、

第一、 Jane can write a letter.

第二、 We may be happy yet.

第三、 Children should obey their parents.

第百十三節 接續法ハ思料セラレタルモノヲ講説スルニ用フ。次例ノ如シ、

第一、 If he were here, he would act differently.

第二、 Though he slay me, yet will I trust in him.

第一、此法ヲ接續法ト名ケタル所以ハ、蓋シ此法ヨリ作りタル確定ガ主要ノ講説ニ(豫想事情等アリトシテ)接續セラルノヲ以テナリ、

第二、接續法ノ働詞ハ其前ニif, that, lest, though, unless 等ノ接續詞ヲ有スルヲ常トス、(然レドモ又タ然ラザルモノモアリ)然ルニ今此法ニ附シアル接續詞ニ付テハ左ノ二事アルナリ、

(其一)接續詞ハ法ノ一部分ニハ非ラズ、何トナレバ如何ナル講説モ其主ノ前ニ働詞又ハ助働詞ヲ置ケバ接續法ノ講説ニ變ズレバナリ、例スルニ he was ノ働詞ヲ主位ノ前ニ置キ were he [彼ガアリシナラバ]トスレバ接續法トナリ、if he were ト同様トナル、 Had he gone モ亦 if he had gone ト同ク、

(其二)事實アルト見做サルベキ豫想ヲ作ルベキ式様ヲ有スル働詞ナル時ハ、E. that
ノ如キ接續詞ヲ直說法ノ前ニ置クヲ得ベシ、(但シ接續詞ニハ非ラザルナリ)

第百十四節 命令法ハ命令若クハ要求ヲ講説スルニ用フ、次例ノ如シ、

第一、 *Charge, Chester, charge!*

第二、 *Give us this day our daily bread.*

第三項 時

第百十五節 時 *Tense* (羅匈語) *tempus* ガ一轉シテ佛朗士語 *temps* ト
ナリ、再轉シテ英語 *tense* トナレリ) トハ動作又ハ事變ノ起リシ時ヲ
示シ、及ビ其動作事變ガ結了シタルヤ否ヤノ程度ヲ示ス文法的式様ナ
リ、

第百十六節 本原時 *Primary tense*、動作事變ニ關シテ時ヲ二種ニ分カツ、
現在、過去、及未來是レナリ、是ヲ本原時トス、

第百十七節 第二時 *Secondary tense*、前三種ノ時限ニ關シテ動作事變ガ
全ク完了シタリト云フベキコトアリ、是ニ於テ又タ第二時即ハテ關係
時ナル者ニ生ズ、第一、現在完成 *Present perfect*、第二、過去完成 *Past perf-*

ect 第三、未來完成 *Future perfect*、是レナリ、

現在完成ハ過去分詞ノ前ニ *to have* ノ現在ヲ加ヘ、過去完成ハ其過去ヲ加ヘ、未來完成ハ
其未來ヲ加ヘテ以テ作ルヲ得ベシ、

第四 時ヲ有スル働詞ノ法

直說法ヲ論ズ、第一、

第百十八節 直說法ハ六時ヲ有ス、

第百十九節 現在(時)ハ現今起ル處ノ動作又ハ事變ヲ表ハス、其例次
ノ如シ、

I see the flower. You smell its perfume.

第百二十節 現在完成ハ現今カ若クハ殆ンド現今ト見做スベキ時ニ
完了シタル動作又ハ事變ヲ表ハス、其例次ノ如シ、

第一、 *I have walked six miles to-day.*

第二、 *He has brought many captives home to Rome.*

第百二十一節 過去(時) *(Past* 又 *Preterite* ト云フ)ハ全ク經過シタル時ニ
起リタル動作或ハ事變ヲ表ハス、其例次ノ如シ、

第一、 *Columbus discovered America.*

第一、 I found her in her room reading Plato.

第百二十二節 構造法 過去ヲ構造スルニハ、語尾變化又ハ原質變化ノ法ニ依ル

第一、規則動詞(第百四十一節ヲ見ヨ)ハ根語ノ語尾ニ ed ナ附加シテ構造スルヲ得、discover ナル根語ヲ變ジテ discovered トスレバ過去トナルガ如シ、

規則動詞ニ過去ノ式様ヲ與フル爲メニ用フル語尾 ed ハ did ノ義ヲ有スル原語 dede ナ示セル者ナリ、故ニ I loved ハ I love-did ナリト知ル可シ、

第二、不規則動詞(第百四十一節ヲ見ヨ)ハ一定ノ法ナクシテ、一ノ別法ヲ用ヒテ過去ヲ作ケル、broke ハ break ノ過去ニシテ found ハ find ノ過去ナルガ如シ、

第百二十三節 過去完成ハ過去ニ完成シ、若クハ過去ノ前ニ完成シタル已往ノ動作又ハ事變ヲ表ハス、其例次ノ如シ、

第一、 I had written three letters before breakfast yesterday.

第二、 The steamer had left when the mail arrived.

第百二十四節 未來(時)ハ將來ニ起ルベキ動作又ハ事變ヲ表ハス、其例次ノ如シ、

I will see you again, and your hearts shall rejoice.

未來ハ不定動詞ノ根語ニ助動詞 shall 若クハ will ナ連結シテ之ヲ構成スルヲ得ベシ、

助動詞 shall 又は to owe(義務ヲ盡スト云フ義)ナル意義ヲ有セシ古語ノ今ニ殘餘セル者ニシテ、will 又は to desire (共ニ希望スルト云フ義)ナル動詞ヲ時ニ用ヰタル者ナリ、蓋シ「アングロ、サクソン」語ニテハ to seal 及 to will ナル語ノ次ニ、不定辭ヲ置キタリ、即チ to seal niman ハ之ヲ直譯スレバ I owe to take ナル意義トナリ、to will niman ハ I will to take ナル意義ヲ有セリ、

第百二十五節 未來完成ハ未來ノ時若クハ未來ノ時ノ少シク前ニ完成スベキ動作若クハ事變ヲ表ハス、其例左ノ如シ、

I shall have finished my letter by noon.

可成法ヲ論ズ、第二、

第百二十六節 可成法ニ四時アリ、日ク、現在、日ク、現在完成、日ク、過去、日ク、過去完成、

此四時ハ必ズシモ時ニ關シテノ動詞ノ動キヲ表セズ、

第百二十七節 現在可成法ハ動詞ノ不定根語ニ may, can 又ハ must ナル助動詞ヲ連結スレバ之ヲ得ベシ

第一、此時ハ現今又ハ未來ニ起ルベキ動作又ハ事變ノ勢力、可成(爲シ得ベキ)、自由又ハ必ず有ルベキヲ現今ニ表ハス者ナリ、其例次ノ如シ、
You may leave [now].

It may rain [to-morrow].

The boy can write [now].

She must go [now 又ハ next week].

第二、方今單ニ現在可成ノ助働詞ニノミ使用スル may, can 及ビ must ナル働詞ハ古代ノ英語ニ在テ直說法ノ働詞ニ獨用スルコト得テ、*to* ナ有セザル不定辭チ之ニ附加シタリキ、例ハ、I may walk、I may (又ハ am able) to walk、同ツクシテ、You can write、同ツカカリシナリ、

may ハ「アングロ、サクソン」語ニテ *meagan* ト云ビ、カニ適スル (to be able) ト云フ義ナリキ、can ハ「アングロ、サクソン」語ニテ *canan* ト云ビ、如何ナルヤチ知ル (to know how) ト云フ意チ有シ、又其故ニカニ適スル (to be able) ト云フ義チ含メリ、

第二百二十八節 現在完成可成法ハ過去ニ在リシト見做スベキ動作又ハ事變ニ關シ、其可成自由、若クハ必然ナルヲ現在ニ表ハス者ナリ、其例次ノ如シ、

彼ガ書キ得タ

He may have written.

彼ハ已ニ書キシコト又ハ即今書キ了リタルコトハ蓋シ然ラン、必シモ能ハザルノ事ニ非スト云フノ義ナリ、

私ガ昨日書カキハナラナシタ

I must have written yesterday.

余ガ昨日已ニ書シタリト云フ事ハ即今必然ノ事ナリト云フノ義ナリ (喩ハ某人ガ急答チ要スル書翰チ受ケタル時ニ其人ガ「此書狀ガ昨日到着シタルナレバ、余ハ昨日已ニ答書チ書シタル」ト言フガ如シ)

第二百二十九節 過去可成法ヲ構成スルニハ働詞ノ根語不定辭ニ *might*、

ht, *could*, *would* 又ハ *should* ナル助働詞チ連結スベシ、

第一、*might*、*may* ノ過去、*could*、*can* ノ過去、*would*、*will* ノ過去ニミテ、*should*、*shall* ノ過去ナリ、

第二、此時ハ種々ノ意義チ表示ス、次ノ如シ、

甲、過去ノ可成、

I could not reach the train, for I was delayed by the way.

〔余ハ途中ニテ猶豫セシ故、列車ニ逢スル能ハザリシナリ〕

乙、現在可成、又ハ現在自由、

You might oblige me, if you would.

〔若シ君ガ然クスルチ欲ヒタル時ハ余ニ義務チ盡クスコト拒マザリシナラン〕

丙、未來偶然、

I should return next week, if I were to leave to-day.

「余若シ今日出發スルベキコトナリシナレバ、次週ニハ故國へ歸着スベキナリ、」
丁、尋常ノ過去ノ動作、

There would she sit and weep for hours.

「若シ某ノ事情ガ其時起リタリシナラバ、其女ハ數時ノ間坐シモシ泣キモセリ、」

戊、時ニ關セザル本分義務、

Children should obey their parents.

「小兒ハ父母ニ從順セザル可カラズ、」

第二百二十節 過去完成可成法トハ完了セラレザリシ過去ノ動作又ハ
事變ヲ回想シ、若クハ曾テ少シモ起ラザリシ動作又ハ事變ガ過去ニ生
ゼシト假定シ、而シテ此動作又ハ事變ヲ過去ニ於テ爲スベキ力アリタ
ルカ、又ハ爲シタルナランカ、又ハ爲スヲ許サレタルコトヲ示ス、其例
次ノ如シ、

I could have helped you, if you had asked me.

「若シ其時若ガ余ニ請ヒシナラバ、余ハ君ヲ救助シ能フタレドモ、君ハ余ニ請ハザリシヲ以テ、余ハ君ヲ救助セザ
リシナリト云フ義ヲ含ム、」

接續法ヲ論ズ、第三、

第二百二十一節 接續法ニ二時アリ、一ハ過去ニシテ、一ハ現在ナリ、

第二百二十二節 現在接續法ハ現在直說法ト同式様ヲ有スル單純時ニ
シテ、唯其異ナル處ハ、直說法ノ如ク第二人稱ノ語尾ニ *st* ナ附加シ、第
三人稱ノ語尾ニ *s* ナ附加スルノ一事ナキノミ、(但シ *is*、*do* ナル働詞ハ除
ク)而シテ *is*、*that*、*though* 等ノ接續詞ヨリ誘導セララル、ナ常トス、
此時ハ屢々未來ノ動作ヲ論及ス、詳言スレバ未來ノ動作、事變ヲ現今ニ豫想ス、其例左ノ如
シ、

If I go (If I shall go) to town, I shall go alone.

「余若シ行クナレバ必ず獨リ行カン、」

Beware lest you fail (lest you shall fail) to do it.

「君ハ失敗セザルコトニ注意セヨ、」

第二百二十三節 過去接續法ハ過去直說法ト同式様ヲ有シ、其異ナル處
ハ、第二人稱ノ語尾ニ *st* ナ附加スルコトナキノミ、

此時ノ主要ナル使用法ヲ次ニ示サン、

第一、現存ノ事實ヨリ作りタル假想ノ講説ニシテ、而カモ其假想シタル事實ノ現存セ
ザルコトヲ暗ニ含ム法ナリ、次例ノ如シ、

*If I were rich (余ハ今富有ニアラズト云フ義ヲ言外ニ含ム)、I would give freely,
又々希望ヲ表示スルニ用フ、*

O had I the wing of a dove!

〔嗚呼余ニシテ鳩ノ翼ヲ有セシメンナラバ〕

此句ニ於テハ、接續詞ヲ用ヰシテ主位ガ働詞ノ後ニ來レリ、

第二、某事實ニ續ギテ必ズ起ルベキ結果、

If it were done when 'tis done, then 't were well

It were done quickly.

〔其事ガ爲サルベキ時ニ爲サレシナラバ、其事ハ甘ク爲サレ、速ニ爲サレシナリ、〕

命令法ヲ論ズ、第四、

第二百二十四節 命令法ハ只現在ナル一時ヲ有スルノミ、此時ハ命令等

ヲ與フル時ニ用ヰ、其働作ハ必ズ未來ニ完了スベキナリ、

複合働詞ヲ論ズ、第五、

第二百二十五節 不定辭ノ單簡ナル者ハ不定現在 Present infinitive (to write,

to walk 等是レナリ)ト稱スル者ニシテ、此外ニ又々不定完成 Perfect infi-

niteト稱スル複合式様ヲ有スル者アリ、to have written 又ハ to have walked

等即チ是レナリ、

不定現在及ビ不定完成ナマ、時トスル者アリ然ドモ不定辭ハ講説スルノ能力ナキ故ニ、

時ニハ少シモ關係セズ、而シテ此働詞ニ適用サレタル現在不定ト不定完成トノ差ハ、不定辭ニテ定メラレタル動作又ハ事狀ノ完全ト不完全トヲ示スノ間ニ在リ、其例次ノ如シ、

He wishes to write. He wished to write. He will wish to write.

此レ現在不定ナリ、

He is said to have written (already, yesterday, a year ago 等).

此レ完成ナリ、

第二百二十六節 gerund 即チ ing ナル語尾ヲ有スル不定辭ノ式様ニ短

簡ト複合トノニアリテ、其複合ナル者ハ ing ノ語尾ヲ有スル to have ト

働詞ノ過去分辭トヲ以テ成レリ、

第二百二十七節 分詞 現在分詞及過去分詞ノ外ニ複合分詞 Compound par-

ticiple 一名完成分辭 Perfect participle ナル者アリテ、働詞ノ過去分詞ノ前

ニ to have ナル助働詞ノ現在分詞ヲ加ヘテ之ヲ作り得ベシ Having walked

又ハ having written ノ如キ即チ是レナリ、

ingノ式様ノ注、

第一、式様ノ總數 ingノ式様ニ付テ多少困難ナル事實アリ、何トナレバ、此語尾ヲ有

スル語ハ、其種類四個ヨリ少ナカラスシテ、而カモ其各種ハ互ニ相異リタル職務ヲ爲シ、其種類亦互ニ同シカラザレハナリ、次ノ四條ヲ見テ之ヲ知ルベシ、

第一條、 *ing* ナ有スル不定辭ニシテ即ハチ、働詞狀名詞ナリ、

Parting is such sweet sorrow.

【離別スルハ左ナガラ強キ悲哀ヲ起ス者ナリ、】

第二條、 *ing* ナル語尾ヲ有スル名詞、

There came a morning on the wind—the sighing of the tempest.

【其處ニ風ノ呻聲來レリ——颯風ノ歎聲來レリ、】

第三條、 *ing* ナル語尾ヲ有スル分辭ニシテ、即ハチ働詞狀形容詞ナリ、

Pressing the Rubicon, Caesar advanced on Rome.

【「ミーサー」ハ「ルーコン」川ヲ經過シテ、羅馬へ進ミタリ、】

第四條、 *ing* ナル語尾ヲ有スルノ形容詞、

A startling cry came the house.

【驚愕ノ叫聲其家ヨリ來レリ、】

He is a man of striking appearance.

【彼ハ特異ナル容貌ヲ有スル人ナリ、】

ing ノ種々ナル式様ノ起原ヲ説クイ次ノ如シ、

第一、 *ing* ナル語尾ヲ有スル不定辭ハ「アングロ、サクソン」語ノ主格及ビ目的格 (*accusative*) ハ羅匈希臘ノ第四格ニシテ、英文典ノ目的格ニ當タルニ於テ *ing* ナル語尾ヲ有スル不定辭ヨリ轉訛シタルナリ、例之ハ *to write* ノ義ヲ有スル *writan* ハ、最初ニハ *writan* ニ變ジ、次ギニ *writan* ト變ジ、遂ニ方今ノ *writing* ト爲リシ者ナリ、蓋シ古ハ *ing* ナル語尾ヲ有スル抽象名詞有リシガ故ニ、*ing* ナル語尾ガ容易ニ *ing* ニ變化シタルナランカ、(次項ヲ見ヨ)、

第二、 *ing* ナル語尾ヲ有スル名詞ハ「アングロ、サクソン」語ノ *ung* ナル語尾ヲ有スル名詞ガ變化シタル者ナリ、例之ハ *building* ハ本ト *building* ニシテ、*cleasing* ハ *cleasung* ノ如シ、古ハ「アングロ、サクソン」語ニハ *ung* ナル語尾ヲ有スル一種ノ名詞アリテ、現今我國語ノ名詞ノ *ing* ナル語尾ヲ有スル者ハ多ク其遺傳物ナリトス、然リト雖モ以來此等ノ名詞ニ擬シテ働詞ヨリ新造シタル名詞ノ數ハ更ニ又多シ、

第三、「アングロ、サクソン」語ニ在テ、現在分詞ハ *ende* 又ハ *ande* ナル語尾ヲ有セリ、例之ハ *loving* ハ本ト *lufigende* トシ、*saying* ハ *sayande* トシタルガ如キ是レナリ、而ルニ此語尾ハ漸次ニ變化シ、*and*(又ハ *end*)トナリ、*in*トナリ、*inge*トナリテ、遂ニ當今ノ *ing*トナリタルナリ、

第四、 *ing* ナル語尾ヲ有スル形容詞ハ、*ing* ナル語尾ヲ有スル現在分詞ヨリ誘導サレ、時ト動作ノ意義ヲ失ヒテ、只々屬性ノ意義ノミヲ存有セルナリ、例之ハ *a charming*

face 又ハ a cunning boy ノ如キ是レナリ、

第二、**試験** ing ナ有スル某語ガ此四種中ノ何レニ屬スルヤヲ判知スルノ便ヲ學者ニ與ヘン爲ニ、次ニ二三ノ試験法ヲ示ス、

甲、 ing ナル語尾ヲ有スル不定辭ハ第一ニ動詞ノ主又ハ目的ト爲ルヲ得、第二ニ補足ノ語ヲ有スルヲ得、第二ニ持格形容詞又ハ持格ノ名詞ヲ前位ニ有スルヲ得、第一ノ場合ニハ ing ナル語尾ヲ有スル名詞ニ類似シ、第二ノ場合ニハ分詞ニ類似ス、然レドモ第三ニ在テハ第二ト同シク「ゼランド」ノミノ特有性ナリ、次ノ文句ニ於テ之ヲ知ル可シ、

His making money is no proof of merit.

此文句ニ於テ *making* ハ一個ノ「ゼランド」ニシテ、 ing ナル動詞ノ主トナリ、 *money* ナル目的ヲ有シ、而シテ *his* ナル持格形容詞ヲ前ニ有ス、

乙、 ing ナル語尾ヲ有スル名詞ハ第一ニ名詞タルベキ尋常ノ徵ヲ有シ、第二ニ不定辭及分詞ノ如ク補足ノ語ヲ有スル能ハズ、第三ニ冠辭ヲ前ニ有スルヲ得、第一ノ場合ニ在テハ形容詞及分詞ト全ク異ナリ、第三ノ場合ニ在テハ ing ヨリ成ル所ノ諸他ノ語ト全ク異ナリ、次ノ文句ニ於テ之ヲ知ル可シ、

There came a moaning on the wind—the sighing of the tempest.

此文句ニ於テ *moaning* ハ一個ノ名詞ニシテ、 *came* ナル動詞ノ主トナレドモ、目的ヲ有スル能ハズ、而シテ a ナル冠辭ヲ以テ其意義ヲ制限セラル、

丙、 ing ナル語尾ヲ有スル分詞ハ、第一ニ某名詞ニ屬スル性質ヲ示ス語ナリ、第二ニ動作又ハ事情及ビ時ヲ表示ス、

第一ノ場合ニ於テハ形容詞ヲ除クノ外凡テ ing ヨリ成リタル語ト異ナリ、然レドモ第二ノ場合ニ在テハ形容詞ト異ナル處アリ、何トナレバ形容詞ハ只ダ性質ヲ表示スルノミニシテ、動作又ハ時ヲ表示セザレドモ、此ノ分詞ハ性質ヲモ動作ヲモ時ヲモ表示シ得レバナリ、

次ノ文句ヲ見テ之ヲ知ル可シ、

Passing the Rubicon, Caesar advanced on Rome.

此ノ文句ニ在テ *passing* ナル語ハ一個ノ分詞ナリ、何トナレバ Caesar ナル名詞ニ附屬スル語ニシテ、動作及時ヲ表示スレバナリ、

丁、 ing ナル語尾ヲ有スル形容詞ハ、第一ニ某ノ名詞ノ所屬ナル屬性ヲ示スノ語ナリ、第二ニ比較スルヲ得ルナリ、

第一ノ場合ニ在テハ、唯ダ分詞ニノミ類似シ、第二ノ場合ニ在テハ ing ヨリ成リタル諸種ノ語ト相異ナリトス、次ノ文句ヲ見テ之ヲ了解ス可シ、

A man of more striking appearance I never saw.

此ノ文句ニ於テ striking ナル語ハ一個ノ形容詞ニシテ、人ノ容貌ヲ明狀シ、又タ more ナル字ト連結セラレタルヲ以テ、比較級ノ資格ヲ有セリ、

第五項 數及人稱

第三百二十八節 働詞ノ數及人稱ハ働詞ヲシテ其主ト一致契合セシムル文法的式様ナリ、

第三百二十九節 働詞ノ數ニハ單數ト複數トノ二別アリテ、名詞ノ數ノ單數及複數ト相對ス、例之ヘバ The man walks 及ビ The men walk ノ如シ、働詞ノ人稱ニ三個アリテ、人代名詞ノ三個ノ人稱ト相對合ス、

働詞ノ人稱及ビ數ハ殆ンド皆文法的關係 Grammatical relation ニ依テ表示セラル、

第一、 人稱及數ノ語尾變化次ノ如シ、
甲、 直說法ノ現在及過去ニ在テ第二人稱ノ單數ニハ art(又ハst)ヲ附加ス、"I walk;" "Thou walkest;" "Thou walkest;" 等即ハチ是レナリ、但シコレハ嚴格ナル文若クハ詩ニ用フ、

乙、 直說法現在ノ第三人稱ノ單數ニハ es(又ハs)ヲ附加ス、"She crosses;" "He walks;"

等即ハチ是レナリ、

注意、 古ヘハ現在直說法ノ第三人稱ノ單數ニthナル語尾ヲ附シタレドモ、方今ハ只マ嚴整ナル書法若クハ詩律ニノミ使用シ、尋常之ヲ廢セリ、

第二、 尋常ノ說話ニ於テハ、第二人稱ノ複數ヲ代語法 Challenge ナル者ニ依リ第二人稱ノ單數ニ代用ス、例之ヘバ、Thou walkest ト言ハスニテ、You walk ト云フベキガ如シ、解剖ニハ尙之ヲ第二人稱ノ複數トス、而シテ一個ノ人ヲ指示スルニ當リ働詞及代名詞ハ複數ノ式様ヲ有ス、之ヲ複數ヲ單數ニ代用セリト云フ、

第三、 thou ナル代名詞ニ一致スル働詞ニstナル式様ヲ有セシムルノ法ハ、當今只マ嚴整ナル書法又ハ詩律ニノミ用フ、The Society of Friends 即ハチ「クエーカー」宗(George Fox ト云フ者此宗ヲ開基セリ)ノ人ハ平常交際上ノ談話ニ單數ヲ用ヒ、只stナル語尾ヲ附セザルノミ、例之ヘバ、"What thou said"; "If thou should come." ノ如シ、

第四、 命令法トハ命令ノ法ニシテ、命令ナル者ハ之ニ從フ可キ人ニ向テ發スベキ故ニ、精細ニ言ヘバ其働詞ハ只第二人稱ニ於テノミ使用サル可キナリ、Go (you 單數ニモ複數ニモ) to bed ノ如シ、
吾人が第一人稱若クハ第二人稱ノ主ニ關シテ意思ヲ發表スルニ當タリ、命令法ノ代ハリニ次ニ掲グル者ヲ用フ、

甲、 接續法ヲ用フ、其例次ノ如シ、

第一、Confide we in ourselves alone.

「吾人ハ吾人自己ヲ信任スベシ」

第二、Laugh those that can, weep those that may.

「笑フトモ泣クトモ其人ノ爲メ信任カセ」

乙、Let不定辭トテ并用ス、其例次ノ如シ、

Let us pray.

「吾人ニ禱ラシメヨ」

Let him be heard.

「彼ヲシテ聞カレシメヨ」

然レドモ乙ノ場合ハDry及hearノ命令法ニ非ズシテletナル命令法ノ補足ニ用ヒラレタル不定辭ナリ、

第六項 配合

第四百十節 配合 Conjugation. トハ動詞ヲ其諸種ノ文法的式様ニ從ツテ整齊ニ排列スル法ナリ、

第四百十一節 配合ニ二種アリ、第一規則Regular 第二不規則Irregular 是レナリ、而シテ此二種ノ配合ハ過去(直說法)及過去分詞ヲ構成スル法ニ

依テ區別セラル、

第一、規則動詞 Regular verb トハ根語ノ語尾ニ ed ナ附加シテ、過去及過去分詞ヲ構成スルヲ得ベキ動詞ナリ、次例ノ如シ、

love 根語、

loved 過去、

loved 過去分辭、

注、過去ノ語尾ニハ ed ナ附加スト言ハンヨリ、寧ロ d ナ加フト言フナ正シトス、何トナレハ根語(love-d, savedノ如シ)ニ只 d ノミヲ加フベキ故ナリ、若シ然ラズシテ ed ナ加ヘザル可カラザルノ場合ニ在テハ、聲音ヲ圓滑ニスル爲メニ ed ノ e ナ特加シタルナリト思フベシ、

注意、語尾 ed ナ附加スルニ當タリ、誘導語ヲ綴ル規則ニ注意セザル可カラズ、

第二、不規則動詞 Irregular verb トハ根語ノ語尾ニ ed ナ附加スルトモ過去又ハ過去分詞若シハ何レヲモ構成スルコト能ハザル動詞ナリ、次例ノ如シ、

take 根語、

took 過去、

taken 過去分辭、

注、此種ノ動詞ヲ不規則動詞ト稱シタルハ、過去及過去分辭ヲ構成スルニ當タリ、正規ノ法則ヲ違反スルヲ以テノ故ニ非ズシテ、其之ヲ構成スルノ諸方ヲ一定ノ規則中ニ約束スルヲ能ハザルノ故ナリ、

第四百十二節 動詞ノ主要ナル部分ニ三ツアリ、第一ハ直說法現在ノ式様第二ハ直說法過去ノ式様第三ハ過去分詞是レナリ、助動詞ノ配合

第四百二十三節 助働詞

助働詞ハ be, do, have, shall, will, can, may, must ナリ、
 第一、 be, do, will 及 do have ハ助働詞ニ使用スルノミナラズ、又々主働詞トモナリテ
 完全ナル配合チ有ス、下ニ示ス者ハ只メ助働詞トナル時ノ場合ノミナリ、
 第二、 shall, may, can, 及 do must ハ獨リ助働詞ニ使用スルノミニシテ、欠形ナリ、(欠
 形トハ半過去ヤ分詞等ノ形無キチ言フ)
 第三、 時ヲ示スニ當マリ、助働詞ノ補助ヲ要セザルモノハ、發働詞ニ於テ直說法及接續
 法ノ現在及過去ト命令法トノミ、受働詞ヲ構成スルニハ全ク to be ナル助働詞ノ補助ニ
 依ル、

TO BE (有ル)。

受働詞及進行式樣(第四百十五節ヲ見ヨ)之助働詞、

現在……am.	主要ナル元素	過去……was.	過去分詞……been.
	直	現在	複數
	法	在 (有ル)	
	單數		

1. I am,	1. We are,
2. Thou art,	2. You are,
3. He is;	3. They are.
	過 去 (有リシ)
1. I was,	1. We were,
2. Thou wast,	2. You were,
3. He was;	3. They were.
	未 來 (有ルデアロウ)
1. I shall 又ハ will be,	1. We shall 又ハ will be,
2. Thou shalt 又ハ wilt be,	2. You shall 又ハ will be,
3. He shall 又ハ will be;	3. They shall 又ハ will be.
	現 在 完 成 (有ツタ)
1. I have been,	1. We have been,
2. Thou hast been,	2. You have been,
3. He has been;	3. They have been.
	過 去 完 成 (有ツタリシ)
1. I had been,	1. We had been,

2. Thou hadst been,
3. He had been;

2. You had been,
3. They had been.

未 來 完 成 (有ツタデアロウ)

- | | |
|----------------------------------|----------------------------------|
| 1. I shall 又ハ will have been, | 1. We shall 又ハ will have been, |
| 2. Thou shalt 又ハ wilt have been, | 2. You shall 又ハ will have been, |
| 3. He shall 又ハ will have been; | 3. They shall 又ハ will have been. |

可 成 法

現 在 (有リ得ル)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. I may be, | 1. We may be, |
| 2. Thou mayst be, | 2. You may be, |
| 3. He may be; | 3. They may be. |

過 去 (有リ得シ)

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. I might be, | 1. We might be, |
| 2. Thou mightst be, | 2. You might be, |
| 3. He might be; | 3. They might be. |

現 在 完 成 (有リ得タ)

- | | |
|--------------------------|------------------------|
| 1. I may have been, | 1. We may have been, |
| 2. Thou mayst have been, | 2. You may have been, |
| 3. He may have been; | 3. They may have been. |

過 去 完 成 (有リ得タリシ)

- | | |
|----------------------------|--------------------------|
| 1. I might have been, | 1. We might have been, |
| 2. Thou mightst have been, | 2. You might have been, |
| 3. He might have been; | 3. They might have been. |

接 續 法

現 在 (若シ有ルナラバ)

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. If I be, | 1. If we be, |
| 2. If thou be, | 2. If you be, |
| 3. If he be; | 3. If they be. |

過 去 (若シ有リシナラバ)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. If I were, | 1. If we were, |
| 2. If thou were, | 2. If you were, |
| 3. If he were; | 3. If they were. |

命令法 (有レ)

Be (you—單數 ㊦ 復數 ㊦).

不定法

現在.....to be. 完成.....to have been.
セランド.....being; having been.

分詞

現在.....being. 過去.....been.
完成.....having been.

TO DO (爲ス).

現在 (爲ス)

語ヲ強ヨメ及疑問ノ時ノ徴

單數

- 1. I do,
- 2. Thou dost,

復數

- 1. We do,
- 2. You do,

- 3. He does;

- 3. They do.

過去 (爲セシ)

語ヲ強ヨメ及疑問ノ時ノ徴

- 1. I did,
- 2. Thou didst,
- 3. He did;

- 1. We did,
- 2. You did,
- 3. They did.

主動詞ニ用井タル時ノ使用法

主要ナル元素

現在.....do. 過去.....did.
過去分詞.....done.

不定法

現在.....to do. 完成.....to have done.
セランド.....ding; having done.

分詞

現在.....doing. 過去.....done.
完成.....having done.

TO HAVE

現在完成ノ徴

單數		複數
1. I have,		1. We have,
2. Thou hast,		2. You have,
3. He has;		3. They have.

過去完成ノ徴

1. I had,		1. We had,
2. Thou hadst,		2. You had,
3. He had;		3. They had.

主働詞ニ使用サル、下次ノ如シ

主要ナル元素

現在.....have. 過去.....had.

過去分詞.....had.

不定法

現在.....to have. 完成.....to have had.

セラント.....having; having had.

分詞

現在.....having. 過去.....had.

完成.....having had.

C A N (能フ)

現在 (能フ)

現在可成ノ徴

1. I can,		1. We can,
2. Thou canst,		2. You can,
3. He can;		3. They can.

過去 (能ヒシ)

過去可成ノ徴

1. I could,		1. We could,
2. Thou couldst,		2. You could,
3. He could;		3. They could.

M A Y (得ル).

現在可成ノ徴
現在 (得ル)

- 1. I may,
- 2. Thou maget,
- 3. He mag;

- 1. We may,
- 2. You mag,
- 3. They mag.

過去可成ノ徴
過去 (得シ)

- 1. I might,
- 2. Thou mightst,
- 3. He might;

- 1. We might,
- 2. You might,
- 3. They might,

S H A L L (アロウ).

現在
*未 來 之 徴

- 1. I shall,

- 1. We shall,

- 2. Thou shalt,
- 3. He shall;

- 2. You shall,
- 3. They shall.

過去可成之徴
過去

- 1. I should,
- 2. Thou shouldst,
- 3. He should;

- 1. We should,
- 2. You should,
- 3. They should.

W I L L (アロウ).

現在
未 來 之 徴

- 1. I will,
- 2. Thou wilt,
- 3. He will;

- 1. We will,
- 2. You will,
- 3. They will.

過去可成之徴
過去

- 1. I would,

- 1. We would,

- 2. Thou wouldst,
- 3. He would;

- 2. You would,
- 3. They would.

主働詞ニ用ヒラル、フ次ノ如シ

主要元素

現在.....will. 過去.....willed.
 過去分詞.....willed.

不定法

現在.....to will. 完成.....to have willed.
 セラノド.....willing; having willed.

分詞

現在.....willing. 過去.....willed.
 完成.....having willed.

MUST (シバナラヌ).

現在

現在可成之徴

- 1. I must,
- 2. Thou must,
- 3. He must;

- 1. We must,
- 2. You must,
- 3. They must.

規則働詞之配合

TO LOVE (愛スル).

發働詞 (愛スル)

主要元素

現在.....love. 過去.....loved.
 過去分詞.....loved.

直説法

現在 (愛スル)

單數

- 1. I love,
- 2. Thou lovest,

複數

- 1. We love,
- 2. You love,

3. He loves;

- 1. I loved,
- 2. Thou lovedst,
- 3. He loved;

3. They love.

- 1. We loved,
- 2. You loved,
- 3. They loved.

過去 (愛セシ)

未來 (愛スルデアロウ)

- 1. I shall 又ハ will love,
- 2. Thou shalt 又ハ wilt love,
- 3. He shall 又ハ will love;

- 1. We shall 又ハ will love,
- 2. You shall 又ハ will love,
- 3. They shall 又ハ will love.

現在完成 (愛シタ)

- 1. I had
 - 2. Thou hast
 - 3. He has
- } loved;

- 1. We
 - 2. You
 - 3. They
- } have loved.

過去完成 (愛シタリシ)

- 1. I had
 - 2. Thou hadst
 - 3. He had
- } loved;

- 1. We
 - 2. You
 - 3. They
- } had loved.

未來完成 (愛シタデアロウ)

- 1. I shall 又ハ will
 - 2. Thou shalt 又ハ wilt
 - 3. He shall 又ハ will
- } have loved;

- 1. We
 - 2. You
 - 3. They
- } shall 又ハ will have loved.

可成法

現在 (愛シ得ル)

- 1. I may
 - 2. Thou mayst
 - 3. He may
- } love;

- 1. We
 - 2. You
 - 3. They
- } may love.

過去 (愛シ得シ)

- 1. I might
 - 2. Thou mightst
 - 3. He might
- } love;

- 1. We
 - 2. You
 - 3. They
- } might love.

現在完成 (愛シ得タ)

- 1. I may
 - 2. Thou mayst
 - 3. He may
- } have loved;

- 1. We
 - 2. You
 - 3. They
- } may have loved.

過去完成 (愛シ得マシ)

- | | | | | |
|---------|---------|---------------|---------|---------------------|
| 1. I | might | } have loved; | 1. We | } might have loved. |
| 2. Thou | mightst | | 2. You | |
| 3. He | might | | 3. They | |

接續法

現在 (若モ愛スルナラバ)

- | | | | | | |
|-------|------|---------|-------|------|---------|
| 1. If | I | } love; | 1. If | we | } love. |
| 2. If | thou | | 2. If | you | |
| 3. If | he | | 3. If | they | |

過去 (若モ愛セシナラバ)

- | | | | | | |
|-------|------|----------|-------|------|----------|
| 1. If | I | } loved; | 1. If | we | } loved. |
| 2. If | thou | | 2. If | you | |
| 3. If | he | | 3. If | they | |

命令法 (愛セヨ)

Love (you.....單數ニモ複數ニモ).

不定法

現在.....to love. 完成.....to have loved.

ゼラント.....loving; having loved.

分詞

現在.....loving. 完成.....having loved.

TO BE LOVED (愛セラル).

受働詞

直説法

現在 (愛セラル)

- | | | | | | |
|---------|-----|----------|---------|--------------|--|
| 單數 | | | 複數 | | |
| 1. I | am | } loved; | 1. We | } are loved. | |
| 2. Thou | art | | 2. You | | |
| 3. He | is | | 3. They | | |

過去 (愛セラレシ)

1. I was
 2. Thou wast
 3. He was } loved;

1. We
 2. You
 3. They } were loved.

未 來 (愛セラル、デアロウ)

1. I shall 又ハ will
 2. Thou shalt 又ハ wilt
 3. He shall 又ハ will } be loved;

1. We
 2. You
 3. They } shall 又ハ will be loved.

現 在 完 成 (愛セラレタ)

1. I have
 2. Thou hast
 3. He has } been loved;

1. We
 2. You
 3. They } have been loved.

過 去 完 成 (愛セラレタリシ)

1. I had
 2. Thou hadst
 3. He had } been loved;

1. We
 2. You
 3. They } had been loved.

未 來 完 成 (愛セラレタデアロウ)

1. I shall 又ハ will
 2. Thou shalt 又ハ wilt
 3. He shall 又ハ will } have been loved;

1. We
 2. You
 3. They } shall 又ハ will have been loved.

可 成 法

現 在 (愛セラレ得ル又ハ能フ)

1. I may 又ハ can
 2. Thou mayst 又ハ canst
 3. He may 又ハ can } be loved;

1. We
 2. You
 3. They } may 又ハ can be loved.

過 去 (愛セラレ得シ又ハ能ヒシ)

1. I might 又ハ could
 2. Thou mightst 又ハ couldst
 3. He might 又ハ could } be loved;

1. We
 2. You
 3. They } might 又ハ could be loved.

現 在 完 成 (愛セラレ得タ又ハ能フタ)

單 數 { 1. I may 又ハ can
 2. Thou mayst 又ハ canst
 3. He may 又ハ can } have been loved;

複數 } 1. We
 2. You } may 又ハ can have been loved.
 3. They

過 去 完 成 (愛セラレ得タリシ又ハ能クアリシ)
 單 數 } 1. I } might 又ハ could
 2. Thou mightst 又ハ couldst } have been loved;
 3. He might 又ハ could

複 數 } 1. We } might 又ハ could have been loved.
 2. You
 3. They

接 續 法

現 在 (若シ愛セラルハナラバ)
 1. If I } be loved;
 2. If thou }
 3. If he }
 1. If we }
 2. If you } be loved.
 3. If they }
 去 (若シ愛セラレシナラバ)

1. If I } were loved;
 2. If thou }
 3. If he }
 1. If we } were loved.
 2. If you }
 3. If they }

命 令 法 (愛セラレヨ)

Be (you—單數ニモ複數ニモ) loved.

不 定 法

現 在.....to be loved. 完 成.....to have been loved.
 セラソド.....being loved; having been loved.
 現 在.....being loved. 過 去.....loved.
 完 成.....having been loved.

不規則動詞配合之模範

注、 不規則動詞ノ複合部ヲ構成スルノ方法ハ、規則動詞ノ場合ニ於ケルト全ク相同シ、然リト雖モ過去及過去分詞ノ不規則ハ此動詞ノ配合ヲ説明シ學者ヲ鍛鍊セシムル

TO SEE (見ル)

發 動

主 要 ノ 元 素

現在……………See.

過去……………saw.

過去分詞……………seen.

發動詞ノ諸法及諸時ノ第三人稱單數ノ

To see ナル動詞ノ概要、

直說法……………He sees, he saw, he shall 又ハ will see, he has seen, he had seen, he shall 又ハ will have seen.

可成法……………He may see, he might see, he may have seen, he might have seen.

接續法……………If he see, if he saw.

命令法……………See (you……………單複共=)、

受動詞ノ諸法及諸時ノ第一人稱複數ノ

To see ナル動詞ノ概要、

直說法……………We are seen, we were seen, we shall 又ハ will be seen, we have been

seen, we had been seen, we shall 又ハ will have been seen.

可成法……………We may be seen, we might be seen, we may have been seen, we might have been seen.

接續法……………If we be seen. If we were seen.

命令法……………Be (you——單複共=)、

配合之式様

第四百四十四節 動詞尋常ノ法式ノ外ニ、配合ノ特別法種々アリテ、特異

ノ意義ヲ表示スルニ用フ、其主要タル者ハ、一ニ曰ク進行式様 Progressive

form 二ニ曰ク急切式様 Emphatic form. 三ニ曰ク疑問式様 Interrogative form.

是レナリ、

進行式様ヲ論ズ、第一、

第四百四十五節 動詞ノ進行式様トハ、動詞が表示シタル動作若クハ事

狀ノ連續スルヲ顯ハス者ナリ、例之ヘバ、I am writing 及ヒ He was sleeping

ノ如シ、

動詞ノ進行式様ヲ構成スルノ法ハ、To ナル助動詞ノ諸變化ニ某動詞ノ現在分詞ヲ連

TO LEARN

TO LEARN (學ブ)

進行式樣

直 說 法

現在.....1. I am learning. 2. Thou art learning. 3. He is learning.

以下之=准ズ、

過去.....1. I was learning. 2. Thou wast learning. 3. He was learning.

以下之=准ズ、

未來.....1. I shall 又ハ will be learning. 2. Thou shalt 又ハ wilt be learning. 3. He shall 又ハ will be learning.

以下之=准ズ、

現在完成.....1. I have been learning. 2. Thou hast been learning.

3. He has been learning. 以下之=准ズ、

過去完成.....1. I had been learning. 2. Thou hadst been learning.

3. He had been learning. 以下之=准ズ、

未來完成.....1. I shall 又ハ will have been learning. 2. Thou shalt 又ハ wilt have been learning. 3. He shall 又ハ will have been learning.

以下之

=准ズ、

可 成 法

現在.....1. I may be learning. 2. Thou mayst be learning. 3. He may be learning.

以下之=准ズ、

過去.....1. I might be learning. 2. Thou mightst be learning. 3. He might be learning.

以下之=准ズ、

現在完成.....1. I may have been learning. 2. Thou mayst have been learning. 3. He may have been learning.

以下之=准ズ、

過去完成.....1. I might have been learning. 2. Thou mightst have been learning. 3. He might have been learning.

以下之=准ズ、

接 續 法

現在.....1. If I be learning. 2. If thou be learning. 3. If he be learning.

以下之=准ズ、

過去.....1. If I were learning. 2. If thou were learning. 3. If he were learning.

以下之=准ズ、

命 令 法

現在……2. Be learning, 又ハ do be learning. 以下之ニ准ス、

不定法

現在……To be learning. 完成……To have been learning. セラソフ……Being learning.

分詞

現在……Being. learning. 過去……Been learning. 完成……Having been learning.

○受働詞ノ進行式様ノ注

第一、現在及過去ノ直説法ニ於テ受働詞ノ進行式様ヲ構成スルノ方ハ to be ナル働詞ノ現在直説法及過去直説法ニ受働ノ現在分詞ヲ連結スベシ、其例次ノ如シ、

The house is being built.

〔其家ハ建築中ナリ〕

The book was being printed.

〔其書ハ印刷中ナリ〕

to be ナル働詞ノ種々ノ變体ニ受働詞ノ現在分詞ヲ連接シテ構成シタル時ハ數種アレド

モ、就中今示シタル二時ヲ撰用スルヲ可トシ、(蓋シ此二時ヲ構成シテ使用スルコトナリシハ、甚々近代ノ事ニシテ、以來未ダ百年ヲモ經過セズ、而シテ二三ノ人ハ之ヲ非トシテ純粹適當ノ英語ニ非ズト云ヘドモ、有名ノ著家サヘ已ニ多ク之ヲ使用セルヲ以テ、今之ヲ除キ難シ)、又々實ニ其他ノ時ヲ用フルコトナシ、何トナレバ他ノ時ハ皆語調ノ圓滑ナラザレハナリ、例之ヘバ He shall be being loved'ノ如シ、

第二、受働詞ノ進行式様ヲ構成スルノ舊法ハ、次句ヲ例トシテ説明シ得、

The house is building.

The book is printing.

此ノ連結方ハ to be ナル働詞ト某働詞ノ「ゼラソフ」トヲ結合シテ成ル者ニテ、現今之ヲ用フルコト稀ナリ、

第三、前ニ示シタル句中ノ building 又ハ printing ナル式様ノ眞成ナル意義ヲ了解スルコト必要ナリ、何トナレバ此ノ如キ式様ハ受働ノ意義(○○ヲ建ツル、○○ヲ印刷スル)ヲ有スル場合ニ使用サレタル現在分詞ト誤解サル、コアルガ故ナリ、即ハチ建[○]チツ、アルト解スベキヲ誤ツテ、建[○]テツ、アルト解スルコトアレバナリ、

古代ノ英語ニ於テハ此ノ如キ式様ヲ a-building 又ハ a-printing ト書セリ、次ニ擧ゲタル「ギンデル」氏ノ文句ヲ見ヨ、

Forty-six years' was this temple a-building.

〔此寺院ハ四十六年間建築ニ於テアリシ「建築ニ四十六年ヲ費シタリト云フ意」

此ノ a-building ノ頭ニ在ル a 字ハ「アングロ、サツソノ」語ノ前置詞 an (方今ノ on ト同シ) 又ハ in ナ省略シタル者ナリ、故ニ a-building ハ in building ト同意義ナリ、而シテ斯ク分拆スレバ、茲ニ building ト云フ字ハ現在分詞ニ非ズシテ「ゼラント」ナルコト明晰ナリ、
斯ク精査シテ The house is (was ニテモ Will ニテモ又同ク) building ナル句ハ、The house is a-building ナ省略シタルコト知ラバ、此句ガ少シモ文法ニ違ハザルコト明白ナリ、且ツ此ノ如キ連結法ハ純粹ノ英倫語ニシテ、The house is being built ナル連結法ヨリ更ニ良好ナリ、是ニ依テ之ヲ見レバ、方今此連結法ヲ不正ナリト誤解シテ全ク使用セザルニ至リタルハ、我が國語ニ一個ノ欠点ヲ生シタリト謂ハザル可カラズ、

急切式様ヲ論ズ、第二、

第四百四十六節 働詞ノ急切式様ヲ構成スルノ方ハ有セザル不定辭ニ do 及 did ナ連結スルニ在リ、例之ヘシ、I do learn 及 I did learn ノ如シ、此ノ連結法ハ發働ノ現在直說法及其過去直說法及命令法ニ於テノ見ル、
現在…………… I do learn, thou dost learn, he does learn, 以下之ニ推ズ、
過去…………… I did learn, thou didst learn, he did learn, 以下之ニ推ズ、

命令法…………… Do learn.

疑問式様ヲ論ズ、第三、

第四百四十七節 疑問式様トハ疑ヲ問フコトニ使用サレタル式様ナリ、例之ヘシ、Can he see? 又ハ shall he be punished? ノ如シ、
此式様ハ直說法及可成法ニ使用ス、

第一、 働詞ニ疑問式様ヲ有セシムルノ配合法ハ、主ヲ働詞ノ後ニ置ク、
Hearst thou? ノ如クナルカ、若クハ主ヲ助働詞ト主働詞トノ間ニ置ク、
May we go? ノ如クナルカ、若クハ二個以上ノ助働詞ヲ使用スル時ニハ第一助働詞ノ後ニ主ヲ置ク、
Could he have called? ノ如クスベシ、
第二、 普通ノ慣例ニ於テハ主ヲ次ニ有スル do 及 did ナ使用シテ現在直說法及過去直說法ヲ疑問式様トナセリ、
Do you hear? 及 Did you hear? ノ如シ、

TO SEE.

疑問式様

發働詞

直說法…………… See I, 又ハ do I see? Saw I, 又ハ did I see? Shall 又ハ will I see? Have I seen? Had I seen? Shall 又ハ will I have seen?

可成法.....May I see? Might I see? May I have seen? Might I have seen?

假 動 詞

直 說 法.....Am I seen? Was I seen? Shall I be seen? Have I been seen? Had I been seen? Shall I will I have been seen?

可 成 法.....May I be seen? Might I be seen? May I have been seen? Might I have been seen?

第四百四十八節 否 拒 之 法 否 拒 ト ハ 動 作 又 ハ 事 狀 ヲ 爲 サズ 爲

ス 能 ハズ 爲 サシラン 爲 得 ザル 一 等 ヲ 示 ス 者 ニ シテ 動 詞 又 ハ 第 一 助 動 詞 ノ 後 ニ not ナル 副 詞 ヲ 置 ク キ ハ 之 ヲ 構 成 シ 得 ベシ 例 ハ "They come not"; "They do not come"; "He cannot return"; "They will not be governed" ノ 如 シ

第 一 然 レドモ not ナル 否 拒 辭 ハ 又 タ 分 辭 及 ビ 不 定 辭 ノ 前 ニ 位 スル コト アリ not being loved; not to see; (ゼラント) not seeing ノ 如 シ

第 二 動 詞 ノ 後 又 ハ 第 一 助 動 詞 ノ 後 ニ 主 ヲ 置 キ 其 次 ニ not ヲ 置 シ ト キ ハ 動 詞 ハ 否 拒 ノ 疑 問 式 様 ナ 有 スル ナリ Comes he not? Does he not come? Might he not improve? ノ 如 シ 否 拒 ノ 疑 問 式 様 ハ 直 說 法 及 ビ 可 成 法 ニ 於 テ ノ ミ 之 ヲ 使 用 ス

注 意 否 拒 辭 not ヲ 置 シ ニ 他 ノ 一 方 アリ 即 チ Do not I move? ノ 如 キ 是 レ ニ シテ 再 ビ

之 ヲ 省 略 シ テ Don't I move? ト ナス 茲 ニ 二 様 ノ 區 別 アリ 若 シ Do not I move? 又 ハ Don't I move? ノ 如 シ ニ 否 拒 辭 ガ I ノ 前 ニ 在 ル 時 ハ 其 句 ハ 親 密 ノ 談 話 ニ シテ 若 シ Do I not move? ノ 如 シ ニ 否 拒 辭 ガ I ノ 後 ニ 在 ル 時 ハ 其 句 ハ 烈 シキ 語 勢 ト ナル ナリ

第 三 進 行 式 様 ニ 亦 タ 否 拒 式 様 及 疑 問 式 様 ナ 有 スル コト 得 ベシ 例 之 ハ I am not writing. Might they not have been sleeping? ノ 如 シ

缺 形 動 詞 單 人 稱 動 詞 及 多 形 動 詞

第四百四十九節 缺 形 動 詞 Defective verb. ト ハ 主 要 ナ ル 元 素 ノ 一 個 又 ハ 一 個 以 上 ヲ 缺 ク 動 詞 ナリ

第 一 前 ニ 已 ニ 助 動 詞 ト 論 シ タル can, may, shall, will (及 此 四 種 ノ 變 体) 及 must ナリ 第 二 ought, beware ナリ

注 意 ought ハ owe ナン 語 ガ 固 有 セル 過 去 ナリ 然 レドモ I ought 及 he ought 等 ハ It is my duty 及 It is his duty ナン 意 義 ナ 含 ミ タル 者 ト シ テ 之 ヲ 獨 用 シ 得 ル コト ナレリ (must ト 同 シ ヲ 人 稱 數 又 ハ 時 ノ 區 別 ナク) 即 チ 主 動 詞 (助 動 詞 ナク シテ 完 全 ノ 確 說 ヲ 爲 シ 得 ル 者) ト シ テ 使 用 スル コト ナレリ 而 シ テ owe ノ 正 シキ 過 去 ハ owed ナリ

第 百 五 十 節 單 人 稱 動 詞 Unipersonal verb ト ハ 只 一 個 ノ 人 稱 即 チ 第 三 人 稱 ノ 單 數 ニ ノ ミ 使 用 サ レ タル 動 詞 ナリ (時 ト シ テ ハ 第 二 人 稱 單 數 ハ 人

稱ヲ有セザル者ト見做シ、之ヲ非人稱 *impersonal* ト名クルコトアレドモ、
impersonal ナ以テ更ニ適當ノ語トス、

單人稱働詞ニ二種アリ、

其一ハ自然的ノ現象ヲ表示スル單人稱働詞ナリ、例之ハ、*It rains. It will rain. It snows.*
ノ如シ、

其二ハ *methinks* [余ハ斯様ニ思フ] 及 *methought* [余ハ斯ク思ヒシ] ナリ、
methinks ハ間接ニ目的格トナル *me* (即チ *to me*) ト、*seems* ナル意義ヲ有スル *thinks* トチ以テ成
リタル語ニシテ、*It seems to me* ト云フ意味ヲ有ス、而シテ此 *thinks* ナル働詞ノ主ハ次
ノ例ヲ見テ之ヲ知ルベシ、即チ *methinks* [that] *I hear a voice* ナル語ハ *That I hear*
a voice seems to me 又ハ *It seems to me that I hear a voice* [余ハ聲ヲ聞クコトガ余ニマデ
見ユル] ナル語ト同意ナリ、

注意 茲ニ用ユル *thinks* ト云フ語ハ「アングロ、サクソン」語ノ *thinken* ナル働詞ヨリ來
リ、*to seem* 又ハ *to appear* ナル意義ヲ含ミタル者ニシテ、方今普通使用スル *to think*
(考ヘル) ナル働詞ヨリ來リタル者ニ非ズ、

百五十一節 多形働詞 *Redundant verb* トハ一個ノ働詞ニシテ、過去又ハ過
去分詞ノ二様ヲ有スル者ナリ、例之ハ、*sang, sung; got, gotten* ノ如シ、

不規則働詞

百五十二節 附録中ニ少シノ複雑ナル者ヲ除クノ外母慮二百個ノ
不規則働詞ノ表ヲ揭示シ、現在ト過去ト、過去分詞トチ一々比較セン、

新舊ノ不規則配合ニ屬スル働詞ヲ三階ニ小別シ得ルコト次ノ如シ、

第一、過去ニ於テハ根語ノ母韻ヲ變化シ、分詞ニ在テハ *ed* 又ハ *o* ナリ附加スル不規則働
詞、

活 曜	破 音	分 詞
<i>break</i>	<i>broke</i>	<i>broken</i>
<i>give</i>	<i>gave</i>	<i>given</i>
<i>draw</i>	<i>drew</i>	<i>drawn</i>

第二、過去ニ在テハ根語ノ母韻ヲ變化シ、分詞ニハ附尾字ヲ有セザル不規則働詞、

活 曜	破 音	分 詞
<i>begin</i>	<i>began</i>	<i>begun</i>
<i>find</i>	<i>found</i>	<i>found</i>
<i>stand</i>	<i>stood</i>	<i>stood</i>

第三、過去ニ在テハ規則ニ從テ *ed* ナル語尾ヲ取り、分詞ニ在テハ規則ニ從ハザル不
規則働詞、

根語	過去	分詞
lade	laded	luden
show	showed	shown

動詞の分類

甲.....表

種別..... { 他動詞
 { 自動詞

語法..... { 發動

 { 受動

法..... { 直說法

 { 可成法

 { 接續法

 { 命令法

時..... { 現在.....現在完成

 { 過去.....過去完成

 { 未來.....未來完成

文法的式樣

人稱..... { 第一人稱

 { 第二人稱

 { 第三人稱

數..... { 單數

 { 複數

動詞狀語..... { 不定..... { 現在

 { 完成

 { ゼラソフ..... { 現在

 { 完成

 { 分詞..... { 現在

 { 過去

 { 完成

配合..... { 規則

 { 不規則

語尾變化...
 -s(又ハ-es).....現在直說法第三人稱單數
 -st(又ハ-est).....現在直說法第二人稱單數
 -ed.....過去直說法及接續法及過去分詞
 -ing.....現在分詞及セランド

第一、 乙.....分拆
 働詞之定義
 其一 講說
 其二 主
 其三 働詞ヲ識別スル徵
 第二、 働詞之種別
 其一 他働詞之定義
 補足
 目的
 其二 自働詞之定義
 徵
 其三 自他両用之働詞

第三、 其四 助働詞
 働詞狀之語
 其一 不定辭
 不定辭之定義
 單純不定辭
 セランド
 其二 分詞
 現在—構成法
 過去—構成法
 根語

第四、 働詞之文法式樣
 其一 語法之定義
 發働之定義
 受働之定義
 其二 法之定義
 法之總數
 其三 時之定義

第六、 獨立シテ能ク完全ノ講説ヲ爲シ得ル働詞ハ何ナルヤ、

第七、 不完全ナル講説ノ自働詞トハ如何ナル意義ナルヤ、一文句ヲ作リテ説明スベシ、

第八、 働詞狀語ノ定義ト其二區分ト例トヲ擧ゲヨ、

第九、 次ノ働詞ヲ發働ヨリ受働ニ變シ、而カモ生來ノ文意ヲ失ハザランコトヲ求ム、

(一) Dr. Livingstone has explored a large part of Africa.
「博士「リヴンクストン」ハ亞非利加洲ノ大部分ヲ穿鑿セリ、」

(二) Paul Revere carried to Lexington the news of the intended attack by the British.
「ポール・リッターアー」ハ親利嶺軍方計策ヲ以テ將ニ襲撃シ來ラントスル「リヴンクストン」ニ報シタリ、」

(三) The first fresh dawn awoke us.
「曙光ハ吾人ノ目ヲ覺イセリ、」

(四) The people of Lynn manufacture great quantities of shoes.
「リヴンクストン」ニ住ム人民ハ大ニ靴ヲ製造ス、」

(五) No one has yet reached the North Pole.
「未ダ一人モ北極ニ達シタル者ナシ、」

復習第二、

第一、 英語ノ働詞ノ四個ノ變尾式様ヲ表示シ、其使用法ヲ詳解セヨ、

第二、 英語ニハ受働詞ニ變尾式様アリヤ、

第三、 法ハ動作ノ摸様ヲ示ス者ナルヤ、講説ノ式様ヲ示ス者ナルヤ、

第四、 可成法ノ主ナル助働詞ヲ擧ゲヨ、

第五、 shall ハ本ト如何ナル意義ナルヤ、

第六、 I shall take ナル句ノ take ハ働詞ノ過去ナリヤ、現在ナリヤ、又タ分詞ナリヤ、
過去ノ語尾變化 ed ハ原ト如何ナル意義ナリシヤ、

第七、 直説法ノ働詞ト接續法ノ働詞トニ於テ式様ノ差異如何、

復習第三、

第一、 主ナル助働詞ヲ數ヘ、又タ其使用法ヲ詳解セヨ、

第二、 His ノ四個ノ式様如何、又タ各個ノ例ヲ擧ゲヨ、

第三、 英語働詞ノ只一個ノ人稱ニノミ備ハル語尾變化如何、

第四、 多形働詞ナル語ヲ説明セヨ、

第五、 to do ナル働詞ノ諸種ノ變体ハ幾許ノ原因ヨリ誘導サル、ヤ、

第六、 第三人稱單數ノ直説法ニシテ否拒ノ疑問式様ヲ有スル to walk ナル働詞ノ概略
ヲ書セ、

第七、 How do you do? ナル文句中ノ第二ノ do ノ意義如何、

第八、 次ノ誘導語ヲ構造スルニ適用スベキ綴字規則如何、

deceive + ed + ing. verify + ed + ing. obey + ed + ing. die + ed + ing.

第九、「ミルトン」氏ガ作リタル「パラヂス、ロズツ」ナハ詩ヨリ抽拔シタル次ノ句中ノ
働詞ノ文法的式様ヲ詳解シテ書記センコトヲ求メ、

Of man's first disobedience, and the fruit of that forbidden tree whose mortal taste
brought death into the world and all our woe, With loss of Eden, till one
Greater Man Restore us, and regain the blissful seat, Sing, heavenly Muse,
that on the secret top of Oreb, or of Sinai, didst inspire. That shepherd, who
first taught the chooses seed in the beginning how the heaven and earth Rose
out of Chaos.

○第六章 副詞

定義 種別 變化

第五百十二節 副詞 Adverb. (原語ハ Adverbium ト云ヒ、オノ意義ヲ有スル
ad. Verb. ノ意義ヲ有スル verbum トヨリ成レリ、故ニ此語ハ本ト働詞ニ
附着スルベキ語ト云フ意義ヲ含有セリ)トハ働詞、形容詞若クハ他ノ副
詞ノ意義ヲ變形セシムルニ用フル語ナリ、次例ノ如シ、
働詞ノ意義ヲ變メハ副詞、

The loving herd WINDS slowly o'er the sea.
[茲ニ slowly ナル副詞ハ WINDS ナル働詞ヲ變形ス]

形容詞ノ意義ヲ變メハ副詞、

Ye quenchless stars! so eloquently BRIGHT.

[茲ニ eloquently ナル副詞ハ BRIGHT ナル形容詞ヲ變形ス]

他ノ副詞ノ意義ヲ變メハ副詞、

One who loved not wisely, but too WELL.

[茲ニ too ナル副詞ハ WELL ナル副詞ヲ變形ス]

副詞ノ職任ハ働作若クハ屬性ヲ表示スル語ニ、時、位置、摸樣等ノ事情ヲ連結シテ以テ其
語ノ意義ヲ變形スルニ在リ、

働詞ハ動作ヲ表示シ、形容詞及副詞ハ屬性ヲ表示ス、是ヲ以テ副詞ハ働詞、形容詞及副詞
ナル三品詞ヲ節制スル者ナリ、即チ左ノ如シ、

- 第一、 働詞ニシテ動作ヲ表示ス、
- 第二、 形容詞ニシテ屬性ヲ表示ス、
- 第三、 副詞ニシテ屬性ノ其屬性ヲ表示ス、

第百五十四節 副詞之種別 文句中ニ副詞ヲ使用スルニ四様アルガ故

ニ、之ヲ四種ニ分カテ、第一ヲ單純副詞 Simple adverb ト云ヒ、第二ヲ接續副
詞 Conjunctive adverb ト云ヒ、第三ヲ疑問副詞 Interrogative adverb ト云ヒ、第

四ヲ作法副詞 Modal adverb ト云フ、

副詞中ニハ又々應答副詞 Responsive ト名シキ一種ノ語アリ(第六十一節ヲ見ヨ)、

第百五十五節 單純副詞トハ與ニ連結サレタル語ヲ單ニ變形スルノ

ミニ使用スル副詞ニシテ、例之ヘバ We arrived yesterday 又ハ You are always ready ノ如シ、

第百五十六節 接續副詞(一名關係副詞 Relative adverb)トハ與モニ連結サ

レタル語ヲ變形スルノミナラズ、又々所係ノ句ト其餘ノ句トヲ連結スル所ノ者ナリ、次例ノ如シ、

(一) Come where my love lies dreaming.

〔余ノ愛情懇熱ナル所ニ來ン〕

(二) We know not whence it cometh or whither it goeth.

〔余ハ其何處ヨリ來ルヤ、又何處ニ行クヤナ知ラス〕

接續副詞ノ職限ハ關係代名詞ノ職限ト相類似ス、而シテ關係代名詞ハ前位ナル者ニ關係ヲ有セルト同シシ、接續副詞ハ前ニ在ル某語ニ關係ヲ有ス、而シテ其ノ某語ハ位置又ハ時等ヲ表定スルノ性質ヲ有シ、其位置若クハ時等ハ先キニ已ニ表示シタルアルカ、然ラズンハ略シタルカナリ、其例次ノ如シ、

(一) There where a few torn shrubs the place disclose.

〔少シノ人ガ灌木ノ森ヲ伐リシ處ノ地ハ豁然ト開キタリ〕

(二) Come [then] when you are ready.

〔汝ハ準備ノ整ヒタル時ニ來ル可シ〕

第百五十七節 次ノ語ハ即ハナ接續副詞ナリ、

when	why	whereon	whenever	where	wherein
wherewith	as	whether	whereby	while	than
whence	wherefore	wherewith			

as ハ so, such 若シハ as ト對立スル時ニ、接續副詞トナル、

第百五十八節 疑問副詞トハ疑ヲ問フノ方便ニ使用スル副詞ナリ、其

例左ノ如シ、

(一) Mother, oh! where is that radiant shore?

〔母ヨ、光輝ヲ射ル其海岸ハ何處ニ在ルヤ〕

(二) Where shall we three meet again?

〔吾輩三人ガ再び相會スルハ何時ソヤ〕

第百五十九節 作法副詞トハ發言者ガ一個ノ思想ヲ考ヘタル模様ヲ

示メスノ副詞ナリ、其例左ノ如シ、

Thou shalt surely die.

「汝ハ必然死スルナルヘシ」

茲ニ確然ナル語ハ事實ヲ確定シタルナリ、

It is not all of life to live.

「人間ノ生涯ハ皆ニ佳スルノモノナラズ」

茲ニナラズト云フ語ハ事實ヲ否拒シタルナリ」

Perhaps in this neglected spot is laid some heart.

「某人ノ心ハ恐クハ此ノ懶惰ノ点ニアラン」

茲ニ恐クハナル語ハ事實ノ蓋然ヲ表セシナリ、

作法副詞ガ他ノ副詞ト異ナル所ハ、文句中ノ某語ヲ變形スト云ハンヨリ、寧ロ全文句ノ意

義ヲ變形スルニアリ、是ヲ以テ此事實ハ副詞ノ定義ヲ節制スルモノト見做スヘシ、

第六十節 意義ニ由テ分ケタル種別 副詞ガ含有スル意義ヲ本トシ

テ分ツトキハ、次ノ五種ト爲スヘシ、

第一、 位所之副詞 何處ナルヤ(Where)何方ナルヤ(Whither)何處ヨリナルヤ(Whence)

ナル間ニ答フベキ副詞ニシテ、 here, there, nowhere, back-wards ノ如キ是レナリ、

第二、 時之副詞 何時ナルヤ(When)何時間ナルヤ(How long)何回ナルヤ(How often)

ナル間ニ答フベキ副詞ニシテ、 then, formerly, seldom, thrice ノ如キ是レナリ、

第三、 模様之副詞 其模様如何(How)ナル間ニ答フベキ副詞ニシテ、 truly, faithfully, well, other-wise ノ如キ是レナリ、

第四、 程度之副詞 幾許ナルヤ(How much)ナル間ニ答フベキ副詞ニシテ、 scarcely, little, enough, ノ如キ是レナリ、

第五、 原因之副詞 何故ナルヤ(Why)ナル間ニ答フベキ副詞ニシテ、 therefore, where-fore, why, ノ如キ是レナリ、

第六十一節 應答副詞 認許シタル應答ノ文句ト同價ヲ有スル yes

ナル語、及ビ否拒シタル應答ノ文句ト同價ヲ有スル No ナル語ハ、時ト

シテ應答副詞ト稱スルコトアリ、例之ヘバ、君ハ行クナランカ(Will you go?)

ト問フ時ニ然リ(Yes)ト答フルハ、我ハ行クナラン(I will go.)ト云フト同意

ニシテ、Noト答フルハ、我ハ行カザルベシ(I will not go.)ト云フト同意ナリ、

此等ノ語ハ副詞ヨリ來リタル者ナレドモ、其使用ニ至テハ、問投詞ニ似タリ、蓋シ應答副

詞モ問投詞モ、其ニ完全ナル文句ヲ省略シタル者ニシテ、品詞中ニ入ルベキ者ニ非ズ、故

ニ此二詞ハ非文法的之語ナリト謂ハザル可カラズ、

副詞狀之熟語 Adverbial Phrases. 數語ヲ連結シテ副詞ノ如クニ使用セル者、之ヲ名ケテ

副詞狀之熟語ト云フ、次例ノ如シ、

at length 遂ニ、
 at best 到底極マル所、
 at all 全ッ、
 at hand 近ッ、
 by turns 交々、
 by no means 決ヘナシ、
 in as much as (何々)ニ由リ、
 in case 時ニハ、
 from below 下ヨリ、
 in like manner 同シキ、
 ever and anon 時々、
 in and out 内外ニ、
 as yet 尙ホモ、
 soon, sooner, soonest、
 beautifully, more beautifully, most beautifully、

at last 最後ニ、
 at large 自由ニ、廣ク、充分ニ、
 at times 屢々、
 by and by 久シカラズシテ、
 by chance 偶然ニ、
 in that 其故ニ、
 in truth 實ニ、
 from above 上ヨリ、
 one by one 逐一、
 now and then 時々、
 up and down 上下ニ、
 here and there 處々ニ、
 by far 甚々、

第百六十二節 比較 副詞ノ中ニ比較シ有シ得ル者アリテ、比較級及最大級ヲ構成スルノ方ハ、形容詞ノ場合ニ於ルト相同シ、其例次ノ如シ、

次ニ示ス副詞ハ之ト相對合スル形容詞ト同シ、其比較ノ方不規則ナリ、
 well. ill. badly, much, high 又ハ near, late, little, far, forth.

○副詞之注

第一、代名詞狀副詞 Pronominals. 最モ多ク使用スル副詞ハ、多クハ代名詞ニ源ナラス、次ノ表ニ示スガ如シ、

接 語	意 義	位		時	接 態	原 由	單 純	關 係
		IN	TO FROM					
He-	this	he-re	{hi-ther he-re	hen-ce	(now)	(so)		
The-	that	the-re	{thi-ther the-re	then-ce	then	thus the	there- fore	
Whe-	what	wh-e-re	{whi-ther wh-e-re	when-ce	when	how	why	

第二、副詞狀ノ“the.” the sooner the better ノ如キ句中ノ the ハ定冠詞ノ the ニ非

ズシテ、^〇「ヤンク^〇ロ、サツソ^〇ン」語ノ指示形容詞 *that* ト同ミトス、古ノ^〇 *thy* (^〇 *why*) ト比較
 ス^〇ニ^〇シ^〇テ、如何^〇計^〇リ^〇カ^〇尙^〇ホ^〇速^〇ニ *by what* (in what degree) sooner 箇計^〇リ^〇尙^〇ホ^〇善^〇ク
by that (in that degree) better ト^〇ノ^〇意^〇義^〇ナ^〇リ、故^〇ニ^〇 the sooner 及^〇 the better 等ノ副詞
 狀ノ句ナリトセザ^〇ハ^〇可^〇カ^〇ラ^〇ヌ^〇、*the more the merrier* 等ノ如キ諸他類似ノ句モ亦皆然リ、

練習第七

副詞ヲ撰出シテ之ヲ類別セヨ、

第一、 And now a bubble bursts, and now a world.

〔今ノ泡珠湧沸シ、而シテ今ノ世界〕

第二、 Night has already gone.

〔夜ノ已ニ去リ〕

第三、 For them no more the blazing hearth shall burn.

〔火爐ノ彼等ノ爲ニ最^〇輝^〇燦^〇クヤマン〕

第四、 She weeps not, but often and deeply she sighs.

〔彼女ノ泣カザレドモ、屢々深^〇ク歎息ス〕

第五、 Again thy fires began to burn.

〔汝ノ火再^〇ビ燃^〇ル出^〇サシ〕

第六、 I was daily with you.

〔余今日々君ト共ニ有リタリ〕

第七、 Thought, once tangled, never cleared again.

〔一旦^〇業^〇亂^〇シタル思想^〇、必^〇ズ復^〇々^〇解^〇ルズ〕

第八、 Dulness is ever apt to magnify.

〔懶惰ノ常ニ延^〇ビ易^〇シ〕

第九、 Where is my child? and echo answers, "Where?"

〔余ガ兒ノ何處ニ在リヤ、返^〇響^〇ハ^〇ニ^〇應^〇ム^〇ナ^〇何處ニ在リヤナドク〕

第十、 Here rests his head upon the lap of earth.

〔爰ニ彼ノ頭ノ母土ノ上ニ在リ〕

第十一、 Look downward on yonder globe.

〔下ニ彼處ノ球ヲ見ヨ〕

第十二、 Come hither, my little page.

〔此方ノ來^〇、我ガ小^〇使^〇ヨ〕

第十三、 Onward in haste Llewellyn passed.

〔リウウエリオン^〇ハ急^〇ギ^〇テ前^〇方^〇ニ過^〇ギタリ〕

第十四、 Let Norval go hence as he came.

「ノーザアル」が来リシ時ニ此處ヨリ行カシメヨ」

第十五、I thence invoke thy aid.

「余ハ其故君ノ救助ヲ請フ」

第十六、Whence and what art you?

「君ハ何處ヨリ來リ如何ナル人ナルヤ」

第十七、Henceforth, to rule was not enough for Bonaparte.

「以來「ボナバルト」ハ十分ニ管理スル能ハザリシ」

第十八、This institution universally prevailed.

「此國法ハ一般ニ行ハレタリ」

第十九、Isaac trembled exceedingly.

「アイザーク」ハ甚ダ戰慄シタリ」

第二十、Think much, speak little.

「多ク考ヘテ、少ク言フ」

第二十一、We cannot wholly deprive them of merit.

「吾人ハ彼等ノ功績ヲ全ク奪フ能ハス」

第二十二、The same actions may arise from quite contrary principles.

「全ク反對シタル原理ヨリ同様ノ動作ガ起ルコトアリ」

第二十三、It was thought very strange.

「其事ハ甚ダ奇怪ト思ハレタリ」

第二十四、They were completely in my power.

「彼等ハ十分余ノ爲シ能フ所ナリシ」

○第七章 前置詞

第六十三節 定義 前置詞 Preposition (此語ハ本ト前ナル意義ヲ有ス

ル *pro*ト置クナル意義ヲ有スル *ponere*トヨリ來リタル者ニシテ、文字上ニテハ某事物ノ前ニ置カルト云フ義ナリ、而シテ斯ク名ケタル所以ハ、古ヘ動詞ノ意義ヲ變形スル爲ニ其前ニ置キタルガ故ナリ、然レドモ方今ハ名詞若クハ代名詞ノ前ニ置クヲ以テ通常トス)トハ名詞若クハ代名詞ト或ル他ノ語トノ間ニ存スル意義ノ關係ヲ表示スル爲ニ用ユル連結語ナリ、之ヲ例スレバ *The book lies before me on the table*ノ如シ、

第一、前置詞ニ羈屬スル名詞若クハ、代名詞ハ、之ヲ稱シテ前置詞ニ支配セラレト云フ而シテ其時ニハ必ず目的格ナリ、
第二、前置詞ハ語ヲ連結スル者ニシテ、又タ某ノ事物ト他ノ事物若クハ動作若クハ屬

性トノ間ニ起ル關係ヲ示メス、例之ヘバ「I saw a man in a boat」ナル文句中ノ「in」ハ即ハチ一個ノ前置詞ニシテ、人ナル事物ガ小舟ナル事物ニ對スル關係ヲ示セリ、

「The boat went down the stream」ナル文句ニ於テ、down「一ノ前置詞ニシテ、行クナル動作ガ川ナル事物ニ對スル關係(方向ノ關係ナリ)ヲ示セリ、

Honey is sweet to the taste」ナル文句ニ於テ、to「ナル前置詞ハ味ナル事物ガ甘キナル屬性ニ對スル關係ヲ示セリ、

第三、名詞ト同價ヲ有スル者(前置詞ヲ前ニ有スルヲ得ル者)左ノ如シ、

其一ハ不定法ナリ、例之ヘバ「None knew thee BUT to love thee」ノ如シ、

其二ハ ing「ヲ有スル不定法ナリ、例之ヘバ「His conduct IN rescuing the child was greatly praised」ノ如シ、

其三ハ係句ナリ、例之ヘバ「This will depend ON who the commissioners are」ノ如シ、

第百六十四節 前置詞ハ名詞若クハ代名詞ト名詞若クハ動詞若クハ形容詞トヲ連結セシム、

第一、名詞若クハ代名詞ト他ノ名詞若クハ代名詞トノ連結、There is a BOOK on the table 又ハ Give IT to me ノ如シ、

第二、名詞若クハ代名詞ト動詞トノ連結、James HAS RETURNED from school ノ如シ、

第三、名詞若クハ代名詞ト形容詞トノ連結、He is FOND of his book ノ如シ、

第百六十五節 前置詞ノ目的 Object トハ前置詞ニ羈屬スル(即ハチ前置詞ニ支配サル)名詞若クハ代名詞ナリ、其例左ノ如シ、

She is far from the land where her young hero sleeps,

And lovers around her are sighing;

But coldly she turns from their gaze and weeps,

For her heart in his grave is lying.

第一、尋常言語ヲ排列スル方ハ、前置詞ヲ其ノ目的ノ前ニ置クナリ、然レモ詩歌及散文ニ在テ屢此順序ヲ顛倒シ、目的ノ後ニ前置詞ヲ置クコトアリ、例ヘバ Where echo walks the steep hills among ナル詩句ノ hills among ン among hills ヲ顛倒シキル者ニシテ、The pen that I am writing with ナル散文ハ「The pen with which I am writing 中ノ前置詞ノ位置ヲ易ヘタル者ナリ、

第二、「前置詞ガ目的格ヲ支配スル」トハ「前置詞ガ名詞若クハ代名詞ヲシテ目的格ニ在ラザル可カラザラシム」ト云フ義ナリ、猶ホ他動詞ガ目的格ノ名詞及代名詞ヲ支配スルガ如シ、蓋シ名詞ニ在テハ目的格ヲ識別スルベキ式様ヲ具有セザルガ故ニ、前置詞ノ支配力ハ明白ナラザルガ如シ、然レドモ代名詞ニハ目的格タルコトヲ辨別スルベキ分明ナル式様アルヲ以テ、其場合ニ於テハ前置詞ノ支配力ヲ分明ニ認メ得ベシトス、例之ヘバ From him, to me, by us, among them ノ如シ、

左ニ掲グルハ主タル前置詞ノ表ナリ、

about 周リニ	behind 後ロニ	in 中ニ、於テ、	to 迄
above 上ニ	below 下ニ	into 迄	toward 方ニ
across 横過シテ	beneath 下ニ	off 離レテ	towards 方ニ
after 後ニ	beside } 外ニ	of 付テ	under 下ニ
against 反對シテ	besides }	on 上ニ、於テ、	underneath 下ニ
along 沿フテ	between 間ニ	over 越ヘテ	until 迄
amid } 真中ニ	betwixt 間ニ	pending 間ニ	unto 迄
amidst }	beyond 越ヘテ	regarding 關シテ	up 上ニ
among } 間ニ	but 外	respecting 關シテ	upon 上ニ
amongst }	by 依テ	round 周ツテ	with 共ニ
around 周リテ	down 下ニ	since 以來	within 内ニ

at 於テ	excepting 外	through 通シテ	without 外ニ
athwart 横切テ	for 向テ	throughout 貫テ	
before 前ニ	from カラ	till 迄	

○前置詞ノ注

第一、分拆、上ニ掲グシ表ノ中、次ニ示ス者ハ單純ノ前置詞ナリ、
 at from off till up by in on to with for of
 through

其他多クノ前置詞ヲ其起源ニ基キテ、次ノ如ク類別スルコトヲ得、
 甲、名詞ノ前ニ、及び名詞ノ如クニ用サレルタル形容詞ノ前ニ、a (on ナル義)若クハ
 be (by ナル義)ナル前置詞ヲ附加シテ構成シタル前置詞ナリ、即ハチ左ノ如ク、

- a-cross a-thwart
- a-gainst be-low
- a-mid 又ハ a-midst be-side 又ハ be-sides
- a-mong 又ハ a-mongst be-tween 又ハ be-twixt
- a-round

a-cross ハ十字形ト云フ義チ有スル佛語 *croix* ヨリ來リ、*amidst* ハ「アメンゴロ、サシ
ン」語ノ on mid'dum ヨリ來リ、*between* ハ *tra* (ニツノ義) ヨリ誘導シタル *tween* ヨリ
來リ、

Along ン反對ナハ義チ有スル and ト long ヨリ構成セラレ、*since* ハ遅シナル義チ有
スル「アメンゴ、サシ」語 *sin* ヨリ誘導セラレ、*inside* ハ in ト side トヨリ成リ、
outside ハ out ト side トヨリ組成セラレタルナリ、

乙、副詞ノ前ニ前置詞ヲ附加シテ構成シタル前置詞ナリ、即チ左ノ如シ、

- a-bout \equiv a (on ノ義) + be (by ノ義) + out.
- a-bore \equiv a (on ノ義) + be (by ノ義) + ore (up ノ義)、
- before \equiv be (by ノ義) + fore.
- be-hind \equiv be (by ノ義) + hind.
- be-neath \equiv be (by ノ義) + neath (under ノ義)、
- be-yond \equiv be (by ノ義) + yond (yonder 又ハ there ノ義)、
- but \equiv be (by ノ義) + utan \equiv by out \equiv on the outside of \equiv accept
- throughout \equiv throughout
- underneath \equiv underneath.

丙、比較ノ語尾ヲ以テ副詞ヨリ誘導サレタル前置詞ナリ、即チ左ノ如シ、

after ハ根語 *af* (of ト同義ニシテ *from* ノ意アリ) ノ比較級ノ語ナリ、詳言スレバ *more*
from ト云フ義ナリ、

over ハ根語 *of* 又ハ *in* ノ比較チ有スル者ナリ、詳言スレバ *more up* ト云フ義ナリ、
under ハ根語 *in* ト比較ノ語尾 *der* (*her* ト同シ) トヨリ成レル者ナリ、

第二、前置詞狀式様 通例前置詞ノ中ニ入レタル語中ニハ、前置詞ニ入ルベカラザル
者アリ、即チ左ノ如シ、

甲、*except* 及ビ *save* 「共ニ除ク外ト云フ義」ハ *to except* 及ビ *to save* ナル働詞ノ命
令法ナリトス、

except 及ビ *save* ハ拉丁語ノ *ablative absolute* 「拉丁六格ノ一」ナル *excepto* 及ビ
salvo ノ今ニ存セル者ナリ、

乙、獨用セラレタル現在分詞ニシテ、其後ニ目的チ有スル者ナリ、左例ノ如シ、

concerning	拘ツテ、	regarding	關シテ、
considering	關シテ、	respecting	關シテ、
barring	除キテ、	touching	關シテ、

丙、*during* (*dure* ノ現在分詞ナリ、*dure* ハ續クト云フ義ナリ) ハ獨立ノ主格名詞ニ伴
生スル者ナリ、例之ハ *during the night* (the night *during* or *lasting* ト云フ義) ノ如シ、
名詞ニ伴生スル *notwithstanding* キズト同一ノ構文ニ使用ス、

練習第八、

次ノ句ヨリ前置詞ヲ撰出セヨ、

- 第一、 The man with the gray coat fell from the top of the wall.
 [鼠色ノ上衣ヲ着ル人ノ垣上ヨリ落トナリ]
- 第二、 We rise at seven o'clock in the winter, and in summer at six.
 [吾人冬ノ七時ニ起キ、夏ノ六時ニ起ク]
- 第三、 James VI, of Scotland, was the great-grand-nephew of Henry VII. of England, the first of the Tudor line.
 [蘇格蘭ノ「ヤームス」蘇王トシテ「トーマス」英ノ蘇祖ナル英皇ノ「ヘンリー」蘇王トシテ大英ナリシマナリ]
- 第四、 There are many proofs of the roundness of the earth.
 [地球ノ圓体ヲ證據甚ク多シ]
- 第五、 The head of the gang listened in silence to the remonstrances of his subordinates.
 [蘇長ノ頭目トシテ諫言ニ耳ヲ聴テタリ]
- 第六、 His head had not been five seconds under water, when he rose to the surface and swam towards the bank.
 [水中ニ在ル「五秒時」ニ滿タヌミテ彼ノ水面ニ昇リ去レリ]

- 第七、 He of the rueful countenance answered without delay.
 [愁顔ノ人ノ猶豫ナシ答ヘタリ]
- 第八、 As we walked across the bridge we saw a number of fish in the pool beneath us.
 [吾人橋上ヲ過ギシ時水中ニ許多ノ魚ヲ見タリ]
- 第九、 With patience you may succeed.
 [汝ハ耐忍ヲ以テ功ヲ奏シ得ン]
- 第十、 I have not seen him since Monday, but I expect him within an hour.
 [余ハ月曜日以來彼人ヲ見ザリシガ、「一時間内」ニ彼ノ來ルニ期望ス]
- 第十一、 A brilliant meteor shot althwart the sky, and was lost behind the hill.
 [發々タル流星中空ヲ横過シ外山ノ背後ニ隠レタリ]
- 第十二、 The poor bird took refuge in a hole in the oak, and died of fright.
 [憐トスキ鳥ノ樹洞ノ穴ニ潛匿シ、驚懼シテ死セリ]
- 第十三、 Indian corn, when ripe in October, is gathered in the field by men who go from hill to hill with baskets into which they put the corn.
 [十月ニ對テ熟ミタル時、農ヲ以テ山山ヲ行ク人ガ野ニ於テ收納シ、之ヲ其籃ニ充テ]
- 第十四、 The creaking of the masts was frightful.
 [十月ニ對テ熟ミタル時、農ヲ以テ山山ヲ行ク人ガ野ニ於テ收納シ、之ヲ其籃ニ充テ]

〔帆船ノ鳴ル聲ハ恐ロシクナリシ〕

第十五、 We gazed with inexpressible pleasure on thos happy islands.

〔吾人ハ其島嶼ヲ凝視セシガ、其時ノ快樂ハ言フベカラザル程ナリシナリ〕

第十六、 It haypend one bay, when going towards my doat, I was exceedingly surp-

rised with the print of a man's naked foot on the shore.

〔嘗テ某日ノコト、余ハ小舟ノ方ニ進ム時海濱ニ人ノ跣足ノ跡アルヲ見テ大ニ驚愕シタリ〕

第八章 接續詞

第百六十六節 接續詞 Conjunction (拉丁語ノ con ト jungere トヨリ來リ、con

ハ共ニト云フ義ニテ jungere ハ連結スルト云フ義)トハ文句ト文句トヲ

連接シ、又ハ文句ノ成分ト成分トヲ連接スルニ用ユル語ナリ、

文句ノ成分 elements トハ文句ヲ構成スル原料ニシテ、三ヶノ種別アリ、第一ハ語ナリ、第

二ハ熟語(第百十八節ヲ見ヨ)、ナリ、第三ハ命題(第百十九節ヲ見ヨ)ナリ、

第一、 語ト語トヲ連結スル例次ノ如シ、

Hamilton AND Jefferson were distinguished statesmen. 此文句ニ於テ and ナル接續詞ハ

「ハミルトン」及ビ「ゼツプアーンソン」ナル二語ヲ連結シテ、were ナル 動詞ノ主トナセ

リ、

第二、 熟語ト熟語トヲ連接スル例左ノ如シ、

The sound of falling waters OR of the rustling leaves is agreeable to the ear.

此文句ニ於テ or ナル接續詞ハ of falling waters 及ビ of the rustling leaves ナル二個ノ

熟語ヲ連接シ、以テ sound ナル名詞ノ意ヲ變形セリ、

第三、 命題ト命題トヲ接續スル例左ノ如シ、

[James will come] IF [you call]

此文句ニ於テ if ナル接續詞ハ James will come 及ビ you call ナル二個ノ命題ヲ連接セ

リ、而シテ前ノ命題ハ主要命題ニシテ、後ナル者ハ羈屬命題ナリ、

第百六十七節 接續詞ハ其使用法ニ關シテ之ヲ二種ニ分ケ、一ヲ同格

接續詞 Co-ordinate conjunction ト云ヒ、一ヲ附屬接續詞 Subordiante conjunction

ト云フ、

第百六十八節 同格接續詞ノ職任ハ第一ニ文句中ノ他ノ語(接續詞ニ

非ザル語)ニ對シテ同一ノ文法的關係ヲ有スルノ數語又ハ數個ノ熟語

ヲ連結シ、第二ニ二個以上ノ不羈命題若クハ羈屬命題ヲ連結スルニ在

リ、

第一、 文句中ノ他ノ語ニ對シテ同一ノ文法的關係ヲ有スルノ數語ヲ連結スルノ例左ノ